

福島県避難地域広域公共交通計画

令和5年3月(令和5年5月、令和6年5月、
令和7年3月、令和8年3月一部改定)

福島県

目次

第1章 計画の位置付け	1
1-1 計画策定の趣旨と背景	
1-2 県の上位計画・関連計画との関係	
1-3 計画期間	
1-4 計画の区域	
1-5 計画の対象	
第2章 避難地域12市町村の現状	7
2-1 避難地域12市町村における復興の現状	
2-2 人口動態(住民の帰還状況)	
2-3 気象・自然環境	
2-4 産業・観光の現状	
2-5 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況	
第3章 避難地域12市町村における地域公共交通の現状・課題	32
3-1 地域公共交通の概況	
3-2 福島県避難地域広域公共交通網形成計画の達成状況評価	
3-3 福島県避難地域広域公共交通網形成計画の総括	
3-4 広域公共交通の課題	
第4章 基本目標	58
4-1 避難地域12市町村における広域公共交通の意義・役割	
4-2 広域公共交通の将来像	
4-3 基本目標(計画期間内に達成する事項)	
第5章 目標達成に向けた施策	64
施策1 広域路線バスの運行	
事業1-1 川内～富岡系統	
事業1-2 いわき～富岡系統	
事業1-3 葛尾～船引系統	
事業1-4 川内～船引系統	
事業1-5 川内～小野系統	
事業1-6 南相馬～川俣～医大経由福島系統	
事業1-7 富岡～浪江 FH2R 系統	
施策2 浜通り地方を運行する地域公共交通のDX推進	
施策3 地域公共交通の維持・確保	
第6章 計画の推進体制	129
6-1 推進体制	
6-2 関連する主体と役割	
6-3 計画の評価方法	
付録 福島県避難地域広域公共交通検討協議会規約	

第1章 計画の位置付け

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号。以下「活性化再生法」という。)第5条第1項に規定する地域公共交通計画である。

1-1 計画策定の趣旨と背景

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故による災害(以下「原子力災害」という。)は、本県に甚大な被害をもたらした。

原子力災害により避難を余儀なくされた地域(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村をいう。以下「避難地域12市町村」という。)では、地域公共交通の整備・充実を始め、医療・介護提供体制の整備、子育て・買い物環境の整備・充実、物流機能の回復、治安の確保、防災体制の強化、荒廃抑制や国、県、市町村の連携による鳥獣被害対策の強化など、「福島12市町村の将来像」[※]の実現に向けた取組が必要である。

※ 福島12市町村の将来像

令和3年3月8日、復興庁「福島12市町村の将来像に関する有識者検討会」による目指すべき30～40年後の姿。

特に、帰還困難区域の特定復興再生拠点区域では、引き続き、地域公共交通を始めとした生活インフラの復旧や住居等の生活環境の整備を着実に推進していく必要がある。

特定復興再生拠点区域以外では、帰還意向のある全ての住民が早期に帰還できるよう、国、市町村等と連携しながら、除染や生活環境の整備を進めていく必要がある。

また、平成26年6月、浜通り地域等に新たな産業の創出を目指すために国が主体的に取りまとめた「福島イノベーション・コースト構想」は、東日本大震災・原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトである。

廃炉、ロボット・ドローン、エネルギー・環境・リサイクル、農林水産業、医療関連、航空宇宙の重点分野を中心に、各種補助事業や課税特例の活用等により、拠点の整備や研究開発の推進、公共交通体系などの生活環境の整備や交流人口の拡大など、各施策の効果をビジネスにつなげることで、産業集積に厚みを持たせ、その効果を県全域に波及させていくことが重要である。

さらに、公共交通を維持・確保していくための最先端技術の活用に関連し、国は、令和3年5月にデジタル社会形成基本法(令和3年法律第35号)を制定し、高度情報通信ネットワークの利用及び情報通信技術を用いた情報の活用による、生活の利便性の向上、生活様式の多様化の促進及び消費者の主体的かつ合理的選択の機会の拡大などを基本理念として掲げている。

公共交通体系の整備・充実を図っていくためには、需要と供給に関するデータに基づく検討が重要であり、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進が期待されている。

県では、平成28年5月に活性化再生法に基づく法定協議会(福島県避難地域広域公共交通検討協議会)を設置し、平成30年3月に避難地域12市町村及びその周辺中核都市を対象区域とした地域公共交通のマスタープラン「福島県避難地域広域公共交通網形成計画」(以下「旧網形成計画」という)を策定した。

旧網形成計画の計画期間は平成30年度～令和4年度の5年間とし、目標を達成するために行う事業として、広域路線バス6路線を新たに運行又は計画に基づく路線として位置付けた。

旧網形成計画策定後、令和2年3月からJR常磐線が全線運転再開となり、令和2年6月に活性化再生法が改正され、全ての地方自治体は、これまでの公共交通のマスタープランから、新たに地域公共交通計画を策定することが努力義務化された。

地域公共交通計画では、従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源(自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等)を位置付け、地域の移動ニーズにきめ細かに対応するとともに、定量的な目標(利用者数、収支等)を設定し、毎年度の評価等により、データに基づくPDCAを強化することが求められている。

旧網形成計画は、令和4年度までが計画期間となっていることから、令和5年度以降の事業については、改正法に基づく地域公共交通計画の策定が必要である。

令和3年4月から第2期復興・創生期間がスタートし、国と関係自治体は、住まいとまちの復興、産業・生業の再生などの残された課題に全力で取り組むこととしており、避難地域12市町村における公共交通体系は、そのための重要な社会基盤となるものである。

本計画では、避難地域12市町村及びその周辺中核都市(福島市、いわき市)を対象区域とした公共交通体系の実施計画であり、避難地域12市町村における地域課題を検証しながら、避難地域の復興・再生という目標達成のために必要な地域公共交通の施策や事業を定めるものとする。

1-2 県の上位計画・関連計画との関係

本計画では、県の最上位計画である「福島県総合計画」との整合を図るとともに、県の関連計画や市町村が策定又は策定予定の「地域公共交通計画」などとの連携を図る。

<最上位計画>

● 福島県総合計画(令和4年度～12年度)

基本目標

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ

県づくりの理念

- ・ 多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり
- ・ 変化や危機にしなやかで強靱な地域社会(県)づくり
- ・ 魅力を見いだし育み伸ばす地域社会(県)づくり

<関連計画との整合>

● 第2期福島県復興計画(令和3年度～12年度)

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故、風評等からの復興に向けて、必要となる取組を総合的に示す計画である。

基本理念

- ・ 原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり
- ・ ふくしまを愛し、心を寄せるすべての人々の力を結集した復興
- ・ 誇りあるふるさと再生の実現

基本目標

- ・ 避難地域等の着実な復興・再生
- ・ 未来を担う人材の育成・人とのつながりの醸成
- ・ 安全・安心に暮らせる地域社会づくりの実現
- ・ 持続可能で魅力的なしごとづくりの推進

● 福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言(令和3年3月)

<目指すべき 30～40 年後の地域の姿>

震災から30～40年後の福島12市町村は全域における避難指示の解除が実現したうえで、地域を震災前の状況に戻す災害復旧の観点をはるかに超え、若者を始め多くの人々を惹き付ける魅力あるまちづくりや福島イノベーション・コースト構想等の実現を通し、より発展した復興の姿を目指す創造的復興を成し遂げている。

将来世代を始めとする人々が幸せに暮らし、誇りや愛着が持てる魅力ある地域となり、併せて、原子力災害による被災地域というマイナスのイメージからの脱却はもとより、地方創生やロボット、再生可能エネルギーの導入拡大を含むエネルギー等の新産業分野、教育・ひとづくり、社会課題の解決等において、国内外を牽引する「希望の地」として、国内外の叢智を結集しつつ、取組が進められている。

● 福島復興再生計画(令和3年度～7年度)

令和2年6月に改正された福島復興再生特別措置法において、原子力災害からの福島復興・再生を推進するため、国が策定する「福島復興再生基本方針」に即して、県が「福島復興再生計画」を作成し、国の認定を受ける制度が創設された。

令和3年4月に内閣総理大臣の計画認定。

目標

- ・ 安全で安心して暮らすことのできる生活環境の実現
- ・ 地域経済の再生
- ・ 地域社会の再生

● 福島イノベーション・コースト構想

平成26年6月に福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想研究会が報告書を取りまとめた東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を

回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す構想である。

福島ロボットテストフィールド等の拠点整備を含めた主要プロジェクトの具体化に加え、産業集積の実現、教育・人材育成、生活環境の整備、交流人口の拡大等に向けた取組を進めている。

令和5年4月には、福島イノベーション・コースト構想を更に発展させ、福島を始め、東北の復興を実現し、日本の科学技術力・産業競争力の強化に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す「福島国際研究教育機構(F-REI)」が浪江町に設立された。

重点推進分野

- ・ 廃炉
- ・ ロボット、ドローン
- ・ 医療関連
- ・ エネルギー、環境、リサイクル
- ・ 農林水産業
- ・ 航空宇宙

● 都市計画区域マスタープラン

- ・ 地域の特性に応じて良好な都市環境を目指すため、市町村を超える広域的見地から、県が都市計画法に基づいて策定するもの。
- ・ 都市計画の目標や土地利用、主要な都市計画の決定の方針等を体系的、総合的に示す計画である。

● 福島県地域公共交通計画

- ・ 活性化再生法に基づく全県域を対象とした法定計画であり、令和6年3月に策定された（令和6年6月、令和6年10月、令和6年12月、令和7年2月一部改定）。
- ・ 福島県地域公共交通計画では、本計画の基本方針、施策を共有するものとする。

<市町村計画との整合>

● 各市町村策定の総合計画及び都市計画マスタープラン

1-3 計画期間

本計画の期間は、令和5年4月から令和10年3月31日までの5年間とする。

令和7年度に第2期復興・創生期間が終了することを踏まえ、令和6年度に中間見直しを行った。

また、計画を実行する中で、変更が必要となった場合には、随時見直しを行うものとする。

1-4 計画の区域

本計画の対象区域を、避難地域12市町村及び周辺中核都市とする。

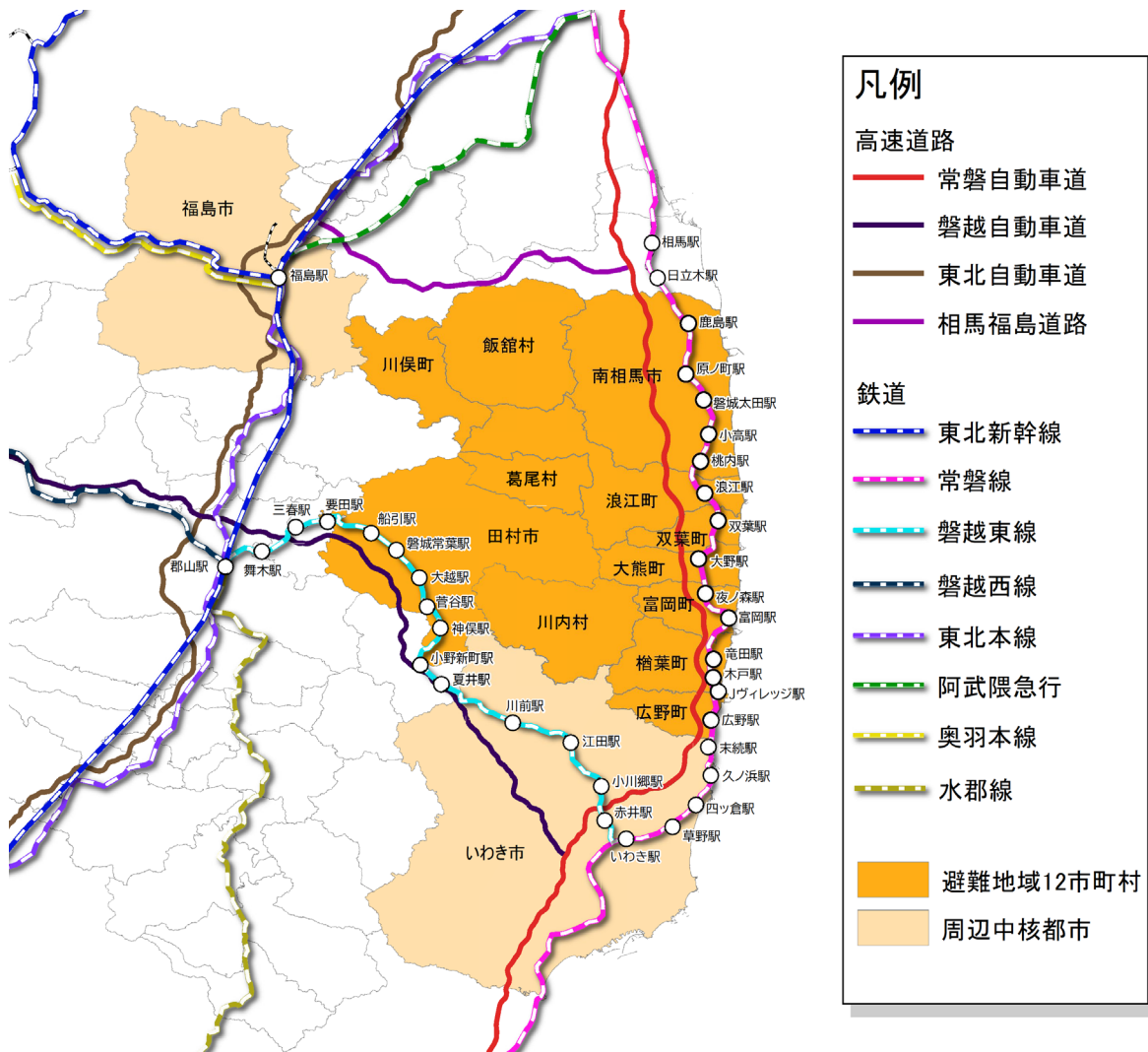
<避難地域 12 市町村>

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

<周辺中核都市>

福島市、いわき市

● 計画対象区域図



1-5 計画の対象

本計画は、避難地域12市町村における復興の進展を踏まえ、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた改善・見直しの方針を示すものである。

本計画では、地域公共交通(広域公共交通)の維持・確保に重点を置くものとし、主として以下に示す広域公共交通のうち広域路線バス(市町村をまたぐ路線、都市間バス)を扱う。

地域公共交通	定義	交通手段
広域公共交通	周辺中核都市と避難地域12市町村の拠点間及び避難地域12市町村の拠点間を結ぶ公共交通	・鉄道 ・高速バス ・広域路線バス(市町村をまたぐ路線、都市間バス)
域内公共交通	避難地域12市町村の拠点と同一市町村内の各地域を結ぶ公共交通	・路線バス(市町村内で完結する路線) ・コミュニティ交通 ・タクシー

第2章 避難地域12市町村の現状

2-1 避難地域12市町村における復興の現状

● 避難指示区域

平成23年3月の福島第一原発事故により、多数の市町村に避難指示区域(帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域)が設定されたが、その後は避難指示の解除により、現在では帰還困難区域だけが残されている。

● 特定復興再生拠点区域

平成29年5月の福島復興再生特別措置法の改正により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。

市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備(除染やインフラ等の整備)に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて除染やインフラ整備などを推進する。

令和4年6月から令和5年11月にかけて、特定復興再生拠点区域に設定された全ての区域で避難指示が解除された。

● 特定帰還居住区域

2020年代をかけて拠点区域外に帰還意向のある住民が帰還できるよう、帰還に必要な箇所の除染を進めるという政府方針のもと、令和5年6月の福島復興再生特別措置法の改正では、帰還困難区域のうち、避難指示の解除による住民の帰還及び帰還後の住民の生活再建を目指すため「特定帰還居住区域」が設けられ、大熊町と双葉町については令和5年12月、浪江町は令和6年6月から除染が開始されている。

● 福島復興再生計画

「避難解除等区域の復興及び再生の推進のために実施すべき施策に関する事項」において、公共交通関連施策は以下のとおり記載されている。








(5)まちづくり等―「ウ 地域公共交通」

- ① 住民の帰還促進や新たな住民の移住等の促進に向け、買い物、通院、通学等の生活の利便性を向上させることが重要であり、道路等のインフラの整備とともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築が不可欠であることから、国の財政措置を受けながら、交通事業者の安定的な事業運営に向けた支援を行う。
- ② 令和2年3月にJR常磐線が全線で運転再開されたところだが、更なる交通の利便性向上等について、JR東日本に要望活動を行うなど、住民の帰還促進や交流人口の拡大に向けて取り組むほか、観光の再生に向け、各自治体の沿線駅等を起点とした浜通り広域周遊観光の取り組みを進めていく。




● 復興拠点の立地状況

バス停 駅

名称 (立地/設立時期)	拠点の概要
福島ロボットテストフィールド ○南相馬市原町区 ○平成30年7月 福島ロボットテストフィールド前(東北アクセス)	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された陸・海・空のフィールドロボットの開発実証拠点である。 インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設となっている。 南相馬市復興工業団地内において、無人航空機エリア、インフラ点検・災害対応エリア、水中・水上ロボットエリア、開発基盤エリアの4つのエリアを設けている。
福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R) ○浪江町 ○令和2年3月 FH2R(新常磐交通)	福島新エネ社会構想に基づき国(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が整備・運営する実証研究施設である。 再生可能エネルギーを利用した10MWの水素製造装置を備えており、再生可能エネルギーの導入拡大に伴い発生する余剰電力を水素に変換し、貯蔵・利用する技術(Power-to-Gas)の技術実証を行っている。
福島ロボットテストフィールド(浪江滑走路・滑走路附属格納庫) ○浪江町 ○令和2年4月 浪江滑走路(新常磐交通)	福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された陸・海・空のフィールドロボットの開発実証拠点である。 浪江町・棚塩産業団地内では、長距離飛行試験のための滑走路を整備、南相馬滑走路が南北方向であるのに対し、浪江滑走路は東西方向となっている。 南相馬市と浪江町の両拠点間の区域において、陸上海上で飛行コースを設定することが可能である。
福島国際研究教育機構(F-REI) ○浪江町 ○令和5年4月(一部) 浪江駅 浪江駅前(新常磐交通)	福島イノベーション・コースト構想を更に発展させるため、ロボットや放射線科学などの5分野について、最先端の研究開発や人材育成を行う施設である。 我が国の科学技術力・産業競争力の強化をけん引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す。 ・研究開発機能 ・産業化機能 ・人材育成機能 ・司令塔機能
震災遺構 浪江町立請戸小学校 ○浪江町 ○令和3年10月	東日本大震災及び原発事故により甚大な被害を受けた請戸小学校を震災遺構として一般公開している。災害の脅威や教訓を学び、後世へ伝える施設である。
道の駅なみえ ○浪江町 ○令和3年3月 道の駅なみえ(新常磐交通)	浪江町の復興のシンボルとして、令和3年3月20日にグランドオープンした。 買い物もできて食事もできてちょっと休憩もできる、浪江町の人々の暮らしを支え、新たなチャレンジを支える場所である。

名称 (立地/設立時期)	拠点の概要
福島県復興祈念公園 ○双葉町、浪江町 ○令和2年9月 (一部供用開始)  伝承館・産業交流センター前(東北アクセス)	<p>東日本大震災という未曾有の大災害を受け、国と地方が連携して、犠牲者への追悼と鎮魂を行い、我が国再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すための施設である。</p> <p>国営追悼・記念施設は、「東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂」等を目的とした、公園の中核的施設となるものである。</p>
東日本大震災・原子力災害伝承館 ○双葉町 ○令和2年4月  伝承館・産業交流センター前(東北アクセス)	<p>福島イノベーション・コースト構想の情報発信拠点にも位置付けられ、被災地域が復興に向き合ってきた証を、アーカイブとして収集、保存、展示することを目的として整備された施設である。</p> <p>展示や語り部、研修、調査・研究を通じて、未曾有の複合災害から得られた知見を国内外に伝える「知の交流拠点」としての役割を担っている。</p>
双葉町産業交流センター ○双葉町 ○令和2年10月  伝承館・産業交流センター前(東北アクセス)	<p>双葉町復興まちづくり計画(第二次)に基づき整備された施設である。</p> <p>双葉町内の中野地区を復興産業拠点としており、産業交流センターでは、就業者サポートに加え、復興祈念公園や東日本大震災・原子力災害伝承館への来訪者に、地域特産品販売や地元グルメを提供するなど、地域産業振興に資する拠点としての役割を担っている。</p>
linkる(りんくる)大熊 ○大熊町 ○令和3年10月  大熊町役場(新常磐交通)	<p>大川原地区の交流ゾーンの中心に位置する地域交流施設であり、運動スタジオ、音楽スタジオ、多目的ホール、キッズコーナー、図書コーナーなどが設置されている。</p>
CREVA おおくま ○大熊町 ○令和6年12月  大野駅  大野駅前(新常磐交通)	<p>大野駅西口に整備された産業交流施設であり、多様な業種の入居事業者が交流し、新たな雇用の場を生み出すことを目指すこととしている。</p> <p>隣接する整備中の商業施設「クマ SUN テラス」が令和7年3月グランドオープンした。</p>
とみおかアーカイブ・ミュージアム ○富岡町 ○令和3年7月  とみおかアーカイブ・ミュージアム(新常磐交通)	<p>東日本大震災を富岡町の歴史の一部として位置付け、地域や町民の暮らしがどのように変化したかを伝える施設である。また、津波の脅威を後世に伝える役割を担っている。</p>

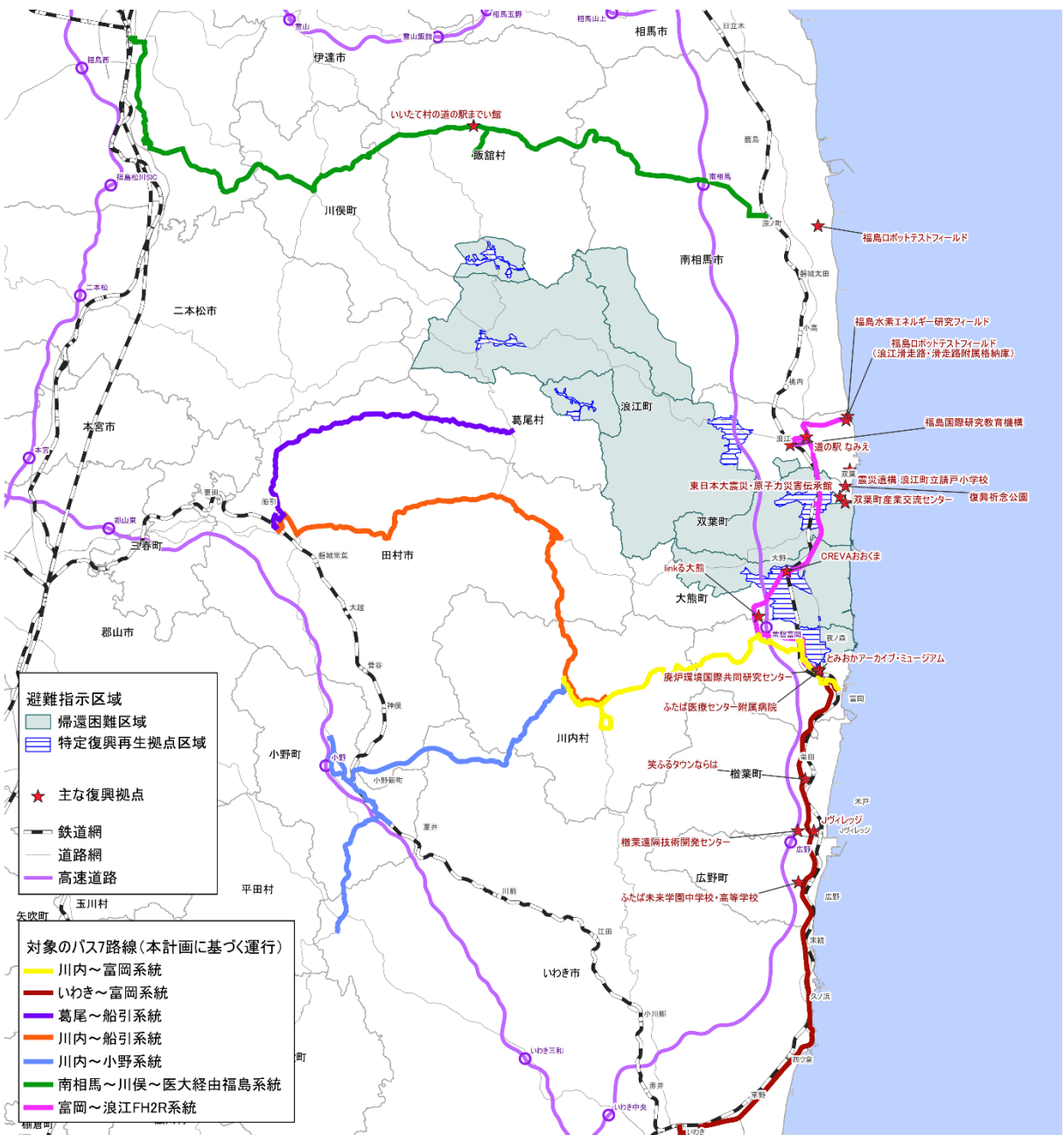
名称 (立地/設立時期)	拠点の概要
<p>ふたば医療センター附属病院 ○富岡町 ○平成30年4月</p> <p>☑富岡町役場(新常磐交通)</p>	<p>双葉地域に二次救急医療体制等を整備するために設置された医療機関である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 30床(全室個室) ・診療科 救急科、内科 ・福島県立医科大学の支援を受けながら、24時間体制で救急医療を提供 ・在宅診療や訪問介護を実施
<p>廃炉環境国際共同研究センター ○富岡町 ○平成27年4月</p> <p>☑富岡町役場(新常磐交通)</p>	<p>福島イノベーション・コースト構想の一翼を担う施設として国(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)が整備・運営する施設である。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の安全かつ確実な廃止措置等(廃炉)を実施するため、国内外の英知を一か所に集中させながら、以下の4つの機能を担っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際共同研究拠点機能(産学官が一体となった国際的な共同研究、一元的な廃炉研究等の拠点) ・研究支援機能(産学官の国際共同研究推進、コーディネータ機能) ・人材育成機能(国際拠点を活用し、大学等と連携) ・情報発信機能(研究成果を公共財として共有)
<p>檜葉遠隔技術開発センター ○檜葉町 ○平成27年10月</p>	<p>福島イノベーション・コースト構想の一翼を担う施設として国(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構)が整備・運営する施設である。</p> <p>東京電力福島第一原子力発電所の廃炉推進のため、遠隔操作機器(ロボット等)の開発実証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究管理棟 バーチャルリアリティシステム、ロボットシミュレータ、音響映像設備等 ・試験棟 ロボットの性能評価等
<p>笑ふるタウンならは ○檜葉町 ○平成30年6月</p>	<p>商業施設「ここなら笑店街」・交流施設「みんなの交流館ならは CANvas」、中満南・寺脇災害公営住宅や診療所、郵便局などの様々な生活機能を集約したコンパクトタウンが整備されている。避難指示解除後の地域コミュニティの再構築・交流の中心となる「みんなの交流館 ならはCANvas」は、全9回のお茶飲みワークショップの中で語られた“町民の想い”をもとに設計され、避難指示解除後の地域を「みんなが主体的に創っていく」という意志が込められている。</p>

名称 (立地/設立時期)	拠点の概要
<p>Jヴィレッジ ○檜葉町、広野町 ○平成9年5月</p> <p> Jヴィレッジ駅</p>	<p>東京電力(株)が原子力発電所立地地域の地域振興事業として建設し、福島県に寄付したサッカー・ナショナルトレーニングセンターである。</p> <p>平成23～27年の間は、国の原発事故対応拠点として使用された。</p> <p>平成27年1月、県は「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画を策定し、Jヴィレッジを福島県復興のシンボルとして、新たな価値を持った世界トップクラスの施設へと再整備、平成31年4月全面営業再開となった。</p> <p>2020東京オリンピック競技大会では、聖火ランナーのスタート地点となった。</p> <p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・天然芝ピッチ8面 ・人工芝ピッチ2面 ・全天候型練習場 ・雨天練習場 ・ホテル(総客室数200) ・フィットネスジム ・アリーナ ・プール
<p>福島県立ふたば未来学園 中学校・高等学校 ○広野町 ○平成27年4月(高校) 平成31年4月(中学)</p> <p> 広野町役場入口(新常磐交通)</p>	<p>双葉郡8町村「福島県双葉郡教育復興ビジョン」に基づき設置された中高一貫校である。</p> <p>福島県内初の「スーパーグローバルハイスクール」及び「地域との協働による高等学校改革推進事業(グローバル型)」に指定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒数 629名(中学179名、高校450名、令和6年4月8日現在) ・学級数 21(中学6学級、高校15クラス) <p><高校カリキュラム系列></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカデミック系列 ・トップアスリート系列 ・スペシャリスト系列 <p><中学カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践力をみがく「未来創造学」・世界に飛び出す学び ・深い学び、高い学力 ・未来の主人公となる学び
<p>いいたて村の道の駅までい館 ○飯舘村深谷 ○平成29年8月</p> <p> 「いいたて村までい館」(福島交通)</p>	<p>①村民の食事・日用品等の買い物及び雇用の場という生活基盤を支える商業施設</p> <p>②村の産業復興を支援する産業振興施設</p> <p>③道の駅として情報・地域交流を推進する商業・観光施設</p> <p>三つの機能・役割を有する施設である。</p>

<現状分析>












避難地域12市町村では、福島イノベーション・コースト構想等に基づく復興拠点の整備が進められており、復興の進展と交流人口の更なる拡大が期待されているところであるが、復興拠点は各地に分散して立地しており、拠点と交通の結節点等をつなぐ移動手段の確保が求められる。

● 復興拠点の立地状況 位置図



● 復興公営住宅(災害公営住宅)の整備状況

 バス停  駅

名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
南相馬市 ○大町西団地	40戸	南相馬市原町区大町2丁目  原ノ町駅、  原ノ町駅(福・ア)
○大町東団地	80戸	南相馬市原町区大町2丁目  原ノ町駅、  原ノ町駅(福・ア)
○大町南団地	29戸	南相馬市原町区大町2丁目  原ノ町駅、  原ノ町駅(福・ア)
○栄町団地	33戸	南相馬市原町区栄町3丁目  原ノ町駅、  栄町(福)
○萱浜団地	34戸	南相馬市原町区萱浜巢掛場  環境創造センター前(ア)
○上町団地	182戸	南相馬市原町区上町1丁目  西町(福)
○北原団地	264戸	南相馬市原町区北原字前田
○牛越団地	176戸	南相馬市原町区牛越字辻内  牛越(福)
○南町団地	255戸	南相馬市原町区南町  四ツ葉通り(福)
○西町団地	50戸	南相馬市鹿島区西町3丁目  鹿島駅、  西町(福)
○西川原団地	25戸	南相馬市鹿島区鹿島西川原  鹿島駅、  西町(福)
○西川原第二団地	32戸	南相馬市鹿島区寺内中才  鹿島中学校前(福)
○小高東町団地	15戸	南相馬市小高区東町2丁目  小高駅

名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
南相馬市 ○万ヶ迫団地	2戸	南相馬市小高区万ヶ迫、岡田養子坊
○小高上町団地	18戸	南相馬市小高区上町1丁目 🚉 小高駅
浪江町 ○御殿南住宅	10戸	浪江町権現堂御殿南 🚉 浪江駅、🚏 権現堂元町(常)
○幾世橋住宅団地A	22戸	浪江町幾世橋来福寺西 🚏 浪江町役場前(常)
○幾世橋住宅団地B	63戸	浪江町幾世橋来福寺西 🚏 浪江町役場前(常)
○請戸住宅団地	26戸	浪江町請戸北迫
○幾世橋集合住宅	80戸	浪江町幾世橋齊藤屋敷 🚏 浪江町役場前(常)
○津島住宅団地	10戸	浪江町下津島松木山
双葉町 ○駅西住宅	86戸	双葉町長塚町西 🚉 双葉駅、🚏 双葉駅(常、ア)
大熊町 ○大川原災害公営住宅	50戸	大熊町大川原南平 🚏 大熊町役場(常)
○大川原第2災害公営住宅	42戸	大熊町大川原南平 🚏 大熊町役場(常)
○大川原再生賃貸住宅	40戸	大熊町大川原南平 🚏 大熊町役場(常)
○大野南再生賃貸住宅	30戸	大熊町下野上大野 🚉 大野駅
○原再生賃貸住宅	20戸	大熊町下野原 🚉 大野駅

名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
富岡町 ○曲田団地	104戸	富岡町小浜反町 🚉 曲田住宅(常)
○栄町団地	50戸	富岡町小浜中央 🚉🚉 富岡駅(常)
榑葉町 ○中満南災害公営住宅	123戸	榑葉町大字北田字中満地内
○寺脇災害公営住宅	17戸	榑葉町大字北田地内
○一ツ屋災害公営住宅	8戸	榑葉町大字下小埜字一ツ屋地内
○シウ神山災害公営住宅	10戸	榑葉町大字山田岡字シウ神山地内
広野町 ○大平未来団地	14戸	広野町折木大平 🚉 広野駅、🚉 広野町役場入口(常)
○広野原団地	48戸	広野町下浅見川桜田 🚉 広野駅、🚉 広野町役場入口(常)
○下北迫団地	58戸	広野町下北迫上大吹
飯館村 ○大谷地団地	26戸	飯館村草野字大谷地 🚉 草野本町(福)
○桶地内団地	10戸	飯館村飯樋字桶地内
○大師堂住宅団地	12戸	飯館村草野字大師堂 🚉 飯館ふれ愛館前(福)
○白石第2住宅	2戸	飯館村白石字町 🚉 白石(福)
葛尾村(三春町) ○恵下越団地	106戸	三春町字恵下越
川内村 ○宮ノ下災害公営住宅	25戸	川内村大字下川内字宮ノ下81-2 宮ノ下(福)(常)
○町分地区再生賃貸住宅	10戸	川内村大字上川内字町分184-1 川内農協(福)(常)

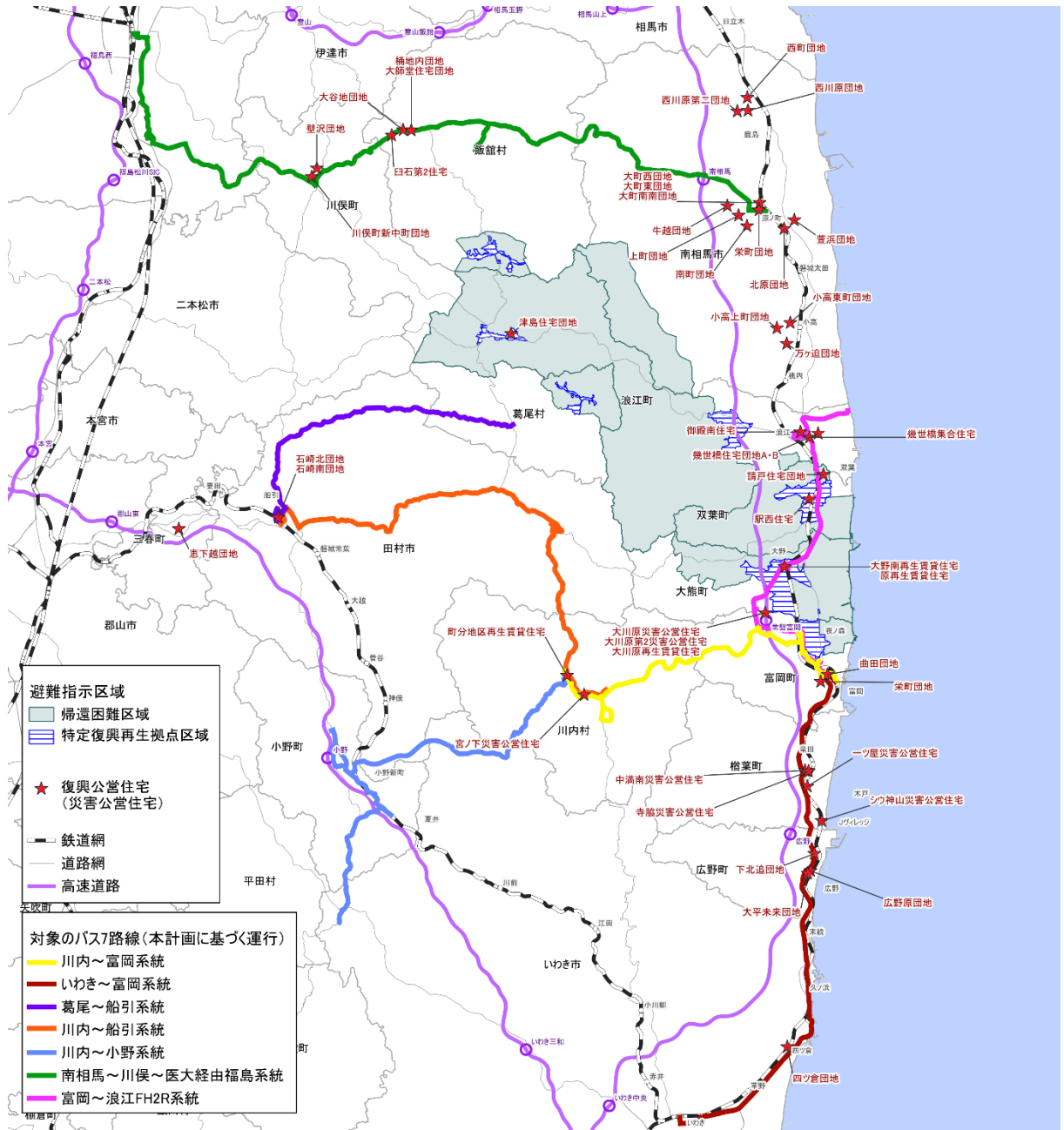
名称	戸数	住所／公共交通機関 (最寄り駅・バス停等)
川俣町 ○壁沢団地	80戸	川俣町字壁沢 ☒ 壁沢団地入口(福)
○川俣町新中町団地	40戸	川俣町字新中町地内 ☒ 川俣南小学校(福)
田村市 ○石崎北団地	6戸	田村市船引町船引字石崎 ☒ 石崎団地(福)
○石崎南団地	12戸	田村市船引町船引字石崎 ☒ 石崎団地(福)
いわき市 ○四ツ倉団地	150戸	いわき市四倉町上仁井田字九反坪 🚉 四倉駅

※ (福):福島交通、(常):新常磐交通、(ア):東北アクセス

<現状分析>

福島県復興公営住宅整備計画(第一次・第二次)に基づいて復興公営住宅(災害公営住宅)の整備が進められたが、住宅から徒歩圏内に店舗、医療機関、金融機関等の生活関連施設が立地していない場合もある。日常生活で自動車を利用しない居住者が安心して生活できるようにするため、公共交通等の移動手段の確保が求められる。

● 復興公営住宅(災害公営住宅)の位置図



2-2 人口動態(住民の帰還状況)

避難地域12市町村の人口(避難者を除く)は、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から7年間で、約2,500人減少している。

令和4年度では増加しているが、令和6年度、令和7年度と減少が続いており、住民の帰還は進んでいるものの、自然減や転出超過などによる影響が出ていると考えられる。

市町村別では、広野町の人口は震災前と同程度の水準まで回復しているものの、南相馬市、榑葉町、飯館村、葛尾村、川内村、川俣町、田村市では震災前の水準を下回っている。

<人口>

(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	R6.10.1	R7.10.1	H30-R7 増減率
南相馬市	70,878	54,455	57,467	55,672	54,652	+0.36%
浪江町	20,905	-	-	-	-	
双葉町	6,932	-	-	-	-	
大熊町	11,515	-	-	-	-	
富岡町	16,001	-	1,481	-	-	
榑葉町	7,700	-	3,578	3,370	3,248	
広野町	5,418	3,971	5,339	5,208	5,192	+23.52%
飯館村	6,209	-	901	583	407	
葛尾村	1,531	-	353	280	266	
川内村	2,820	1,951	1,893	1,766	1,701	▲14.70%
川俣町	15,569	13,398	11,530	10,938	10,674	▲25.52%
田村市	40,422	36,716	33,777	32,451	31,821	▲15.38%
12市町村計	205,900	110,491	116,319	110,268	107,961	▲2.34%
福島県	2,029,064	1,862,705	1,790,362	1,743,199	1,717,454	▲8.46%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」

※避難地域12市町村においては、住民の避難や復興事業の進捗等により、統計に基づく人口と実際の居住者数が大きく乖離している場合がある。

避難地域12市町村の居住状況(令和7年11月)は、葛尾村、浪江町、飯館村、富岡町、大熊町、双葉町の6町村において居住率が50%に達していない。

<避難地域12市町村の居住状況>(令和7年11月現在)

避難指示解除時期	区分	市町村	居住率
—	—	広野町	91.6%
平成26年	全域解除	田村市(都路地区)	87.7%
平成27年	全域解除	榑葉町	70.8%
平成28年	一部解除	葛尾村	38.5%
	全域解除	川内村	84.0%
	一部解除	南相馬市(小高区等)	66.1%

避難指示解除時期	区分	市町村	居住率
平成 29 年	全域解除	川俣町(山木屋地区)	52.9%
平成 29 年	一部解除	浪江町	17.0%
	一部解除	飯館村	34.5%
	一部解除	富岡町	24.5%
平成 31 年	一部解除	大熊町	10.8%
令和 2 年	一部解除	双葉町	3.9%

※居住率は住民登録数に占める居住者の割合。居住者市町村のHP等の数値を基に計算

【出典】福島県「復興・再生のあゆみ(第18版)」

避難地域12市町村の年少人口(避難者を除く)は、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から7年間で約 800 人の減少となった。

市町村別では、軒並み震災前の水準を下回っている。

<年少人口>

(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	R6.10.1	R7.10.1	H30-R7 増減率
南相馬市	9,649	4,391	4,838	4,616	4,545	+3.51%
浪江町	2,719	-	-	-	-	
双葉町	928	-	-	-	-	
大熊町	1,848	-	-	-	-	
富岡町	2,242	-	76	-	-	
楢葉町	1,021	-	281	309	314	
広野町	765	237	405	380	378	+59.49%
飯館村	792	-	6	-	-	
葛尾村	173	-	27	45	42	
川内村	260	101	97	94	90	▲10.89%
川俣町	1,761	1,112	826	700	673	▲39.48%
田村市	5,100	3,901	3,320	3,065	2,917	▲25.22%
12 市町村計	27,258	9,742	9,876	9,209	8,959	▲8.04%
福島県	276,069	215,103	195,798	183,266	176,724	▲17.84%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」

避難地域12市町村の生産年齢人口(避難者を除く)は、住民の帰還は進んでいるものの、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から7年間で約 7,500人減少している。

市町村別では、すべての市町村において震災前の水準を下回っている。

<生産年齢人口>

(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	R6.10.1	R7.10.1	H30-R7 増減率
南相馬市	42,196	29,641	29,206	27,709	26,858	▲9.39%
浪江町	12,550	-	-	-	-	
双葉町	4,119	-	-	-	-	
大熊町	7,252	-	-	-	-	
富岡町	10,245	-	992	-	-	
楡葉町	4,684	-	1,896	1,739	1,650	
広野町	3,365	2,564	2,819	2,652	2,623	+2.30%
飯舘村	3,552	-	262	-	-	
葛尾村	865	-	171	125	123	
川内村	1,567	1,028	765	635	606	▲41.05%
川俣町	8,863	6,845	5,581	5,166	5,004	▲26.90%
田村市	23,601	20,187	17,589	16,462	15,899	▲21.24%
12市町村計	122,859	60,265	59,281	54,488	52,763	▲12.45%
福島県	1,236,458	1,056,487	982,815	947,942	929,217	▲12.05%

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」、「-」はデータ公表無し

避難地域12市町村の老年人口(避難者を除く)は、旧網形成計画の期間である平成30年度(平成30年10月1日基準)から7年間で約3,300人増加している。

市町村別では、楡葉町、葛尾村において震災前の水準を下回り、川内村と川俣町は同程度、南相馬市、広野町及び田村市は震災前水準を上回っている。

<老年人口(65歳以上)及び高齢化率>

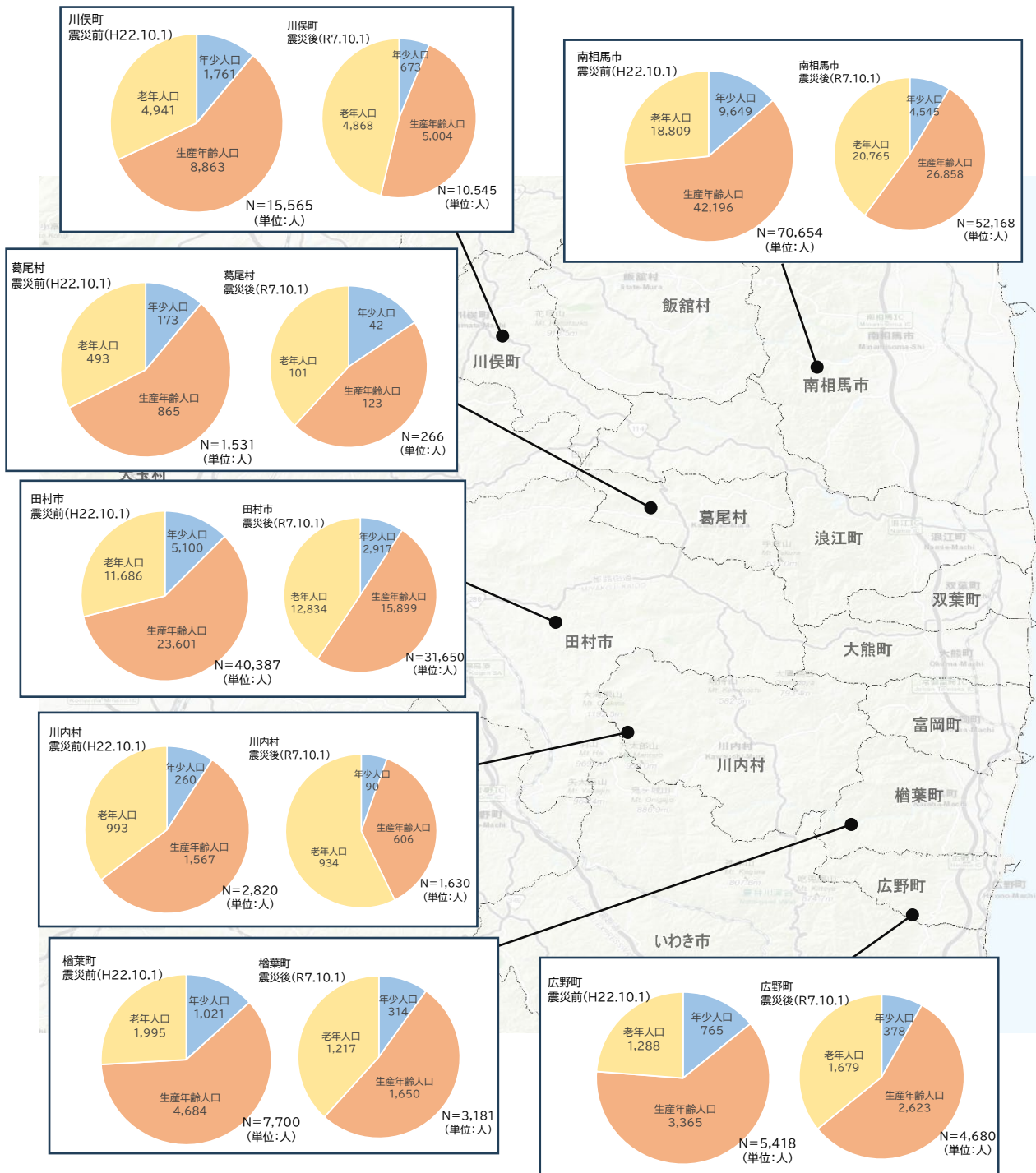
(単位:人)

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	R6.10.1	R7.10.1	H30-R7 増減率
南相馬市	18,809 26.54%	19,342 35.52%	20,939 36.44%	20,866 39.23%	20,765 37.99%	+7.36%
浪江町	5,548 26.54%	-	-	-	-	
双葉町	1,879 27.11%	-	-	-	-	
大熊町	2,413 20.96%	-	-	-	-	
富岡町	3,342 20.89%	-	209 14.11%	-	-	
楡葉町	1,995 25.91%	-	1,334 37.28%	1,255 38.00%	1,217 37.47%	
広野町	1,288 23.77%	1,168 29.41%	1,603 30.02%	1,664 35.43%	1,679 32.34%	+43.75%
飯舘村	1,865	-	629	-	-	

市町村名	H22.10.1	H30.10.1	R4.10.1	R6.10.1	R7.10.1	H30-R7 増減率
葛尾村	30.04% 493	-	69.81% 155	110	101	
川内村	32.20% 993	821	43.91% 960	39.29% 966	37.97% 934	+13.76%
川俣町	35.21% 4,941	42.08% 5,384	50.71% 4,994	56.99% 4,944	54.91% 4,868	▲9.58%
田村市	31.74% 11,686	40.19% 12,344	43.31% 12,697	45.74% 12,755	45.61% 12,834	+3.97%
	28.91%	33.62%	37.59%	39.51%	40.33%	
12 市町村計	55,252	39,059	43,520	42,560	42,398	+8.55%
	26.83%	35.35%	37.41%	38.17%	39.27%	
福島県	504,451	568,536	577,815	578,057	577,579	+1.59%
	24.86%	30.52%	32.27%	33.82%		

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」、「-」はデータ公表無し

● 避難地域12市町村における年少人口、生産年齢人口、老年人口の震災前と震災後の比較図



※浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、飯館村は震災後の人口が確認できないため記載なし。
 ※合計(N)は年齢不明者がいるため、人口総数と一致しない市町村もある。

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律(原発避難者特例法)に基づき指定される13指定市町村以外の区域に避難している者の人数は、避難指示区域の縮小、復興公営住宅の整備等を背景として平成24年度から13年間で14万人余り減少しており、令和7年11月時点で約24,000人となっている。

なお、市町村域の大半に帰還困難区域が設定されている浪江町、大熊町、双葉町ではいまだ多くの住民が避難生活を送っている。

<避難者数>

(単位:人)

福島県	H24.5	H25.5	R3.5	R4.9	R5.5	R6.11	R7.11	H24-R7 増減率
県外への避難者数	62,038	54,680	28,171	22,727	20,868	19,849	19,176	69.09% 減少
県内への避難者数	102,827	97,286	6,966	6,481	6,147	5,756	4,520	95.60% 減少
避難先不明者		147	13	5	5	5	5	
合計	164,865	152,113	35,150	29,213	27,020	25,610	23,701	

【出典】福島県

避難地域12市町村における移住・定住人口は平成29年度以降、令和5年度まで増加していたが、令和6年度は若干の減少となった。

<移住・定住人口>

12市町村計	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
定住								
世帯数	26世帯	77世帯	114世帯	155世帯	326世帯	425世帯	637世帯	578世帯
人数	35人	111人	151人	213人	436人	601人	839人	822人
二地域								
世帯数	1世帯	2世帯	1世帯			2世帯		
人数	2人	2人	1人			2人		
合計								
世帯数	27世帯	79世帯	115世帯	155世帯	326世帯	427世帯	637世帯	578世帯
人数	37人	113人	152人	213人	436人	603人	839人	822人

【出典】福島県

<現状分析>

避難地域12市町村では東日本大震災以前の人口にまで回復しておらず、高齢化が進行している。今後は、特定帰還居住区域における環境整備(除染やインフラ等の整備)の進展とともに徐々に人口の増加が期待されるが、当面の間、公共交通等の日常生活に不可欠なサービスは、採算性の確保が困難と予想される。

2-3 気象・自然環境

避難地域12市町村の区域は、太平洋沿岸部と阿武隈高地の海、山、川の豊かな自然を擁した温暖な気候の地域である。

原発事故により放射性物質に汚染された地域では、環境を回復するための除染が進められ、国が除染の計画を策定し除染事業を進める除染特別地域では、平成27年3月末までに帰還困難区域を除く全ての市町村で面的除染が完了している。

近年、気象災害が頻発化、激甚化の傾向にあり、令和元年10月の令和元年東日本台風では、県内で初めて大雨特別警報が発令され、各地の河川の氾濫、堤防の決壊、土砂災害、住宅被害、農林水産業への被害が生じている。この台風から2週間後にも低気圧の影響により、浜通り地方を中心に激しい雨となり、更に被害が広がっている。


令和3年2月には、福島県沖を震源とするマグニチュード7.3、最大震度6強の地震が発生し、家屋を始め、高速道路、港湾、農業用ため池など、県内各所に大きな被害をもたらした。





令和4年3月にも、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4、最大震度6強の地震が発生し、高速道路、JR常磐線など、県内各所に大きな被害をもたらした。

2-4 産業・観光の現状

避難地域12市町村における産業団地の整備状況及び観光資源の分布については以下のとおりである。

● 産業団地の整備状況(第二次産業)

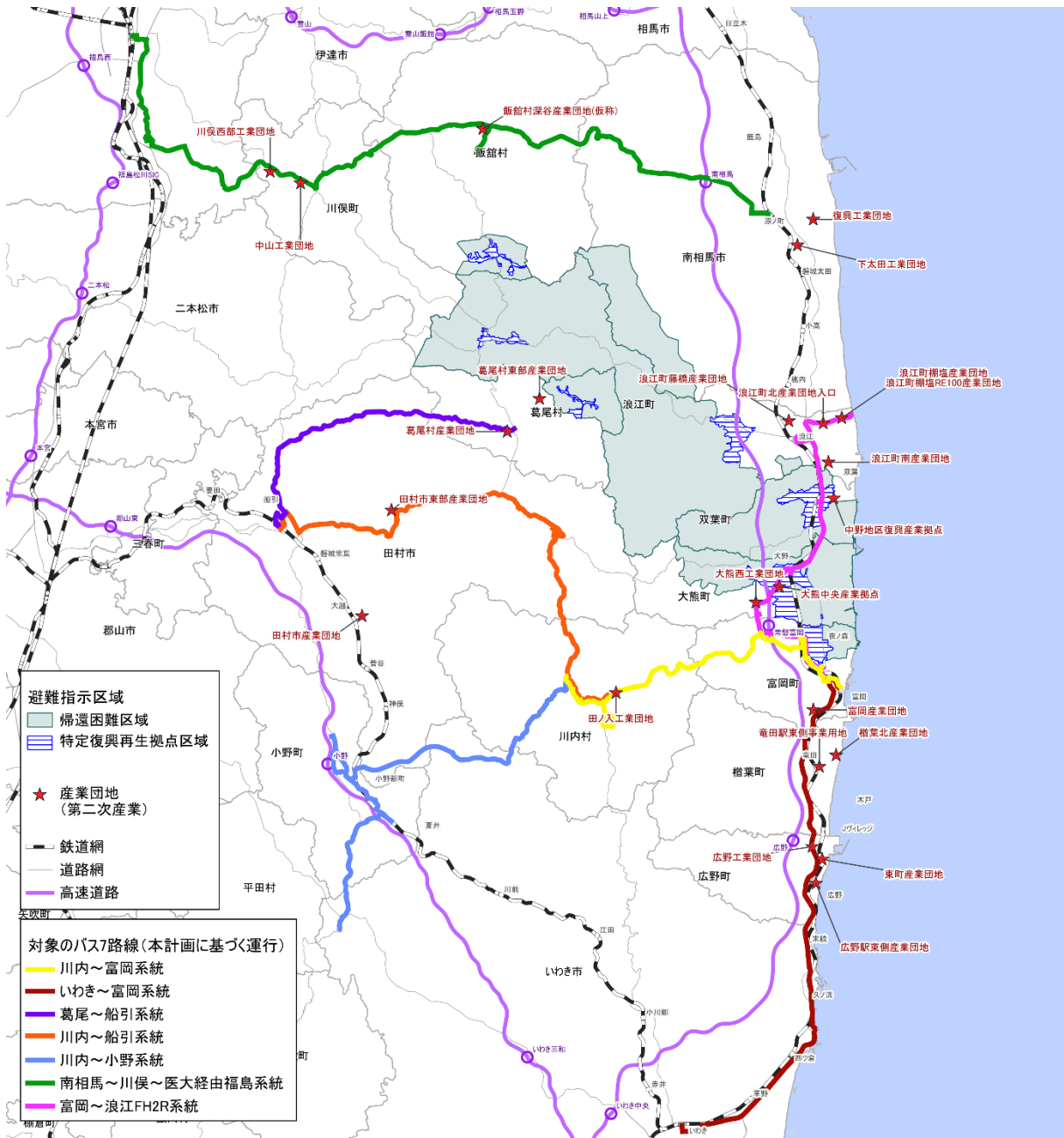
 バス停  駅

名称	事業者数	公共交通機関 (最寄りバス停等)
南相馬市 ○復興工業団地 ○下太田工業団地	6社 12社	 福島ロボットテストフィールド前(ア)  磐城太田駅
浪江町 ○浪江町北産業団地 ○浪江町南産業団地 ○浪江町棚塩産業団地 ○浪江町藤橋産業団地 ○浪江町棚塩 RE100 産業団地	2社 5社 5社 6社 0社	 北産業団地入口(常) -  棚塩産業団地入口(常) -  浪江滑走路(常)
双葉町 ○中野地区復興産業拠点	25社	 伝承館・産業交流センター前(ア)
大熊町 ○大熊西工業団地 ○大熊中央産業拠点	2社 2社	 大熊町役場(常) -
富岡町 ○富岡産業団地	13社	-
楡葉町 ○竜田駅東側事業用地 ○楡葉北産業団地	7社 1社	 竜田駅 -
広野町 ○広野駅東側産業団地 ○東町産業団地 ○広野工業団地	14社 1社 20社	 広野駅 - -
飯舘村 ○飯舘村深谷産業団地(仮称)	(造成中)	-
葛尾村 ○葛尾村産業団地 ○葛尾村東部産業団地	3社 3社	 湯ノ平(福) -
川内村 ○田ノ入工業団地	2社	 坂シ内(福)(常)

名称	事業者数	公共交通機関 (最寄りバス停等)
川俣町 ○中山工業団地 ○川俣西部工業団地	2社 3社	- -
田村市 ○田村市産業団地 ○田村市東部産業団地	4社 2社	大越駅 余平田(福)


















※ (福):福島交通、(常):新常磐交通、(ア):東北アクセス





● 産業団地の位置図



● 観光資源の概要(第三次産業)

 バス停  駅 (単位:人)

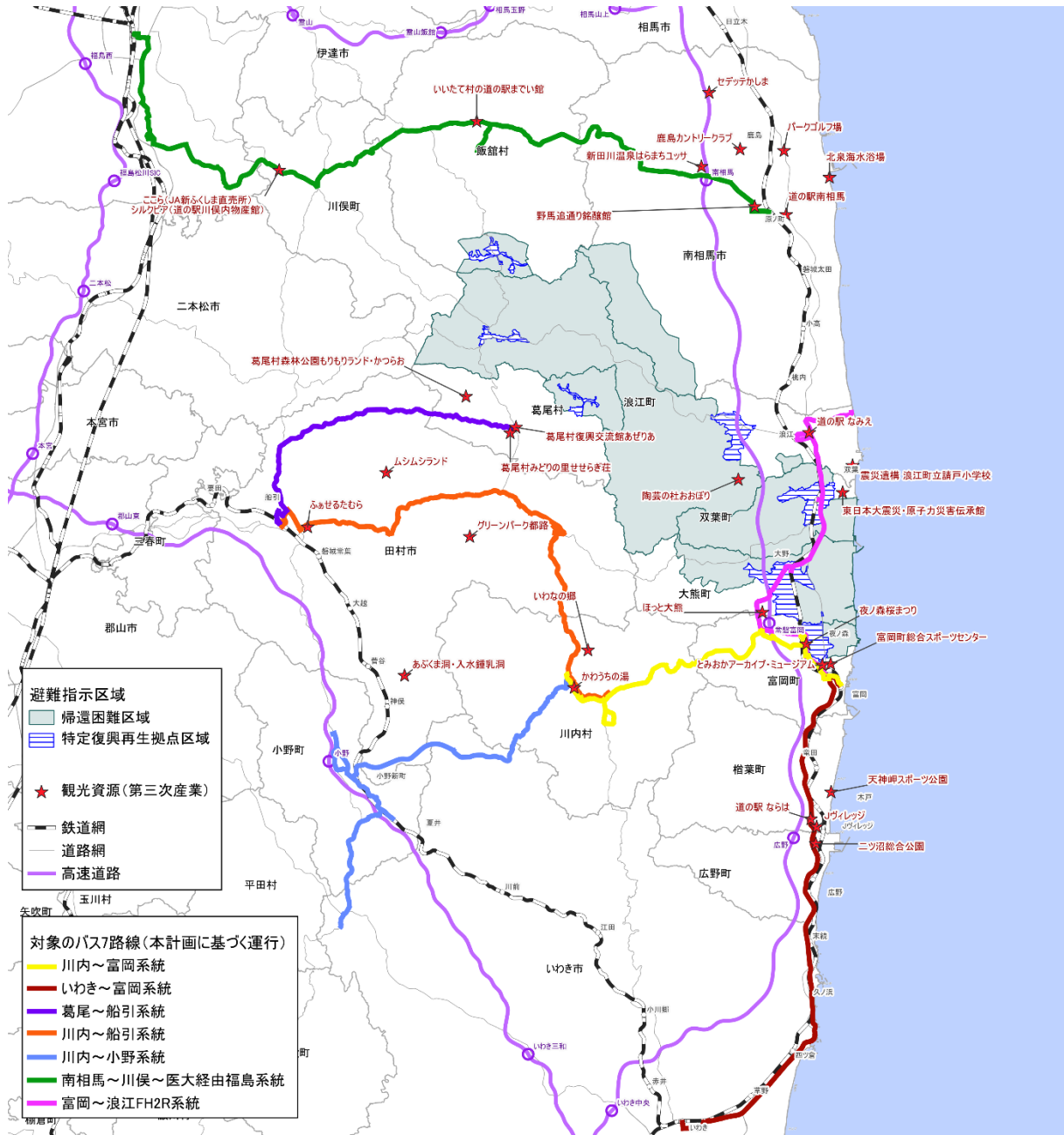
観光地名	観光客 入込数	公共交通機関 (最寄りバス停等)
南相馬市		
○北泉海水浴場	21,182	-
○鹿島カントリークラブ	31,828	-
○新田川温泉はらまちユッサ	65,240	-
○野馬追通り銘醸館	31,040	 南相馬市役所(福)
○道の駅南相馬	257,856	 南相馬市立総合病院前(ア)
○セデッテかしま	1,339,701	-
○パークゴルフ場	53,202	-
浪江町		
○震災遺構浪江町立請戸小学校	71,941	-
○道の駅なみえ	598,222	 道の駅なみえ(常)
○陶芸の杜おおぼり	6,249	-
双葉町		
○東日本大震災・原子力災害伝承館	87,445	 伝承館・産業交流センター前(ア)
大熊町		
○ほっと大熊	22,463	 大熊町役場(常)
富岡町		
○富岡町総合スポーツセンター	28,253	 富岡町文化交流センター(常)
○とみおかアーカイブ・ミュージアム	20,901	 とみおかアーカイブ・ミュージアム(常)
○夜ノ森桜まつり	33,000	 夜ノ森駅、  夜ノ森駅西口(常)
檜葉町		
○天神岬スポーツ公園	144,647	-
○Jヴィレッジ	452,566	 Jヴィレッジ駅
○道の駅ならは	251,526	 道の駅ならは(常)
広野町		
○ニツ沼総合公園	35,131	-
飯館村		
○いいたて村の道の駅までい館	135,947	 いいたて村までい館(福)
葛尾村		
○葛尾村復興交流館あぜりあ	24,356	 落合(福)
○葛尾村みどりの里せせらぎ荘	14,560	 関下(福)
○葛尾村森林公園もりもりランド・かつらお	1,783	 東(福)
川内村		
○いわなの郷	17,458	 いわなの郷前(福)
○かわうちの湯	61,663	 役場・かわうちの湯前(福)(常)

名称	観光客 入込数	公共交通機関 (最寄りバス停等)
川俣町 ○ここら(JA 新ふくしま直売所) ○シルクピア(道の駅川俣内物産館)	69,470 127,344	 絹の里シルクピア前(福)  絹の里シルクピア前(福)
田村市 ○あぶくま洞・入水鍾乳洞 ○ムシムシランド ○グリーンパーク都路 ○ふあせるたむら(JA福島さくら農産物直売所)	209,821 25,531 10,931 196,288	 神俣駅 - -  中の内(福)

※ 観光客入込数は令和 6 年度

※ (福):福島交通、(常):新常磐交通、(ア):東北アクセス

● 主な観光資源の位置図



<現状分析>

避難地域12市町村では、重要な経済基盤である産業団地の整備が進められ、震災を伝承する施設や観光資源が立地している。令和8年4月には、双葉町と浪江町に跨る地域に国営の福島県復興祈念公園が開園予定であるなど、復興の更なる進展とともに、雇用人口や交流人口の増加及び経済波及効果が期待される。自動車を利用しない者であっても、これらに容易にアクセスできるよう、移動ニーズを踏まえた交通手段の充実が求められる。

2-5 自動車保有台数、免許保有者数・返納者数の状況

人口 1 人当たり保有台数では、南相馬市及び広野町、川俣町、田村市は県全体と同程度、飯舘村及び葛尾村、川内村は県全体より多い。

1 世帯当たり保有台数では、南相馬市及び檜葉町、広野町、川俣町、田村市は県全体と同程度、飯舘村及び葛尾村、川内村は県全体より多い。

<自動車保有台数>

(単位:台)

市町村名	自動車保有台数 (R7.3.31)	人口1人当たり 保有台数	1世帯当たり 保有台数
南相馬市	25,279	0.46	0.96
浪江町	2,020	-	-
双葉町	344	-	-
大熊町	891	-	-
富岡町	2,082	-	-
檜葉町	2,412	0.72	1.10
広野町	2,520	0.49	0.85
飯舘村	2,091	4.37	3.75
葛尾村	411	1.53	2.02
川内村	1,176	0.68	1.79
川俣町	4,247	0.39	0.91
田村市	13,578	0.42	1.10
12 市町村計	57,051	0.52	1.14
福島県	744,532	0.43	0.99

【出典】東北運輸局福島運輸支局「福島県内市町村別自動車数調」(令和 7 年 3 月 31 日現在)

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」(令和 7 年 4 月 1 日現在)

自動車運転免許の保有者数は、南相馬警察署及び田村警察署管内では、人口1人当たり保有数は県平均と同程度となっている。なお、双葉警察署管内では人口及び世帯に避難者を含んでいない。

<自動車運転免許保有者数:令和6年10月末現在>

(単位:人)

警察署名	自動車運転免許保有数	人口1人当たり保有数	1世帯当たり保有数
南相馬警察署 南相馬市、飯舘村	44,644	0.79	1.65
双葉警察署 浪江町、双葉町、大熊町 富岡町、檜葉町、広野町 葛尾村、川内村、川俣町	43,575	2.02	4.07
田村警察署※ 田村市	42,006	0.73	1.92
福島県	1,257,000	0.72	1.67

【出典】福島県警察本部「令和7年版交通白書」

【出典】福島県「福島県現住人口調査月報」(令和6年10月1日現在)

※ 双葉警察署管内の浪江町、双葉町、大熊町、富岡町の人口のデータはない。

※ 田村市のほか、三春町及び小野町の分を含む。

自動車運転免許返納者数は、年齢の上昇とともに増加する傾向となっている。

免許返納の主な理由は、運転の不要、身体機能の低下、家族からの勧め、適正不合格などとなっている。

<自動車運転免許返納者数:令和6年>

(単位:人)

市町村名	65歳未満	65~74歳	75歳以上
南相馬警察署 南相馬市、飯舘村	10	58	229
双葉警察署 浪江町、双葉町、大熊町 富岡町、檜葉町、広野町 葛尾村、川内村、川俣町	4	17	49
田村警察署※ 田村市	4	37	152
福島県	166	1,474	4,895

【出典】福島県警察本部

※ 田村市のほか、三春町及び小野町の分を含む。

第3章 避難地域12市町村における地域公共交通の現状・課題

3-1 地域公共交通の概況

(1) 鉄道

① JR常磐線

東京から仙台までを、千葉県、茨城県、福島県の太平洋沿岸地域を經由して結ぶ全線電化の鉄道路線である。東日本大震災で全線が運休、一部区間で壊滅的な被害を受けたが、その後、復旧工事が進められ、順次運行再開し、令和2年3月には、最後まで不通であった富岡駅～浪江駅間が復旧し、全線で運転再開した。

避難地域12市町村では、以下の駅が設置されている。

市町村	駅名	駅の特徴
南相馬市	鹿島駅	無人駅
	原ノ町駅	直営駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
	磐城太田駅	無人駅
	小高駅	無人駅
	桃内駅	無人駅
浪江町	浪江駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
双葉町	双葉駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
大熊町	大野駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
富岡町	夜ノ森駅	無人駅
	富岡駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車
檜葉町	竜田駅	簡易委託駅
	木戸駅	無人駅
	Jヴィレッジ駅	無人駅
広野町	広野駅	無人駅、話せる指定席券売機、特急ひたち停車

令和7年12月現在、上記区間では、特急列車が1日3往復、普通列車が1日11往復運行している。

桃内駅を除いて交通系ICカード(Suica[※])対応駅となっているが、浪江駅以南は首都圏エリア、小高駅以北は仙台エリアに区分されており、両方のエリアをまたいでの利用はできない。※「Suica」は、JR東日本の登録商標である。

令和6年10月から、両方のエリアをまたいで利用ができる、えきねっと Q チケットが始まった。

原ノ町駅は、常磐線から飯館村へのアクセスルートの下車駅、富岡駅は川内村へのアクセスルートの下車駅となっている。

なお、原ノ町駅～いわき駅間は、令和6年度現在、「利用の少ない線区※1」とされている。

※1 令和6年度実績で1日当たりの平均乗客数(輸送密度)が2千人未満の線区。

② JR磐越東線

いわき市から郡山市までを結ぶ全線非電化の鉄道路線(地方交通線)である。
避難地域12市町村では、以下の駅が設置されている。

市町村	駅名	駅の特徴
田村市	神俣駅	無人駅
	菅谷駅	無人駅
	大越駅	無人駅
	磐城常葉駅	無人駅
	船引駅	業務委託駅、話せる指定席券売機
	要田駅	無人駅

現在、上記区間では、普通列車が1日14～15往復運行している。ほとんどが郡山駅～小野新町駅間の運行であり、いわき駅までの本数は少ない。

令和4年7月、JR東日本では、磐越東線の小野新町駅～いわき駅間を「利用の少ない線区」として収支や乗客数を公表し、令和6年10月には小野新町駅～郡山駅間も「利用の少ない線区」として公表された。

令和6年度現在、郡山駅～いわき駅の全区間で「利用の少ない線区」とされている。

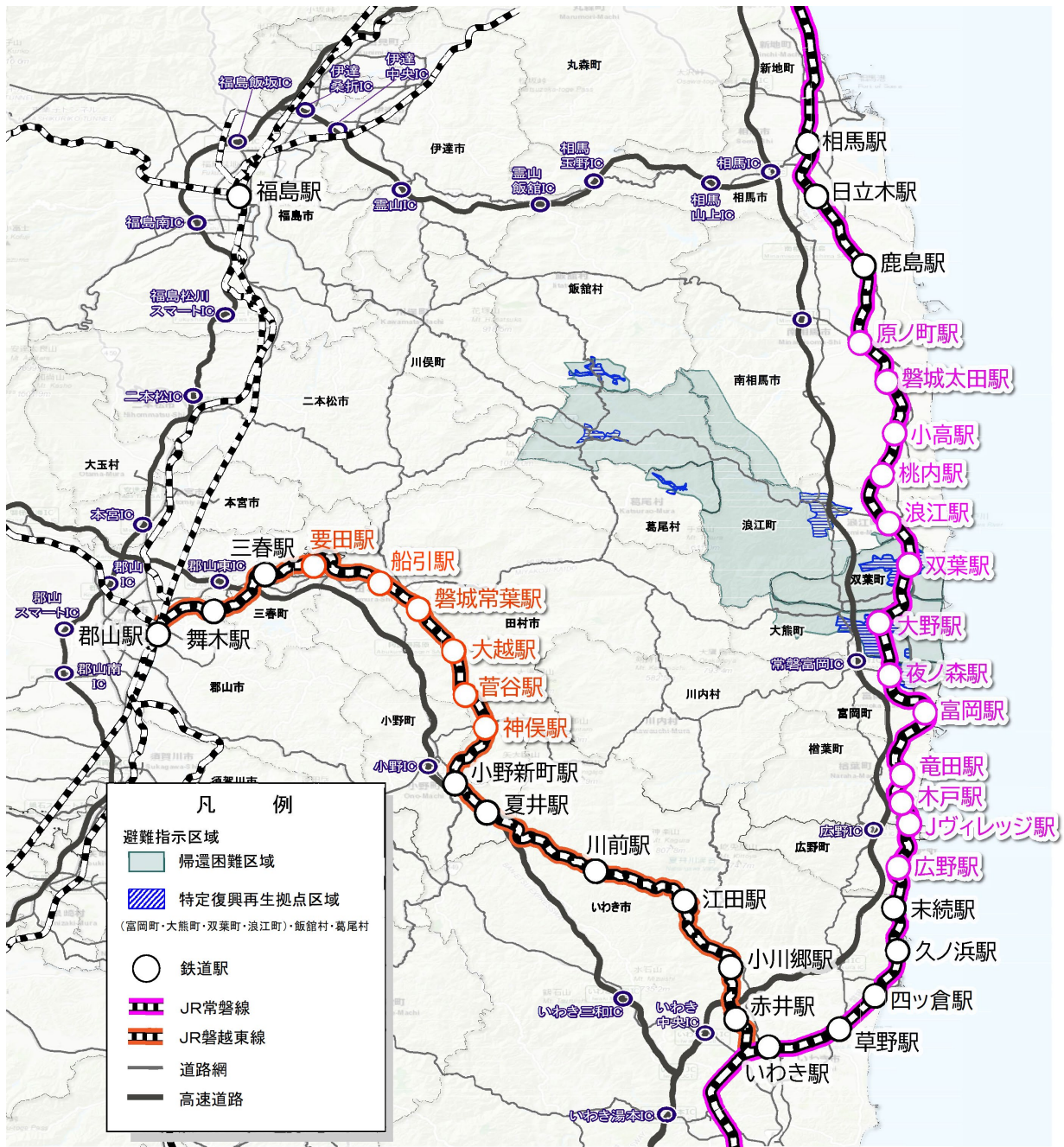
船引駅及び要田駅は交通系ICカード(Suica)対応駅となっている。

船引駅は、郡山方面から葛尾村及び川内村へのアクセスルートの下車駅、小野新町駅及び神俣駅は、いわき方面又は郡山方面から川内村へのアクセスルートの下車駅となっている。

<現状分析>

避難地域12市町村では、南北の広域公共交通はJR常磐線が、いわき～郡山間の広域公共交通はJR磐越東線が担っているが、それ以外の地域における広域公共交通は、バス路線が重要な役割を担っている。このため、広域的な移動ニーズに的確に対応できるよう、鉄道、バスの接続の円滑化が求められる。

● 避難地域12市町村における鉄道の概況図



※避難地域12市町村における JR 常磐線の駅はピンク色、JR 磐越東線の駅はオレンジ色で表示。

(2)バス路線

① 高速バス、都市間バス

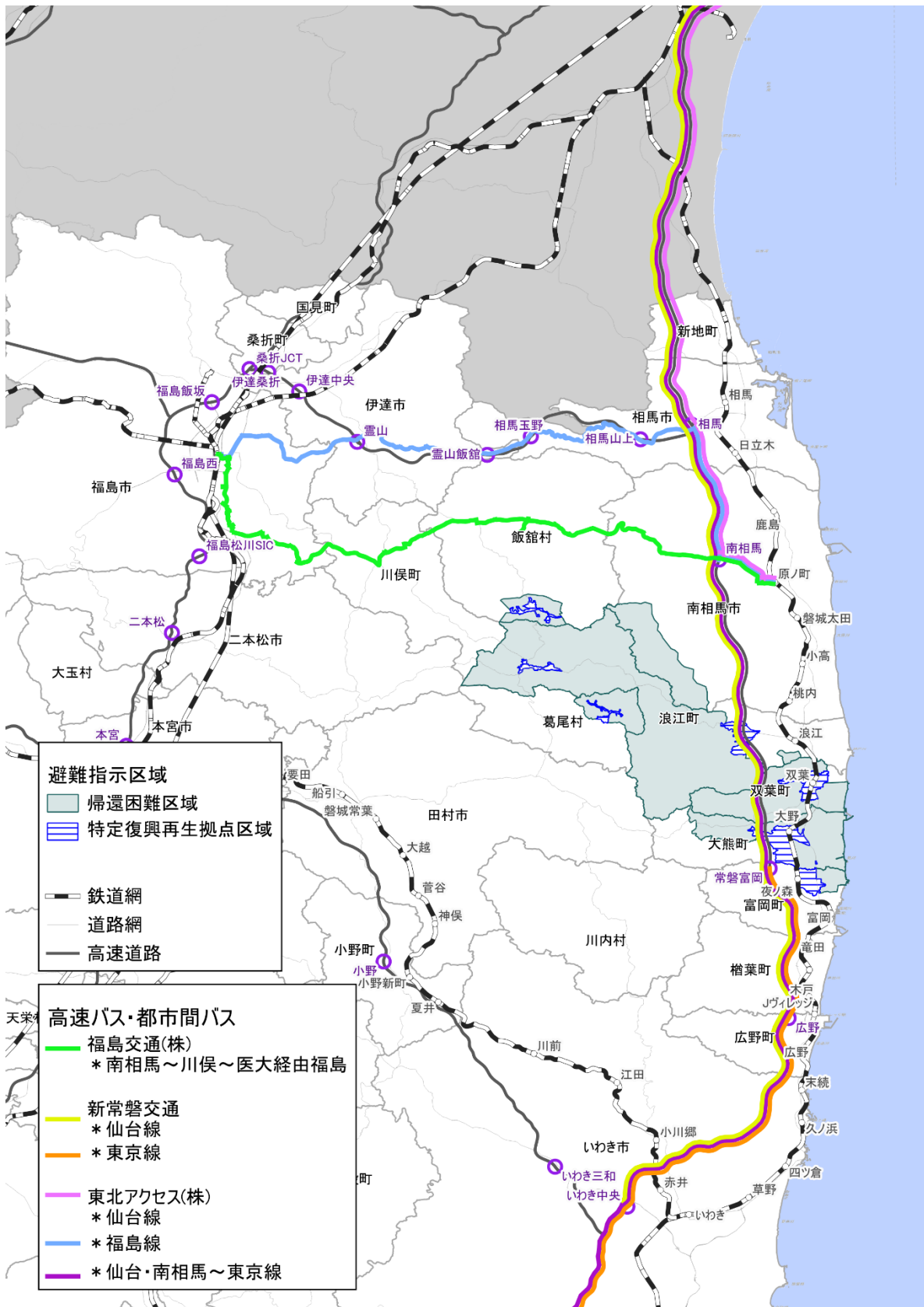
令和7年12月現在、避難地域12市町村では、以下の高速バス及び都市間バスが運行している。

運行事業者	運行区間	運行本数
福島交通(株)	* 南相馬～川俣～医大経由福島 南相馬市～飯舘村～川俣町～福島市	6往復
新常磐交通(株)	* 仙台線 いわき市、広野町、楡葉町、富岡町～仙台市 ※12月1日より一部運休	4往復※
	* 東京線 富岡町、楡葉町、広野町、いわき市～東京	1往復
東北アクセス(株)	* 仙台線 南相馬市、相馬市、新地町～仙台市	2往復
	* 福島線 双葉町、浪江町、南相馬市、相馬市～福島市	2往復 (土休日のみ、 双葉駅前発は 1往復)
	* 仙台・南相馬～東京線 仙台市、相馬市、南相馬市、富岡町～東京都	1往復 (特定日運行)

上記のうち、福島交通株式会社が運行する路線(本計画に定める南相馬～川俣～医大経由福島系統)及び東北アクセス株式会社が運行する福島線は、避難地域12市町村と県内の中核都市(福島市)を結ぶ路線である。それ以外の路線は避難地域12市町村と県外を結ぶ路線である。

東北アクセス株式会社が運行する福島線は、令和7年11月より、土・休日のみ運行となった。以前は飯舘村を経由したルートも設定されていたが、現在は運行されていない。

● 高速バス、都市間バスの概況図



② 路線バス

令和7年12月現在、避難地域12市町村では、以下の路線バスが運行している。

これらのうち、旧網形成計画で策定・運行された広域バス路線(葛尾・船引線、川内・船引線、川内・富岡線、いわき・富岡線、川内・小野・上三坂線)は、いずれも複数の市町村にまたがる路線であり、生活の足として利用されている。

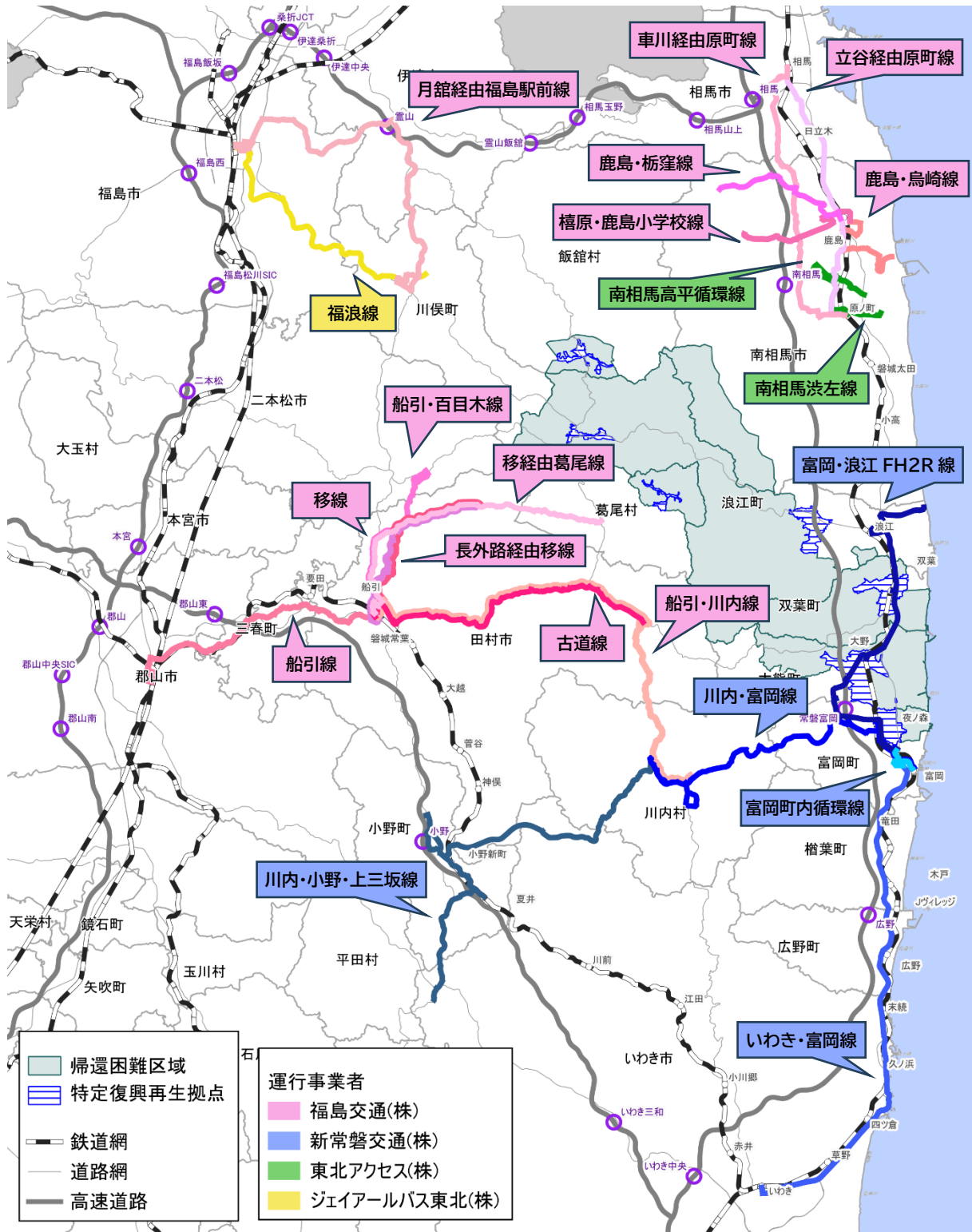
運行事業者	運行区間	運行本数
福島交通(株)	* 立谷経由原町線 相馬市～南相馬市鹿島区～原町区	平日2～3往復
	* 車川経由原町線 相馬市～南相馬市鹿島区～原町区	平日2往復
	* 鹿島・栃窪線 南相馬市鹿島区内	平日1～2往復
	* 榑原・鹿島小学校線 南相馬市鹿島区内	平日1～2往復
	* 鹿島・烏崎線 南相馬市鹿島区内	平日1～2往復
	* 移経由葛尾線 葛尾村～田村市	平日5、休日3往復
	* 船引・川内線 川内村～田村市	平日4、休日3往復
	* 古道線 田村市内	平日3、休日1往復
	* 長外路経由移線 田村市内	平日1、休日1往復
	* 移線 田村市内	平日1、休日1往復
	* 船引・百目木線 田村市～二本松市	平日2、休日2往復
	* 月舘経由福島駅前線 川俣町～伊達市～福島市	平日3、休日3往復
	新常磐交通(株)	* 川内・富岡線 川内村～富岡町
* いわき・富岡線 いわき市～広野町～榑葉町～富岡町		平日4、土曜3往復
* 川内・小野・上三坂線 川内村～小野町～いわき市		平日3往復

運行事業者	運行区間	運行本数
新常磐交通(株)	* 富岡・浪江FH2R線 富岡町～大熊町～双葉町～浪江町	平日4往復
	* 浪江町役場・浪江FH2R線 浪江町内	平日4往復
	* 富岡町内循環線 富岡町内	平日、土曜各6回
東北アクセス(株)	* 南相馬高平循環線 南相馬市原町区内	1～2往復
	* 南相馬渋左線 南相馬市原町区内	1～2往復
JRバス東北(株)	* 福浪線 川俣町～福島市	平日12往復 休日11往復

<現状分析>

避難地域12市町村では、運行本数の少ないバス路線が多いが、通勤・通学の時間帯や鉄道への接続等、広域的な移動ニーズへの的確な対応と利便性の向上を図っていくことが求められる。

● 路線バスの概況図

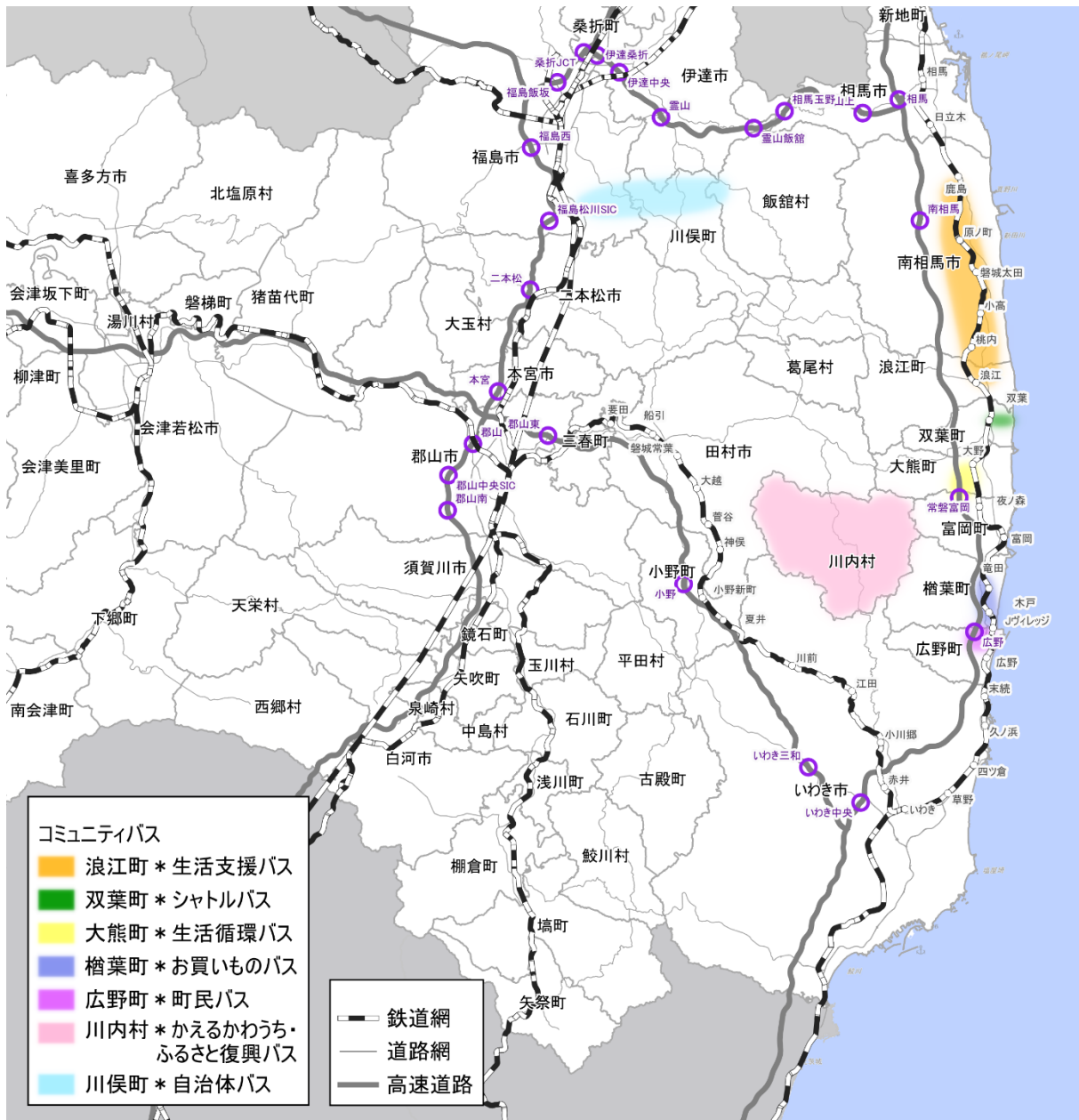


③ コミュニティバス

令和7年10月現在、避難地域12市町村では、以下のコミュニティバス(定期運行サービス)が運行されている。

市町村	名称	運行ルート、特徴
浪江町	*生活支援バス	浪江町～南相馬市 毎週月・水・金運行、無料 浪江町～二本松市 毎月第2・4木曜運行、無料
双葉町	*シャトルバス	双葉駅～伝承館・産業交流センター 毎日運行、200円
大熊町	*生活循環バス	大川原公営住宅～大野駅 毎日運行、無料 大川原公営住宅～富岡駅 毎日運行、無料
楡葉町	*お買い物バス	楡葉町内4コース 毎週木・金運行、無料
広野町	*町民バス	広野町内5コース 平日運行(月・水・金)、無料
川内村	*かえるかわうち・ふるさと再興バス	川内村内10コース 平日運行、無料
川俣町	*自治体バス	川俣高校前～松川駅 ①川俣松川線(福島市と共同運行) ②川俣飯野線(福島市と共同運行)

● コミュニティバスの概況図



(3)その他

① タクシー

令和7年10月現在、避難地域12市町村におけるタクシー事業者数及び台数は以下のとおりである。

市町村	事業者数	保有台数
南相馬市	9社	64台
浪江町	1社	7台
双葉町	1社	2台
富岡町	3社	9台
檜葉町	2社	22台
広野町	1社	8台
川俣町	1社	6台
田村市	2社	28台

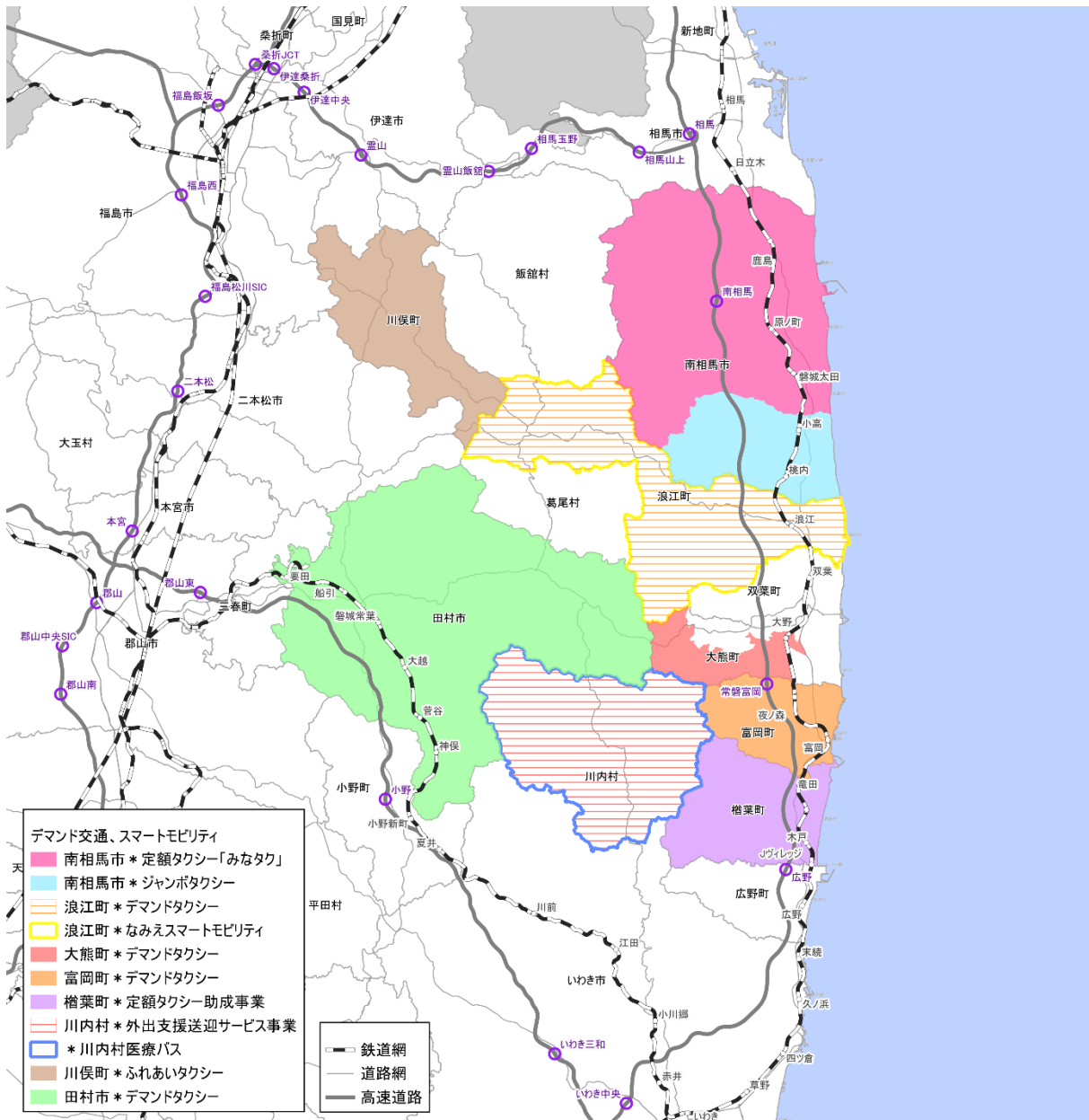
※一般社団法人福島県タクシー協会からの情報提供に基づく。休止中の事業者及び非会員を除く。

② デマンド交通、スマートモビリティ

令和7年10月現在、避難地域12市町村では、以下のデマンド交通等が運行されている。

市町村	名称	サービス提供エリア
南相馬市	* 定額タクシー「みなタク」 * ジャンボタクシー	原町区、鹿島区 小高区
浪江町	* デマンドタクシー * なみえスマートモビリティ	浪江町内便、南相馬便 浪江町内
大熊町	* デマンドタクシー	帰還困難区域を除く大熊町内全域 富岡町内の生活循環バスの5停留所のみ
富岡町	* デマンドタクシー	富岡町内
檜葉町	* 定額タクシー助成事業	檜葉町内(利用者要件あり)
川内村	* 外出支援送迎サービス事業 * 医療バス	川内村～村内外(利用者要件あり) 川内村内
川俣町	* デマンドタクシー「ふれあいタクシー」	川俣町内
田村市	* デマンドタクシー	田村市内及び小野町

● タクシー、デマンド交通、スマートモビリティの概況図



<現状分析>

コミュニティバスやタクシー、デマンド交通、スマートモビリティは、鉄道や路線バス等の広域公共交通ではカバーできない域内交通を支えるために欠かせない移動手段である。今後も帰還住民や来訪者の移動ニーズに的確に対応するために、広域公共交通（路線バス）等の定期運行サービスと域内交通の適切な役割分担が求められる。

浪江町「なみえスマートモビリティ」

浜通り北部に位置する浪江町は、平成 29 年 3 月に避難指示が解除され、令和 7 年 2 月末現在で 2,274 人が居住している。避難指示解除以降の移住者や、町内に立地する事業所や研究施設、観光地への来訪者が多く、今後も増加が見込まれている一方、二次交通を担う地域公共交通が不足している。

「なみえスマートモビリティ」とは

「なみえスマートモビリティ」は、移動手段の提供による復興支援と地域活性化を目的とし、令和 2 年 11 月から実証実験がスタートした相乗りオンデマンドモビリティサービスである。

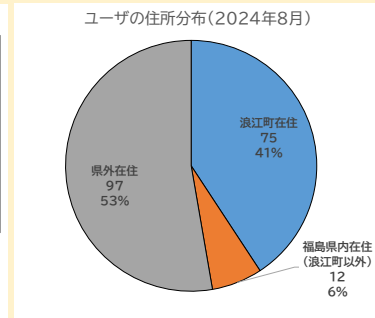
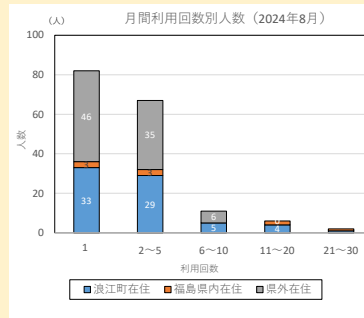
浪江町在住者から来街者まで、子供や若年層から高齢者まで、様々な属性の人が地域にいることから、スマホアプリ、店舗や施設に設置した端末、電話等の多様な手段からの予約に対応している。

タクシーのようなドアツードアの送迎ではないが、停留所は主要な施設・店舗や登録ユーザ自宅の徒歩 1 分以内に設置されている。また、タクシーが営業終了する夜の時間帯においても飲食店への移動手段を確保するため、水～金曜日は 21 時 30 分まで運行している。



利用状況

令和2年11月以降に実証実験がスタートし、累計ユーザ数は令和7年2月時点で 2,097 人となっている。1 日の平均利用者は約40人、うち月間利用回数が 10 回を超えるユーザも 10 人程度みられる。利用者に占める浪江町在住者の割合は約2割であり、観光やビジネスでの来街者にも多く利用されているなど、実証運行を通じ、「なみえスマートモビリティ」のある景色が浪江町に定着している。



モビリティサービスを軸にした地域の課題解決

運営を進めていく中で抽出した地域の課題に対して、地域とモビリティサービスがともに持続的に発展するための方策を検討し、実装している。

- ・子供の外出促進のため、自宅と習いごとや学校との間をスマモビで子供単独で安全に移動できるように、スマホを携帯不要な見守り機能や行先制限機能を実装
- ・震災から14年が経過し、居住人口が増加している中で、浪江町が抱える課題も変化してきており、今後、新たに生じた課題への対応についても検討している。例えばスクールバスの支援である。学校現場の負担を削減するため、運行に関する事務効率化、柔軟かつ効率的な運行計画の策定支援を提供する。また飲食店との連携も進めている。来店客の利便性や飲食店の集客力強化、送客負担解消等に向けて、飲食店の開店状況や混雑状況の配信サービスとスマモビ配車予約機能を統合して提供する計画である。



【出典】日産自動車株式会社

田村市「デマンドタクシー」

田村市「デマンドタクシー」

田村市では、これまでエリアごとに分かれて運行していた乗合タクシーを令和4年10月から「田村市デマンドタクシー」として実証運行を行っており、令和5年4月から新たに本格運行が開始される。

運行エリアや運行時間を拡充し、通院や買い物、送り迎え等、利用者の移動ニーズに合わせ、さらに便利で利用しやすく生まれ変わった。

事前登録不要でさらに便利に

従来の乗合タクシーでは必要だった事前登録が不要になっている。利用30分前までに電話で予約するだけで利用することができる。

また、電話以外の予約方法として、LINEでの予約受付を行っており、より一層便利で気軽に利用できるようになった。



愛称の募集

市民に寄り添い、市民にとって親しみやすく覚えやすいデマンドタクシーになるような「愛称」を募集した。募集期間は令和4年10月1日～31日まで募集したところ138件もの応募があり、『田村らくらくタクシー』に決定。



【出典】:田村市

3-2 福島県避難地域広域公共交通網形成計画(旧網形成計画)の達成状況評価

目標 1 複数市町村にまたがる公共交通の再開・充実

- ・ 県の主導の下、市町村間の広域公共交通を計画するための調整機関として「方部会」を開催し、現在、避難地域で生活されている方と、一時帰宅も含め避難地域に訪問される方の双方の視点に立ち、複数の市町村にまたがる路線バスの再開・充実及び継続運行を図ります。
- ・ 避難地域の広域的な日常生活の移動を支える、JR常磐線の運行再開を図ります。
- ・ 帰還の促進を図るための周知を行います。

【施策の達成状況】

旧網形成計画に基づく6路線を地域公共交通確保維持改善事業(被災地特例)に位置付け、継続運行を図った。

利用状況は、事業1-6医大経由福島系統は、福島市～南相馬市間の都市間利用が多く、次いで相双地域から医科大学への利用となっており、通勤利用も見られたところである。令和元年度末からのコロナ禍で利用者数は減少し、回復半ばにある。

それ以外の路線では、主として高校生の通学利用が多く、次いで、買い物等での利用が見受けられる。事業1-1川内・富岡系統、事業1-2いわき・富岡系統、事業1-5川内・小野系統は、利用が低調であり、復興の進展を見据えながら、路線の在り方の検討を進めていく必要がある。

事業1-3葛尾・船引系統は、葛尾村にとって唯一の公共交通となっている。

このように、利用状況が低調な路線があるものの、避難地域の住民にとっては通学・買い物・通院等に欠かせない路線として位置付けられており、今後も路線の維持・確保が求められる。

なお、帰還の促進を図るための周知活動として、「ふくしま復興のあゆみ」への掲載を始め、ホームページ等により周知広報を行った。

なお、個別路線の現状・課題の検証は、第5章にて行うものとする。

<避難地域12市町村を運行する広域路線バスの利用状況(1日当たり:人)>

	平成30年 事業年度	令和元年 事業年度	令和2年 事業年度	令和3年 事業年度	令和4年 事業年度
事業1-1 川内・富岡系統 平日3往復、休日－	1.5	2.3	2.1	1.4	1.8
事業1-2 いわき・富岡系統 平日4往復、休日3往復	7.8	10.1	9.5	10.7	11.9
事業1-3 葛尾・船引系統 平日5往復、休日3往復	15.7	18.0	16.8	18.5	16.9
事業1-4 川内・船引系統 平日4往復、休日3往復	23.9	32.1	29.2	28.2	28.3
事業1-5 川内・小野系統 平日3往復、休日－	3.4	5.3	6.9	9.8	10.3
事業1-6 医大経由福島系統 平日6往復、休日6往復	64.9	65.6	41.3	35.5	41.8
事業1-7 富岡・浪江FH2R系統 平日4往復、休日－	－	－	－	1.3	2.5

【評価指標】

○拠点内主要施設(高等学校・医療施設)まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数

鉄道、広域路線バス等を利用して高等学校の始業時刻や医療機関の診療時間帯に間に合うようアクセス可能な市町村数は目標を達成しているものの、終業時刻や部活動の時間帯等に合わせたダイヤとはなっておらず、利便性の改善が課題である。

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
<高等学校> ・ふたば未来学園高等学校	3市町村 広野町、檜葉町、富岡町	7~8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成
・小高産業技術高等学校	3市町村 南相馬市、浪江町、飯舘村	7~8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成
<医療施設> ・ふたば医療センター附属病院		8市町村	8市町村 広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、南相馬市	達成

目標2 広域公共交通と域内公共交通の有機的な連携

- ・ 復興拠点の整備等、復興まちづくりと連携を図りながら、広域公共交通と域内公共交通の結節点を設定し、双方の乗り継ぎ円滑化(ダイヤの調整や乗り継ぎ場所の確保等)を図ります。
- ・ JR常磐線・広域路線バスと二次交通(タクシー・デマンド交通等)との機能分担を明確にし、域内公共交通の機能強化と通院・通学・買物の利便性向上を図ります。
- ・ 高齢者や移動困難者のための外出機会を促進するための支援策を行います。

【施策の達成状況】

計画期間中、主として以下の取組を実施した。

- 鉄道駅を結節点とし、ジャンボタクシー、定額タクシーの運行により高齢者・交通弱者等の外出を支援(南相馬市)
- 鉄道駅付近を経由するルート及び接続を考慮した町民バスの運行(広野町)
- 要支援・介護者、障がい者等の外出・移送支援の実施(広野町)
- 交通弱者を対象に町商業施設への送迎を目的としたお買い物バスを運行(檜葉町)
- 外出困難な方を対象に、おでかけタクシー助成事業を実施(檜葉町)
- 高齢者に適したマイクロモビリティの検証(試乗会)の実施(大熊町)
- 避難先でのコミュニティ支援バスの運行(双葉町)
- 鉄道駅を中心とした中心市街地の整備(浪江町)
- 村内デマンドバスによる公共広域バスへの乗り継ぎ強化(葛尾村)
- 予約により生活支援ワゴンがバス停まで送迎(飯館村)
- 駅前広場(交通ターミナル)の効率的な運用(いわき市)
- ダイヤ改正による域内公共交通と広域公共交通との乗り継ぎ強化(新常磐交通)



1人乗りの超小型4輪
【出典 大熊町】



飯館村 生活支援ワゴン
【出典 飯館村】

各市町村において域内公共交通を充実させるための取組が行われているが、これらの中には、無料運行であるにもかかわらず、利用が低調なものもある。

また、域内公共交通の多くが、鉄道や広域バス6路線との乗り継ぎを想定した運行ルート、運行ダイヤとなっていない状況にある。

さらには、域内公共交通の中には、当該市町村民に利用を限定するケースがあることや、サービスに関する情報が集約されておらず、サービスの存在自体を知ることが困難等の課題もある。

自家用車主体のライフスタイルが定着している中、引き続き、復興の進展を見据えた公共交通のニーズを調査・分析しながら、広域公共交通と域内公共交通の役割分担の合理化や必要に応じた統廃合に取り組む必要がある。

【評価指標】

○外出機会(公共交通利用機会)の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
アンケート調査により、震災前に比べ外出機会が増加したと回答した割合	26%	39% 基準値×1.5	—	—

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、アンケート調査実施を見送り。

目標3 福島イノベーション・コースト構想等拠点間の移動手段の確保

- ・ 研究拠点施設等の整備計画と連動し、周辺中核都市から拠点施設まで公共交通でアクセスできるよう、移動手段の確保を図ります。
- ・ 研究拠点施設や立地企業と協働し、拠点施設までの新たな交通手段の検討を行います。

【施策の達成状況】

旧網形成計画の広域路線バス(医大経由福島系統【事業1-6】)、東北アクセス株式会社が運行するバス路線(南相馬ロボットテストフィールド線)、JR常磐線により、周辺中核都市である福島市、いわき市から10市町村の拠点施設まで、公共交通でアクセスできるようになっている。

公共交通分担率は低調であり、依然として自動車が移動手段の中心的役割を担っている。

研究拠点施設への移動ニーズを調査しながら、引き続き、最適な公共交通の在り方を検討していく必要がある。

【評価指標】

○福島イノベーション・コースト構想関連施設まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値 令和4年度	評価
福島ロボットテストフィールド (南相馬市)	—	10市町村	10市町村	達成
福島水素エネルギー研究フィールド (浪江町)			広野町、檜葉町、 富岡町、大熊町、 双葉町、浪江町、 川内村、南相馬市、 飯舘村、川俣町	
東日本大震災・原子力災害伝承館 (双葉町)				
廃炉環境国際共同研究センター (富岡町)	3市町村 広野町、檜葉町、富岡町	10市町村	10市町村	達成
檜葉遠隔技術開発センター (檜葉町)			広野町、檜葉町、 富岡町、大熊町、 双葉町、浪江町、 川内村、南相馬市、 飯舘村、川俣町	

○12市町村の従業人口及び公共交通分担率の増加

	基準値 平成30年度 ※	目標値 令和4年度	現況値 令和2年度	評価
従業人口	3.0千人	4.9千人	1.3千人	—
公共交通分担率	3.6%	5.4%	1.9%	—

※ 基準値は平成22年度の実績値である。

目標値は平成12年度の実績値と同等の値(基準値×1.5倍)としている。

国勢調査に基づく値となるため、現況値の年度は令和2年度となる。

目標4 避難地域の公共交通の利用促進と公共交通マネジメントの推進

- ・ 公共交通の利用促進に向け、公共交通事業者や民間企業との連携を図りながら、避難地域の総合的な公共交通マネジメントの推進を図ります。
- ・ 避難地域に初めて訪れる方や、これから帰還される方の公共交通の利用促進を図るため、バス利用の効果的な周知の実施を行います。
- ・ 県の主導の下、市町村間の広域公共交通を計画するための調整機関として「方部会」を開催し、各自治体間で地域公共交通のノウハウや事案・情報の共有化を図るとともに、バス事業者の運転者の確保や、タクシー事業の再開・継続に向けた、避難地域の公共交通を支える人材の育成や確保のための支援を行います。

【施策の達成状況】

公共交通の利用促進に向け、福島県バス協会と連携した「福島バスまつり」の開催、バス・鉄道利用促進デー(毎月1日、11日、21日)などに取り組んだものの、令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出制限等の影響により、バス輸送人員は大幅に減少し、タクシー実働率も低下することとなった。

県では、令和2年度～4年度にわたり、県内バス事業者やタクシー事業者に対し国の臨時交付金を活用した緊急支援を行い、感染症対策及び公共交通の維持・確保を図った。

令和3年10月には、令和3年4月から運行を開始した広域路線バス(新常磐交通:富岡～浪江FH2R系統)を地域間幹線系統として旧網形成計画に位置付けるため、方部会を開催した。方部会の開催はこの1回のみであり、地域公共交通のノウハウや事業・情報の共有化を十分に図ることができたとは言い難い。

公共交通を支える人材は、運輸事業全体が慢性的な人手不足であり、定期路線の運行も危ぶまれる状況となっている。

【評価指標】

○バス輸送人員の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値※ 令和2年度	評価
バス輸送人員	2,115万人／年	2,115万人／年	1,342万人／年	未達成

○タクシー実働率の増加

	基準値 平成30年度	目標値 令和4年度	現況値※ 令和2年度	評価
タクシー実働率	60.8%	60.8%	52.6%	未達成

3-3 福島県避難地域広域公共交通網形成計画(旧網形成計画)の総括

計画に基づき避難地域12市町村を運行する7路線の広域路線バスが設定されたが、利用は低調である。

指標である「拠点内主要施設(高等学校・医療施設)まで、公共交通を利用してアクセス可能な市町村数」は目標を達成しているが、利用者数が少ないことから、住民や来訪者の移動ニーズに見合った運行形態となっていない可能性が高い。

このため、新たに策定する本計画では、上記の課題や旧網形成計画期間中のJR常磐線の全線運転再開等、広域公共交通を取り巻く状況の変化を踏まえながら、住民や来訪者の移動ニーズに見合った運行形態となるような広域路線バスの見直しや、域内公共交通との連携等による最適化を図るものとする。

広域公共交通は避難地域12市町村の復興を支える社会インフラであるとともに、超高齢化社会の本格到来、環境負荷の少ない移動手段としての重要性を踏まえ、利便性が高く、信頼できる移動手段として地域に定着するよう、関係機関等の連携による積極的な利活用に取り組む必要がある。

3-4 広域公共交通の課題

現状分析の結果、旧網形成計画の検証結果を踏まえ、避難地域12市町村における広域公共交通の課題を以下に整理する。

課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築

避難地域12市町村では、いまだ3万人に近い住民が避難生活を送っており、各市町村では、避難指示の解除時期等により帰還状況にばらつきが見られる。

避難地域12市町村では、学校、病院、商業施設などの生活関連施設は、全ての市町村には立地しておらず、原子力災害の影響により減少及び分散化している。これらの施設へアクセスするためには、広域的な移動が求められる場合もある。

希望する住民全員が帰還し、安全・安心に生活できるよう、生活関連施設への移動手段を確保するための広域公共交通ネットワークの構築に継続的に取り組む必要がある。



【出典】 福島県 ふくしま復興情報ポータルサイト

課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築

避難地域12市町村では、新たな産業団地や福島イノベーション・コースト構想等に基づく拠点施設が整備されており、今後も福島国際研究教育機構等の立地により、交流人口・関係人口の拡大が期待される場所である。

避難地域12市町村に新たに流入する人口に対しての効率的かつ利便性の高い移動手段が確保され、それによって産業基盤の復興・創生が促進されるよう、広域公共交通ネットワークの構築に継続的に取り組む必要がある。



【出典】福島県、廃炉環境国際共同研究センター

課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

旧網形成計画期間中は、新型コロナウイルス感染症が流行し、避難地域12市町村を運行する広域路線バスのみならず、全国的に公共交通の利用者数が減少し、その影響はいまだに続いている。

一方、旧網形成計画で策定・運行された広域バス路線は、通学・買物等、生活の足に欠かせない路線であり、関連自治体・交通関連事業者等が一体となり今後も維持・確保していくことが求められている。

このため、帰還住民や新たに流入する住民を含め、避難地域12市町村に住む全ての人々が、例えば、自動車運転免許証の返納等により自家用車の運転できなくなった場合でも遠方の病院に通院できるなど、長期にわたり安心して日常生活が送れるよう、最新技術の活用などによる公共交通の利便性の改善を図りながら、公共交通事業者の経営支援を含めた持続可能な広域公共交通ネットワークの構築に取り組む必要がある。



【出典】日産自動車株式会社、相馬市、新常磐交通株式会社

第4章 基本目標

4-1 避難地域12市町村における広域公共交通の意義・役割

広域公共交通は、県民の暮らしや生活圏域の経済活動を支えるとともに、本県の復興・創生を着実に進める上で、県域を越えた交流人口の拡大にも資する大切な社会基盤である。

避難地域12市町村における、広域公共交通は、上記に加え、以下の2点の意義・役割を有する。

● 住民帰還を促進するための社会基盤

東日本大震災・原発事故後、避難地域12市町村からピーク時で約10万人の住民が県内又は県外に避難し、その後、帰還は進んでいるものの、いまだ2.4万人近い住民が避難生活を送っている。

また、帰還困難区域の設定等により、復興公営住宅等の震災前とは別の場所での生活再建を余儀なくされた住民も多い。

こうした住民が安全・安心に生活できるよう移動手段を含めた日常生活の基盤を整備することは行政の責務である。

よって、避難地域12市町村では、原子力災害の全ての被災者が、居住地域にかかわらず、日常生活の移動手段が確保されている必要があり、特に代替となる移動手段がないエリアにおいては、利用人数の多寡にかかわらず、広域公共交通は維持・確保されなければならない。

● 福島イノベーション・コースト構想を支える社会基盤

福島イノベーション・コースト構想に基づき、避難地域12市町村のエリアでは、福島国際研究教育機構を始めとした拠点施設の整備が進められている。

鉄道駅やこれらの拠点施設を結ぶとともに、拠点施設間又は拠点施設と関連施設間を効率的かつ安全・安心に移動するための手段は、本構想の推進に伴い国内外からの研究者や拠点への来訪者など交流人口・関係人口の増加が想定される中、社会基盤の先行投資として整備される必要がある。

4-2 広域公共交通の将来像

本県では、福島県総合計画(令和4年度～12年度)において、県づくりの理念を以下のとおり掲げている。

● 多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会(県)づくり

本県は原子力災害による様々な分断、風評、差別・偏見と10年にわたって戦ってきました。また、新型コロナウイルスにより自由や人とのつながりが制限され、不安感や孤独感が増大するなどの困難に直面しています。

一方で、復興の軌跡の中で、本県に心を寄せてくださる皆様とのご縁と協働により、数多くの絆が生まれました。

これらの経験から、本県は一人一人が互いに認め合い、つながりを広げ、共生できる地域社会(県)づくりを目指します。

● 変化や危機にしなやかで強靱な地域社会(県)づくり

本県は、東日本大震災と原子力災害、さらに大規模災害、新型コロナウイルスなど、三重、四重の困難な課題に直面し続けています。そして、それらの困難な課題への挑戦を続けてきた経験・知見からは、災害への対応力のみならず、コミュニティの再生など、地域の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けている本県ならではの回復力(レジリエンス)が培われています。

この本県で培われた強みを最大限いかしながら、様々な変化に対応できる強靱さ、健全さを備えた、人と人との支え合う地域社会(県)づくりを目指します。

● 魅力を見いだし育み伸ばす地域社会(県)づくり

未曾有の複合災害の中であって、福島が誇れる、おいしい食、美しい自然、県民の温かい心など、普段の生活では気づきにくい魅力や強みを改めて認識しました。

また、震災後、福島イノベーション・コースト構想などにより構築されたロボットや再生可能エネルギーなどの研究拠点は、ふくしまの未来を創る産業振興、人材育成を推進する大きな資産です。

これらの財産を改めて見つめ直し、地域の魅力や価値に県民一人一人が関心を持ち次の世代へと育てつなげることができる地域社会(県)づくりを目指します。

「3-4広域公共交通の課題」や県の総合計画に掲げる将来像などを踏まえ、避難地域12市町村における広域公共交通の目指すべき将来像を以下のとおり設定する。

避難地域12市町村において、全ての住民が安心して暮らすとともに、交流人口等の新たな活力を呼び込むため、先進的で利便性が高く、充実した移動手段が確保されている。

生活拠点施設や福島イノベーション・コースト構想などにより構築された施設を相互につなぎ、交流の拡大やにぎわいを創出し、地域の魅力や価値を高めていく、持続可能な広域公共交通ネットワークが形成されている。

● 広域公共交通の将来像



4-3 基本目標(計画期間内に達成する事項)

3-4で示した避難地域12市町村における広域公共交通の課題を解決し、4-2で示した広域公共交通の将来像の実現に向けて、以下のとおり基本目標を定める。

(1)避難地域12市町村における広域路線バスの利便性向上

旧網形成計画期間中の広域バス6+1*路線の利用状況や、生活関連施設の立地状況、福島イノベーション・コースト構想などに基づく拠点施設の整備などを踏まえ、広域バス6+1路線の運行ダイヤや運行本数等の改善を図り、利便性を高める。

※ 旧網形成計画では、平成30年4月の計画期間の開始時点で6路線、平成4年4月から新たに1路線(富岡～浪江FH2R系統、新常磐交通)を対象路線としている。

本計画の期間中は、DXによる運行形態の見直し等、利用ニーズに基づいた運行ダイヤの運行本数の最適化に継続的に取り組む。

なお、今後の避難指示解除に伴い、新たに設置される復興拠点等を経由するルートの設定など、復興の進展に応じた移動ニーズを的確に捉え、路線の新設・見直し等を柔軟に行うものとする。

<3-4:広域公共交通の課題との関連>

課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築

課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築

(2)避難地域12市町村における広域路線バスの利用促進

地域公共交通は避難地域12市町村の復興・再生を支える重要な社会基盤であるから、地域公共交通に関わる様々な主体が一体となって、公共交通利用への関心を高め、公共交通利用のインセンティブを設定するなど、広域公共交通ネットワークを維持・確保していくための取組を推進する。

<3-4:広域公共交通の課題との関連>

課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

(3)避難地域12市町村における地域公共交通を維持・確保するための協議体制の充実・強化

人口減少・高齢化の更なる進行により、多様化する移動ニーズに適切に対応していくため、法定協議会(福島県避難地域広域公共交通検討協議会)を基盤とした協議体制の充実・強化を図り、地域の多様な輸送資源の活用や、MaaS、AIなどの技術も活用した移動手段の効率化、生産性の向上に取り組む。

<3-4:広域公共交通の課題との関連>

課題① 更なる帰還促進のための広域公共交通ネットワークの構築

課題② 交流人口・関係人口拡大のための広域公共交通ネットワークの構築

課題③ 持続可能な広域公共交通ネットワークの構築

【参考】関連する計画

(1)福島県総合計画(令和4年度～12年度)

<政策分野別の主要施策 — 暮らし>

● 施策1:複合災害からの復興の加速化、避難地域の復興・再生

避難地域・生活再建のための避難解除等区域における生活環境等の整備や移住・定住の促進、交流人口・関係人口の拡大等によって、避難地域を始めとする本県の復興・再生を進めていきます。

(主な取組)

- ・ 避難解除等区域における生活環境等の整備に関する取組

避難解除等区域の道路等のインフラ施設、交通、医療、介護・福祉、買い物、防犯等の生活環境等の整備によって、避難解除等区域の復興・再生と住民帰還の促進を図ります。

- ・ 避難解除等区域への新たな活力の呼び込みに関する取組

避難解除等区域における移住・定住の促進や交流人口・関係人口の拡大など、新たな活力を呼び込むための取組を進めます。

<地域別の主要施策 — 相双地域>

(相双地域の目指す方向性)

帰還環境の整備に加え、交流・関係人口の拡大、持続可能な産業の創出・振興、次代を見据えた新たな社会基盤の構築等を進め、東日本大震災と原子力災害を乗り越え、活気と魅力に満ちた地域へと再生していきます。

(主要施策)

● 施策1:帰還促進と移住・定住の促進に向けた取組

- ・ 帰還した住民、移住者、復興関連従事者等に必要な医療及び福祉サービスを確保できるよう、診療所や福祉施設の再開又は整備を支援します。

- ・ 帰還した住民や移住者の生活に必要な買い物環境の整備や鳥獣被害対策に取り組みます。

- ・ 地域住民の生活の足の確保や交流人口・関係人口の拡大を図るため、関係機関と連携してJR常磐線など公共交通の利活用促進に取り組みます。

- ・ 東日本大震災・原子力災害伝承館を始めとした新たな復興・交流拠点の利活用を進め、復興ツーリズム、ホープツーリズムの体制づくりを推進します。

- ・ 福島イノベーション・コースト構想の進展により来訪者の増加が見込まれることから、国際教育研究拠点の整備を視野に入れた研究者やその家族を受け入れるための豊かな

住環境・生活環境、さらには、外国人受入体制の構築を進めます。

- ・ スポーツ等を通じた交流の活性化を図るため、再始動したJヴィレッジを本県復興のシンボルとして有効活用し、交流人口の拡大に取り組みます。
- ・ 震災の教訓を国内外に発信するため、東日本大震災・原子力災害伝承館を始めとする管内の復興・交流拠点施設の利活用促進に取り組みます。

● 施策4:次代の潮流を踏まえた生活基盤の構築

- ・ 医療機関相互の役割分担や連携強化、医療と介護の連携を推進するなどにより医療提供体制の構築を図るとともに、医師や看護師等の医療従事者の人材確保対策及び定着支援に取り組みます。
- ・ 高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、市町村間の連携や、保健、医療、福祉の各分野におけるネットワークの構築を図ります。
- ・ 「福島12市町村の将来像」(避難地域12市町村)や、福島イノベーション・コースト構想に基づく誰もが生活しやすい基盤づくりを進めます。

(2)福島12市町村の将来像に関する有識者検討会提言概要(令和3年3月)

<目指すべき30~40年後の地域の姿>

- ・ 避難指示の解除時期の違いに関わらず、いずれの市町村においても、防犯・防災はもとより、医療・介護・福祉、教育、買い物等における利便性が高く充実した生活環境が整備され、誰もが安心して暮らせるまちになっている。例えば、地域間連携の下、医療・福祉データの蓄積・共有・分析機能を備えた、高齢社会における先進的かつ安全・安心な生活環境が構築されている。また、福島県内各地域との連携はもとより、東京都市圏や仙台都市圏を含めた広域的な連携・協力を推進するための高規格幹線道路・地域高規格道路といった幹線道路ネットワークや地域間モビリティがより充実している。
- ・ 広域的な視点による多様性を生かした魅力ある観光地域づくりやホープツーリズム等の実施により、福島12市町村の魅力は大きく高まり、「誰もが住みたくなる、憧れるまち」となっており、帰還した住民や新たな移住・定住者、インバウンドを含めた観光や教育旅行など地域を訪れる交流人口等が増加している。

第5章 目標達成に向けた施策

活性化再生法第5条第4項の趣旨を踏まえ、事業別に以下のとおり目標を定める。

● 目標1「1日当たりの利用者数」

広域路線バスの1日当たりの利用者数を目標値とする。

<目標値設定の考え方>

被災地特例制度以外の国の支援制度である地域間幹線系統補助(通常補助)では、「1日当たりの輸送量」が15人以上150人未満であることが補助要件となっている。

本計画では、分かりやすい数値である「1日当たりの利用者数」を目標値とする。

輸送量と利用者数の違いは以下のとおり。

一般的に輸送量は利用者数を下回る。

・輸送量:バス路線の乗車密度(人)×運行回数(回) 乗車密度とは、バスに乗っている乗客数の全線(始発から終点まで)の平均。
・利用者数:バス路線の乗客数(延べ人数)

目標値について、具体的には、新型コロナウイルス感染症の流行前である令和元年事業年度(平成30年10月1日～令和元年9月30日)の実績値を基準値とする。

令和元年事業年度に運行していないバス路線については、直近の令和4年事業年度の実績値を基準値とする。

令和元～4年事業年度にかけて、利用者数が倍増している路線もあることを参考に、令和7年事業年度の目標値を基準値の2倍程度とする。

令和9年事業年度以降の目標値については、復興途上の状況にあり、実績値が依然として低調な路線が多いことから、令和8年事業年度の目標値を据え置いて設定する。

なお、1便当たり1～2名以上乗車することは不可欠であるとの考えに基づき、目標値の上方修正を行う場合もある。

また、被災地特例制度は、現時点で令和9年事業年度(令和8年10月1日～令和9年9月30日)以降の措置が不透明であることから、被災地特例制度の状況に変化があった場合は、広域路線バスの運行について改めて関係者で協議する。

● 目標2「事業収支」

事業収支は広域バス路線の経常費用に対する経常収益の割合(経常収益/経常費用)のことであり、事業収支の上昇を目指す。(100%を下回る路線は赤字路線)

施策1 広域路線バスの運行

事業1-1 川内～富岡系統

● 関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、川内村

● 事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	ハイエース通勤用車(定員12名)
起点	川内車庫前
主な経由点	川内村役場、複合施設ゆふね、夜ノ森駅西口、とみおかアーカイブ・ミュージアム、富岡町役場、さくらモール・診療所前
終点	富岡駅前
停留所数	35箇所
運行距離	33.5km
所要時間	川内車庫前～富岡駅前 63分
運行回数	平日3往復
運賃	<対キロ区間制運賃> 川内車庫前～富岡駅前 ----- 1,050円 川内車庫前～さくらモール～診療所前---- 1,050円 ゆふね～富岡駅前 ----- 920円

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覧)

🚉 駅
🏠 公営住宅
🏢 商業施設
🏥 病院・診療所
🏛️ 公共等施設
🏭 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 富岡駅前	富岡町	🚉 JR富岡駅
02 曲田住宅		🏠 曲田住宅
03 さくらモール・診療所前		🏢 さくらモールとみおか 🏥 富岡町立とみおか診療所
04 警察署前		🏛️ 双葉警察署
05 今村病院		🏥 東京電力廃炉資料館
06 富岡町役場		🏛️ 富岡町役場 🏥 ふたば医療センター附属病院
07 富岡町文化交流センター		🏛️ 富岡町文化交流センター(学びの森) 🏛️ 富岡町総合スポーツセンター
08 とみおかアーカイブ		🏛️ とみおかアーカイブ・ミュージアム
09 二小前		
10 二中前		
11 夜ノ森駅西口		🚉 JR夜ノ森駅
12 夜の森入口		
13 下町		
14 寺角		
15 上千里		
16 仲町		
17 上手岡		

バス停名称	市町村	主な周辺施設
18 境川	川内村	
19 五枚沢		
20 毛戸入口		
21 新鍋倉		
22 熊越		
23 ゆふね		複合施設ゆふね 川内村国民健康保険診療所 田ノ入工業団地
24 坂シ内		
25 下川内		
26 第七区集会所		
27 第六区集会所		
28 すわの杜公園		
29 宮の坂		商業施設 YO-TASHI
30 宮ノ下		
31 川内中前		川内村室内型村民プール
32 役場・かわうちの湯前		川内村役場 かわうちの湯
33 川内農協		
34 町分		
35 川内車庫前		



JR 富岡駅
【出典】ユキサキ NAVI



商業施設 YO-TASHI
【出典】川内村



かわうちの湯
【出典】川内村



さくらモールとみおか

● 現状・課題

東日本大震災・原発事故以降、長らく運休していた川内村と富岡町を結ぶバス路線について、平成30年4月から運行を再開。JR東日本鉄道路線(常磐線)から川内村を結ぶ唯一の二次交通であるとともに、川内村の住民が富岡町内の医療機関や商業施設、さらには相双地域の高等学校にアクセスするための重要な公共交通となっている。

川内村～富岡町間の広域的な利用が見られるが、1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度2.3人、令和2年事業年度2.1人、令和3年事業年度1.4人、令和4年事業年度1.8人、令和5年事業年度2.5人、令和6年事業年度2.3人、令和7年事業年度2.1人と低調で推移している。

その要因として、震災以降、川内村から富岡町方面への人流が、いわき市や田村市方面に転換したこと、午前中の通学時間帯以外の便がないこと、川内村社会福祉協議会による高齢者を対象とした村外の医療機関や商業施設への無料送迎サービス(65歳以上の高齢者に限定)との競合などが挙げられる。

利用促進を図るため、令和7年10月1日から川内村内の第六行政区及び第七行政区を通るルートへと変更、併せて狹隘道路を走行することから車両を変更(ハイエースコミューター(定員12名))した。

今後は、ルート変更の効果が表れるよう認知度を上げていくとともに、ふたば未来学園への通学需要に対する働きかけなど、利用者のニーズに見合った運行となるよう、ダイヤの改善を図っていく必要がある。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【継続】	川内村内の移動需要に対応すべく、新たに川内村複合商業施設Y O-TASHI前にバス停を設置する。
③ 運行ダイヤの見直し【継続】	午前中の通学以外の需要に対応すべく、新たに川内車庫前7～8時台始発のバスを増便する。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	2.3人	—	3.9%	—
令和4年事業年度 <現況値>	1.8人	1.8人	5.7%	5.7%
令和5年事業年度	5.0人以上	2.5人	上昇を目指す	7.4%
令和6年事業年度	7.5人以上	2.3人	上昇を目指す	5.1%
令和7年事業年度	10.0人以上	2.1人	上昇を目指す	10.7%
令和8年事業年度	10.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	10.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】富岡⇒ゆふね⇒川内

停留所名	1	2	3
富岡駅前	5:15	13:30	17:10
曲田住宅	5:16	13:31	17:11
さくらモール診療所前	5:16	13:31	17:11
警察署前	5:17	13:32	17:12
今村病院	5:18	13:33	17:13
とみおかアーカイブミュージアム	5:19	13:34	17:14
富岡町文化交流センター	5:19	13:34	17:14
富岡町役場	5:20	13:35	17:15
二小前	5:23	13:38	17:18
二中前	5:24	13:39	17:19
夜ノ森駅西口	5:27	13:42	17:22
夜の森入口	5:29	13:44	17:24
下町	5:30	13:45	17:25
寺角	5:31	13:46	17:26
上千里	5:31	13:46	17:26
仲町	5:32	13:47	17:27
上手岡	5:34	13:49	17:29
境川	5:42	13:57	17:37
五枚沢	5:44	13:59	17:39
毛戸入口	5:46	14:01	17:41
新鍋倉	5:48	14:03	17:43
熊越	5:52	14:07	17:47
ゆふね	5:55	14:10	17:50
坂シ内	5:55	14:10	17:50
下川内	5:56	14:11	17:51
第七区集会所	5:59	14:14	17:54
第六区集会所	6:01	14:16	17:56
すわの杜公園	6:04	14:19	17:59
宮の坂	6:05	14:20	18:00
宮ノ下	6:06	14:21	18:01
川内中前	6:07	14:22	18:02
役場・かわうちの湯前	6:08	14:23	18:03
川内農協	6:10	14:25	18:05
町分	6:10	14:25	18:05
車庫前	6:18	14:33	18:13

【平日】川内⇒ゆふね⇒富岡

停留所名	1	2	3
車庫前	6:20	14:50	18:15
町分	6:20	14:50	18:15
川内農協	6:20	14:50	18:15
役場・かわうちの湯前	6:22	14:52	18:17
川内中前	6:23	14:53	18:18
宮ノ下	6:24	14:54	18:19
宮の坂	6:25	14:55	18:20
すわの杜公園	6:26	14:56	18:21
第六区集会所	6:29	14:59	18:24
第七区集会所	6:31	15:01	18:26
下川内	6:34	15:04	18:29
坂シ内	6:35	15:05	18:30
ゆふね	6:36	15:06	18:31
熊越	6:37	15:07	18:32
新鍋倉	6:40	15:10	18:35
毛戸入口	6:42	15:12	18:37
五枚沢	6:44	15:14	18:39
境川	6:46	15:16	18:41
上手岡	6:56	15:26	18:51
仲町	6:56	16:26	18:51
上千里	6:57	15:27	18:52
寺角	6:57	15:27	18:52
下町	6:58	15:28	18:53
夜の森入口	6:59	15:29	18:54
夜ノ森駅西口	7:01	15:31	18:56
二中前	7:04	15:34	18:59
二小前	7:05	15:35	19:00
富岡町役場	7:09	15:39	19:04
富岡町文化交流センター	7:09	15:39	19:04
とみおかアーカイブミュージアム	7:10	15:40	19:05
今村病院	7:11	15:41	19:06
警察署前	7:12	15:42	19:07
さくらモール診療所前	7:13	15:43	19:08
曲田住宅	7:13	15:43	19:08
富岡駅前	7:23	15:53	19:18

事業1-2 いわき～富岡系統

● 関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、楡葉町、広野町、いわき市

● 事業内容







項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	いわき駅前
主な経由点	波立薬師、久之浜駐在所、広野町役場、道の駅ならば、楡葉町役場、さくらモール・診療所前
終点	富岡駅前
停留所数	15箇所
運行距離	41.5km
所要時間	いわき駅前～富岡駅前 75分
運行回数	平日4往復
運賃	いわき駅前～富岡駅前 1,450円

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覧)

 駅
  公営住宅
  商業施設
  病院・診療所
  学校
  公共等施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 いわき駅前	いわき市	 JRいわき駅、  ランプ
02 平南町		
03 大町		
04 新川町		
05 正内町		
06 五色町		
07 平大橋		
08 農協前		
09 中島		
10 風内		
11 塩		
12 日東電工		
13 瀬戸入口		
14 平六小入口		
15 神谷住宅口		
16 六十枚入口		
17 八丁樋入口		
18 赤沼入口		
19 新舞子入口		
20 国道草野		
21 原高野		
22 民の町		
23 細谷入口		
24 小橋		
25 下仁井田		
26 仁井田浦口		
27 上仁井田		
28 東一丁目		
29 東二丁目		
30 東四丁目		
31 築港前		
32 波立薬師		
33 久之浜駐在所		
34 広野町役場入口	広野町	 広野町役場  福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校  大平未来団地  ひろのてらす

バス停名称	市町村	主な周辺施設
35 道の駅ならば	檜葉町	道の駅ならば
36 檜葉町役場		檜葉町役場 ここなら笑店街 ふたば復興診療所
37 月の下	富岡町	さくらモールとみおか 富岡町立とみおか診療所 廃炉資料館 曲田住宅 JR富岡駅 栄町団地
38 さくらモール・診療所前		
39 曲田住宅		
40 富岡駅前		



JR いわき駅
【出典】 株式会社交建設計



広野町役場
【出典】 福島県



ふたば未来学園中学校・高等学校
(広野町)
【出典】 ふたば未来学園中学校・高等学校



道の駅ならば
【出典】 道の駅ならば



ここなら笑店街
(檜葉町)
【出典】 福島県



JR 富岡駅
(富岡町)
【出典】 ユキサキ NAVI

● 現状・課題

主として、いわき市内から広野町方面への移動手段として利用され、ふたば未来学園への通学利用や、「道の駅ならば」温泉施設への移動手段としても利用されている。いわき市久之浜地区では唯一のバス路線となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度10.1人、令和2年事業年度9.5人、令和3年事業年度10.7人、令和4年事業年度11.9人、令和5年事業年度14.7人と低調であったが、いわき市内のバス停を増設したことにより、令和6年事業年度34.4人、令和7年事業年度61.7人と増加している。

利用者は増えたが、その大部分がいわき市内の移動となっている。

課題として、運行時帯の設定がふたば未来学園の通学時間(部活動終了時間)に合っていないことや、JR東日本鉄道路線(常磐線)との接続が不便であることなどが挙げられる。

利用者のニーズに見合った運行となるよう、広野町から富岡町間のバス停の増設、ルート変更やダイヤの改善を図っていく必要がある。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【継続】	ここなら笑店街(檜葉町)や富岡産業団地(富岡町)にバス停を新設するとともに、広野町役場前のバス停の場所を分かりやすい位置に移動することで利便性の向上を図る。
③ 運行ダイヤの見直し【継続】	ふたば未来学園への通学利便性の強化を図るため、部活動からの帰宅時間に合わせ、広野町役場入口18:14発よりも遅い時間帯での運行を設定する。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	10.1人	—	3.9%	—
令和4年事業年度 <現況値>	11.9人	11.9人	5.7%	5.7%
令和5年事業年度	15.0人以上	14.7人	上昇を目指す	7.0%
令和6年事業年度	20.0人以上	34.4人	上昇を目指す	8.1%
令和7年事業年度	30.0人以上	61.7人	上昇を目指す	18.3%
令和8年事業年度	30.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	30.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】(急行)いわき⇒富岡駅

停留所名	1	2	3	4
いわき駅前	6:50	8:45	11:30	16:35
平南町	6:51	8:46	11:31	16:36
大町	6:52	8:47	11:32	16:37
新川町	6:52	8:47	11:32	16:38
正内町	6:53	8:48	11:33	16:39
五色町	6:54	8:49	11:34	16:40
平大橋	6:55	8:50	11:35	16:41
農協前	6:56	8:51	11:36	16:42
中島	6:57	8:52	11:37	16:43
風内	6:58	8:53	11:38	16:44
塩	6:58	8:53	11:38	16:45
日東電工	6:59	8:54	11:39	16:46
瀬戸入口	6:59	8:54	11:39	16:46
平六小入口	7:00	8:55	11:40	16:47
神谷住宅口	7:01	8:56	11:41	16:48
六十枚入口	7:02	8:57	11:42	16:49
八丁樋入口	7:03	8:58	11:43	16:50
赤沼入口	7:03	8:58	11:43	16:50
新舞子入口	7:04	8:59	11:44	16:51
国道草野	7:05	9:00	11:45	16:52
原高野	7:06	9:01	11:46	16:53
民の町	7:07	9:02	11:47	16:54
細谷入口	7:08	9:03	11:48	16:55
小橋	7:09	9:04	11:49	16:56
下仁井田	7:09	9:04	11:49	16:56
仁井田浦口	7:10	9:05	11:50	16:57
上仁井田	7:11	9:06	11:51	16:58
東一丁目	7:12	9:07	11:52	16:59
東二丁目	7:13	9:08	11:53	17:00
東四丁目	7:14	9:09	11:54	17:01
築港前	7:14	9:09	11:54	17:01
波立薬師	7:17	9:12	11:57	17:04
久之浜駐在所	7:21	9:16	12:01	17:08
広野町役場入口	7:43	9:28	12:13	17:20
道の駅ならば	7:50	9:35	12:20	17:27
檜葉町役場	7:56	9:41	12:26	17:33
月の下	8:05	9:50	12:35	17:42
さくらモール・診療所前	8:06	9:51	12:36	17:43
曲田住宅	8:06	9:51	12:36	17:43
富岡駅前	8:20	10:00	12:45	17:50

【平日】(急行)富岡駅⇒いわき

停留所名	1	2	3	4
富岡駅前	8:00	12:45	16:15	17:50
曲田住宅	8:01	12:46	16:16	17:51
さくらモール・診療所前	8:01	12:46	16:16	17:51
月の下	8:02	12:47	16:17	17:52
檜葉町役場	8:11	12:56	16:26	18:01
道の駅ならば	8:17	13:02	16:32	18:07
広野町役場入口	8:24	13:09	16:39	18:14
久之浜駐在所	8:36	13:21	16:51	18:26
波立薬師	8:40	13:25	16:55	18:30
築港前	8:43	13:28	17:05	18:40
東四丁目	8:43	13:28	17:05	18:40
東二丁目	8:44	13:29	17:07	18:42
東一丁目	8:45	13:30	17:08	18:43
上仁井田	8:45	13:30	17:08	18:43
仁井田浦口	8:46	13:31	17:09	18:44
下仁井田	8:47	13:32	17:10	18:45
小橋	8:48	13:33	17:11	18:46
細谷入口	8:49	13:34	17:12	18:47
民の町	8:50	13:35	17:13	18:48
原高野	8:51	13:36	17:14	18:49
国道草野	8:52	13:37	17:15	18:50
新舞子入口	8:52	13:37	17:15	18:50
赤沼入口	8:53	13:38	17:16	18:51
八丁樋入口	8:54	13:39	17:17	18:52
六十枚入口	8:55	13:40	17:18	18:53
神谷住宅口	8:56	13:41	17:19	18:54
平六小入口	8:57	13:42	17:20	18:55
瀬戸入口	8:57	13:42	17:20	18:55
日東電工	8:58	13:43	17:21	18:56
塩	8:59	13:44	17:22	18:57
風内	9:00	13:44	17:23	18:57
中島	9:01	13:45	17:24	18:58
農協前	9:02	13:46	17:25	18:59
平大橋	9:04	13:48	17:27	19:01
五色町	9:05	13:49	17:28	19:02
正内町	9:07	13:50	17:30	19:03
新川町	9:08	13:50	17:31	19:03
大町	9:09	13:51	17:32	19:04
平南町	9:11	13:52	17:34	19:05
いわき駅前	9:20	14:00	17:45	19:10

【土曜・日祝】(急行)いわき⇒富岡駅

停留所名	1	2	3
いわき駅前	6:50	8:45	11:30
平南町	6:51	8:46	11:31
大町	6:52	8:47	11:32
新川町	6:52	8:47	11:32
正内町	6:53	8:48	11:33
五色町	6:54	8:49	11:34
平大橋	6:55	8:50	11:35
農協前	6:56	8:51	11:36
中島	6:57	8:52	11:37
風内	6:58	8:53	11:38
塩	6:58	8:53	11:38
日東電工	6:59	8:54	11:39
瀬戸入口	6:59	8:54	11:39
平六小入口	7:00	8:55	11:40
神谷住宅口	7:00	8:55	11:40
六十枚入口	7:01	8:56	11:41
八丁樋入口	7:02	8:57	11:42
赤沼入口	7:02	8:57	11:42
新舞子入口	7:03	8:58	11:43
国道草野	7:04	8:59	11:44
原高野	7:05	9:00	11:45
民の町	7:06	9:01	11:46
細谷入口	7:07	9:02	11:47
小橋	7:08	9:03	11:48
下仁井田	7:08	9:03	11:48
仁井田浦口	7:09	9:04	11:49
上仁井田	7:10	9:05	11:50
東一丁目	7:11	9:06	11:51
東二丁目	7:12	9:07	11:52
東四丁目	7:13	9:08	11:53
築港前	7:13	9:08	11:53
波立薬師	7:16	9:11	11:56
久之浜駐在所	7:20	9:15	12:00
広野町役場入口	7:32	9:27	12:12
道の駅ならば	7:39	9:34	12:19
檜葉町役場	7:45	9:40	12:25
月の下	7:54	9:49	12:34
さくらモール・診療所前	7:55	9:50	12:35
曲田住宅	7:55	9:50	12:35
富岡駅前	8:02	9:57	12:42

【土曜・日祝】(急行)富岡駅⇒いわき

停留所名	1	2	3
富岡駅前	12:45	16:15	17:50
曲田住宅	12:46	16:16	17:51
さくらモール・診療所前	12:46	16:16	17:51
月の下	12:47	16:17	17:52
檜葉町役場	12:56	16:26	18:01
道の駅ならば	13:02	16:32	18:07
広野町役場入口	13:09	16:39	18:14
久之浜駐在所	13:21	16:51	18:26
波立薬師	13:25	16:55	18:30
築港前	13:28	16:58	18:33
東四丁目	13:28	16:58	18:33
東二丁目	13:29	16:59	18:34
東一丁目	13:30	17:00	18:35
上仁井田	13:30	17:00	18:35
仁井田浦口	13:31	17:01	18:36
下仁井田	13:32	17:02	18:37
小橋	13:33	17:03	18:38
細谷入口	13:34	17:04	18:39
民の町	13:35	17:05	18:40
原高野	13:36	17:06	18:41
国道草野	13:37	17:07	18:42
新舞子入口	13:37	17:07	18:42
赤沼入口	13:38	17:08	18:43
八丁樋入口	13:39	17:09	18:44
六十枚入口	13:40	17:10	18:45
神谷住宅口	13:41	17:11	18:46
平六小入口	13:42	17:12	18:47
瀬戸入口	13:42	17:12	18:47
日東電工	13:43	17:13	18:48
塩	13:44	17:14	18:49
風内	13:44	17:14	18:49
中島	13:45	17:15	18:50
農協前	13:46	17:16	18:51
平大橋	13:48	17:18	18:53
五色町	13:49	17:19	18:54
正内町	13:50	17:20	18:55
新川町	13:50	17:20	18:55
大町	13:51	17:21	18:56
平南町	13:52	17:22	18:57
いわき駅前	13:57	17:27	19:02

事業1-3 葛尾～船引系統

● 関連主体

福島交通株式会社、国、県、葛尾村、田村市









● 事業内容









項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	船引駅前
主な経由点	船引高校、瀬川住民センター、緑小学校、移農協
終点	落合
停留所数	57箇所
運行距離	27.5km
所要時間	船引駅前～落合 51分
運行回数	平日5往復
運賃	<対キロ区間制運賃> 落合～船引駅前 900円

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覧)

 駅
  公営住宅
  商業施設
  病院・診療所
  公共等施設
  学校
  産業団地
 観光施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 船引駅前	田村市	 JR船引駅
02 栄町		 田村市役所
03 中町		 たむら市民病院
04 安久津通り		
05 安久津橋		
06 馬場団地入口		
07 北区入口		
08 時の宮		
09 石崎団地		 石崎北団地、  石崎南団地
10 船引高校		 船引高等学校  ヨークベニマルメガステージ田村店
11 鏡ヶ池		
12 原		
13 大山原		
14 沼の下		
15 門鹿		
16 美山入口		
17 沢石入口		
18 大倉		
19 瀬川局前		
20 瀬川		
21 新館		
22 瀬川住民センター		
23 石橋		
24 山口		
25 石沢		
26 ひじ曲		
27 大石		
28 水中内		
29 岩登		
30 南移入口		
31 西作入口		
32 水の木入口		
33 東作入口		
34 緑小学校		
35 平入口		
36 移農協前		
37 上移		
38 移車庫		 田村市役所移出張所

バス停名称	市町村	主な周辺施設
39 曲山	田村市	
40 下道		
41 大谷田		
42 境ノ岫	葛尾村	
43 上野川		
44 赤根久保		
45 東		
46 湯殿		
47 清ノ内		
48 浜井場		
49 仲ノ内		
50 関場		
51 野川		
52 上重郎内		
53 重郎内		
54 湯ノ平		■ 葛尾村産業団地
55 関下		
56 西ノ内		
57 落合	㊦ 葛尾村役場 ㊦ 葛尾村復興交流館あぜりあ	



JR 船引駅【出典】田村市



船引高等学校【出典】船引高等学校



葛尾村役場【出典】福島県



葛尾村復興交流館あぜりあ【出典】葛尾村

● 現状・課題

JR東日本鉄道路線(磐越東線)から葛尾村を結ぶ唯一の二次交通であるとともに、葛尾方面から船引高等学校(田村市)への通学や、田村市中心部の商業施設、さらには郡山方面の医療機関等にアクセスするための重要な公共交通となっている。

また、葛尾村は震災以降、高齢者のみの世帯が増加しており、免許返納等により運転免許証を持たない方からのニーズは震災前よりも多くなっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度18.0人、令和2年事業年度16.8人、令和3年事業年度18.5人、令和4年事業年度16.9人、令和5年事業年度15.6人、令和6年事業年度13.4人、令和7年事業年度11.7人で推移しており、減少傾向にあるものの、葛尾から船引間において、一定数の広域的な利用が見られる。

葛尾村から田村高等学校(三春町)への通学移動や、郡山市方面の企業への通勤移動は、現時点では車での移動が中心となっているが、本路線とJR磐越東線との接続を改善することでバス利用への誘導が見込まれる。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進 【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【継続】	利用実態を踏まえながら、競合路線である「移線」、「百目木線」との再編・統合を検討していく。 葛尾村内での利便性を改善するため、バス路線の交通空白地帯への延伸について、利用実態を確認の上検討する。
③ 運行ダイヤの見直し【継続】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	18.0人	—	10.4%	—
令和4年事業年度 <現況値>	16.9人	16.9人	12.2%	12.2%
令和5年事業年度	20.0人以上	15.6人	上昇を目指す	10.2%
令和6年事業年度	30.0人以上	13.4人	上昇を目指す	8.5%
令和7年事業年度	40.0人以上	11.7人	上昇を目指す	5.5%
令和8年事業年度	40.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	40.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】船引⇒葛尾

停留所名	1	2	3	4	5
船引駅前	7:30	10:30	12:20	15:50	18:17
栄町[田村市]	7:31	10:31	12:21	15:51	18:18
中町[田村市]	7:32	10:32	12:22	15:52	18:19
安久津通り	7:33	10:33	12:23	15:53	18:20
安久津橋	7:33	10:33	12:23	15:53	18:20
馬場団地入口	7:34	10:34	12:24	15:54	18:21
北区入口	7:35	10:35	12:25	15:55	18:22
時の宮	7:36	10:36	12:26	15:56	18:23
石崎団地	7:37	10:37	12:27	15:57	18:24
船引高校	7:38	10:38	12:28	15:58	18:25
鐘ヶ池	7:39	10:39	12:29	15:59	18:26
原[田村市]	7:40	10:40	12:30	16:00	18:27
大山原	7:41	10:41	12:31	16:01	18:28
沼の下[田村市]	7:42	10:42	12:32	16:02	18:29
門鹿	7:44	10:44	12:34	16:04	18:31
美山入口	7:45	10:45	12:35	16:05	18:32
沢石入口	7:46	10:46	12:36	16:06	18:33
大倉	7:48	10:48	12:38	16:08	18:35
瀬川局前	7:48	10:48	12:38	16:08	18:35
瀬川	7:49	10:49	12:39	16:09	18:36
新館	7:50	10:50	12:40	16:10	18:37
瀬川住民センター	7:51	10:51	12:41	16:11	18:38
石橋[田村市]	7:52	10:52	12:42	16:12	18:39
山口[田村市]	7:53	10:53	12:43	16:13	18:40
石沢	7:54	10:54	12:44	16:14	18:41
ひじ曲	7:56	10:56	12:46	16:16	18:43
大石	7:57	10:57	12:47	16:17	18:44
水中内	7:58	10:58	12:48	16:18	18:45
岩登	7:59	10:59	12:49	16:19	18:46
南移入口	8:00	11:00	12:50	16:20	18:47
西作入口	8:01	11:01	12:51	16:21	18:48
水の木入口	8:01	11:01	12:51	16:21	18:48
東作入口	8:02	11:02	12:52	16:22	18:49
緑小学校	8:02	11:02	12:52	16:22	18:49
平入口	8:03	11:03	12:53	16:23	18:50
移農協前	8:03	11:03	12:53	16:23	18:50
上移	8:04	11:04	12:54	16:24	18:51
移車庫	8:04	11:04	12:54	16:24	18:51
曲山[田村市]	8:05	11:05	12:55	16:25	18:52
下道	8:06	11:06	12:56	16:26	18:53
大谷田	8:07	11:07	12:57	16:27	18:54
境ノ岫	8:08	11:08	12:58	16:28	18:55
上野川	8:09	11:09	12:59	16:29	18:56
赤根久保	8:09	11:09	12:59	16:29	18:56
東	8:10	11:10	13:00	16:30	18:57
湯殿	8:10	11:10	13:00	16:30	18:57
清ノ内	8:11	11:11	13:01	16:31	18:58
浜井場[葛尾村]	8:11	11:11	13:01	16:31	18:58
仲ノ内[葛尾村]	8:12	11:12	13:02	16:32	18:59
関場[葛尾村]	8:12	11:12	13:02	16:32	18:59
野川	8:13	11:13	13:03	16:33	19:00
上重郎内	8:14	11:14	13:04	16:34	19:01
重郎内[葛尾村]	8:15	11:15	13:05	16:35	19:02
湯ノ平	8:16	11:16	13:06	16:36	19:03
関下[葛尾村]	8:17	11:17	13:07	16:37	19:04
西ノ内[葛尾村]	8:18	11:18	13:08	16:38	19:05
落合[葛尾村]	8:21	11:21	13:11	16:41	19:08

【平日】葛尾⇒船引

停留所名	1	2	3	4	5
落合[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
西ノ内[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
関下[葛尾村]	7:30	8:45	12:00	14:30	17:20
湯ノ平	7:31	8:46	12:01	14:31	17:21
重郎内[葛尾村]	7:32	8:47	12:02	14:32	17:22
上重郎内	7:33	8:48	12:03	14:33	17:23
野川	7:33	8:48	12:03	14:33	17:23
関場[葛尾村]	7:34	8:49	12:04	14:34	17:24
仲ノ内[葛尾村]	7:34	8:49	12:04	14:34	17:24
浜井場[葛尾村]	7:35	8:50	12:05	14:35	17:25
清ノ内	7:36	8:51	12:06	14:36	17:26
湯殿	7:37	8:52	12:07	14:37	17:27
東	7:38	8:53	12:08	14:38	17:28
赤根久保	7:39	8:54	12:09	14:39	17:29
上野川	7:39	8:54	12:09	14:39	17:29
境ノ岫	7:40	8:55	12:10	14:40	17:30
大谷田	7:42	8:57	12:12	14:42	17:32
下道	7:43	8:58	12:13	14:43	17:33
曲山[田村市]	7:44	8:59	12:14	14:44	17:34
移車庫	7:45	9:00	12:15	14:45	17:35
上移	7:45	9:00	12:15	14:45	17:35
移農協前	7:46	9:01	12:16	14:46	17:36
平入口	7:46	9:01	12:16	14:46	17:36
緑小学校	7:47	9:02	12:17	14:47	17:37
東作入口	7:47	9:02	12:17	14:47	17:37
水の木入口	7:48	9:03	12:18	14:48	17:38
西作入口	7:48	9:03	12:18	14:48	17:38
南移入口	7:49	9:04	12:19	14:49	17:39
岩登	7:50	9:05	12:20	14:50	17:40
水中内	7:51	9:06	12:21	14:51	17:41
大石	7:52	9:07	12:22	14:52	17:42
ひじ曲	7:53	9:08	12:23	14:53	17:43
石沢	7:55	9:10	12:25	14:55	17:45
山口[田村市]	7:56	9:11	12:26	14:56	17:46
石橋[田村市]	7:57	9:12	12:27	14:57	17:47
瀬川住民センター	7:58	9:13	12:28	14:58	17:48
新館	7:59	9:14	12:29	14:59	17:49
瀬川	8:00	9:15	12:30	15:00	17:50
瀬川局前	8:01	9:16	12:31	15:01	17:51
大倉	8:01	9:16	12:31	15:01	17:51
沢石入口	8:03	9:18	12:33	15:03	17:53
美山入口	8:04	9:19	12:34	15:04	17:54
門鹿	8:05	9:20	12:35	15:05	17:55
沼の下[田村市]	8:07	9:22	12:37	15:07	17:57
大山原	8:08	9:23	12:38	15:08	17:58
原[田村市]	8:09	9:24	12:39	15:09	17:59
鐘ヶ池	8:10	9:25	12:40	15:10	18:00
船引高校	8:11	9:26	12:41	15:11	18:01
石崎団地	8:12	9:27	12:42	15:12	18:02
時の宮	8:13	9:28	12:43	15:13	18:03
北区入口	8:14	9:29	12:44	15:14	18:04
馬場団地入口	8:15	9:30	12:45	15:15	18:05
船引駅前	8:18	9:33	12:48	15:18	18:08

【土曜・日祝】船引⇒葛尾

停留所名	1	2	3
船引駅前	11:00	15:00	18:17
栄町[田村市]	11:01	15:01	18:18
中町[田村市]	11:02	15:02	18:19
安久津通り	11:03	15:03	18:20
安久津橋	11:03	15:03	18:20
馬場団地入口	11:04	15:04	18:21
北区入口	11:05	15:05	18:22
時の宮	11:06	15:06	18:23
石崎団地	11:07	15:07	18:24
船引高校	11:08	15:08	18:25
鏡ヶ池	11:09	15:09	18:26
原[田村市]	11:10	15:10	18:27
大山原	11:11	15:11	18:28
沼の下[田村市]	11:12	15:12	18:29
門鹿	11:14	15:14	18:31
美山入口	11:15	15:15	18:32
沢石入口	11:16	15:16	18:33
大倉	11:18	15:18	18:35
瀬川局前	11:18	15:18	18:35
瀬川	11:19	15:19	18:36
新館	11:20	15:20	18:37
瀬川住民センター	11:21	15:21	18:38
石橋[田村市]	11:22	15:22	18:39
山口[田村市]	11:23	15:23	18:40
石沢	11:24	15:24	18:41
ひじ曲	11:26	15:26	18:43
大石	11:27	15:27	18:44
水中内	11:28	15:28	18:45
岩登	11:29	15:29	18:46
南移入口	11:30	15:30	18:47
西作入口	11:31	15:31	18:48
水の木入口	11:31	15:31	18:48
東作入口	11:32	15:32	18:49
緑小学校	11:32	15:32	18:49
平入口	11:33	15:33	18:50
移農協前	11:33	15:33	18:50
上移	11:34	15:34	18:51
移車庫	11:34	15:34	18:51
曲山[田村市]	11:35	15:35	18:52
下道	11:36	15:36	18:53
大谷田	11:37	15:37	18:54
境ノ岫	11:38	15:38	18:55
上野川	11:39	15:39	18:56
赤根久保	11:39	15:39	18:56
東	11:40	15:40	18:57
湯殿	11:40	15:40	18:57
清ノ内	11:41	15:41	18:58
浜井場[葛尾村]	11:41	15:41	18:58
仲ノ内[葛尾村]	11:42	15:42	18:59
関場[葛尾村]	11:42	15:42	18:59
野川	11:43	15:43	19:00
上重郎内	11:44	15:44	19:01
重郎内[葛尾村]	11:45	15:45	19:02
湯ノ平	11:46	15:46	19:03
関下[葛尾村]	11:47	15:47	19:04
西ノ内[葛尾村]	11:48	15:48	19:05
落合[葛尾村]	11:51	15:51	19:08

【土曜・日祝】葛尾⇒船引

停留所名	1	2	3
落合[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
西ノ内[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
関下[葛尾村]	8:00	12:00	16:00
湯ノ平	8:01	12:01	16:01
重郎内[葛尾村]	8:02	12:02	16:02
上重郎内	8:03	12:03	16:03
野川	8:03	12:03	16:03
関場[葛尾村]	8:04	12:04	16:04
仲ノ内[葛尾村]	8:04	12:04	16:04
浜井場[葛尾村]	8:05	12:05	16:05
清ノ内	8:06	12:06	16:06
湯殿	8:07	12:07	16:07
東	8:08	12:08	16:08
赤根久保	8:09	12:09	16:09
上野川	8:09	12:09	16:09
境ノ岫	8:10	12:10	16:10
大谷田	8:12	12:12	16:12
下道	8:13	12:13	16:13
曲山[田村市]	8:14	12:14	16:14
移車庫	8:15	12:15	16:15
上移	8:15	12:15	16:15
移農協前	8:16	12:16	16:16
平入口	8:16	12:16	16:16
緑小学校	8:17	12:17	16:17
東作入口	8:17	12:17	16:17
水の木入口	8:18	12:18	16:18
西作入口	8:18	12:18	16:18
南移入口	8:19	12:19	16:19
岩登	8:20	12:20	16:20
水中内	8:21	12:21	16:21
大石	8:22	12:22	16:22
ひじ曲	8:23	12:23	16:23
石沢	8:25	12:25	16:25
山口[田村市]	8:26	12:26	16:26
石橋[田村市]	8:27	12:27	16:27
瀬川住民センター	8:28	12:28	16:28
新館	8:29	12:29	16:29
瀬川	8:30	12:30	16:30
瀬川局前	8:31	12:31	16:31
大倉	8:31	12:31	16:31
沢石入口	8:33	12:33	16:33
美山入口	8:34	12:34	16:34
門鹿	8:35	12:35	16:35
沼の下[田村市]	8:37	12:37	16:37
大山原	8:38	12:38	16:38
原[田村市]	8:39	12:39	16:39
鏡ヶ池	8:40	12:40	16:40
船引高校	8:41	12:41	16:41
石崎団地	8:42	12:42	16:42
時の宮	8:43	12:43	16:43
北区入口	8:44	12:44	16:44
馬場団地入口	8:45	12:45	16:45
船引駅前	8:48	12:48	16:48

事業1-4 川内～船引系統

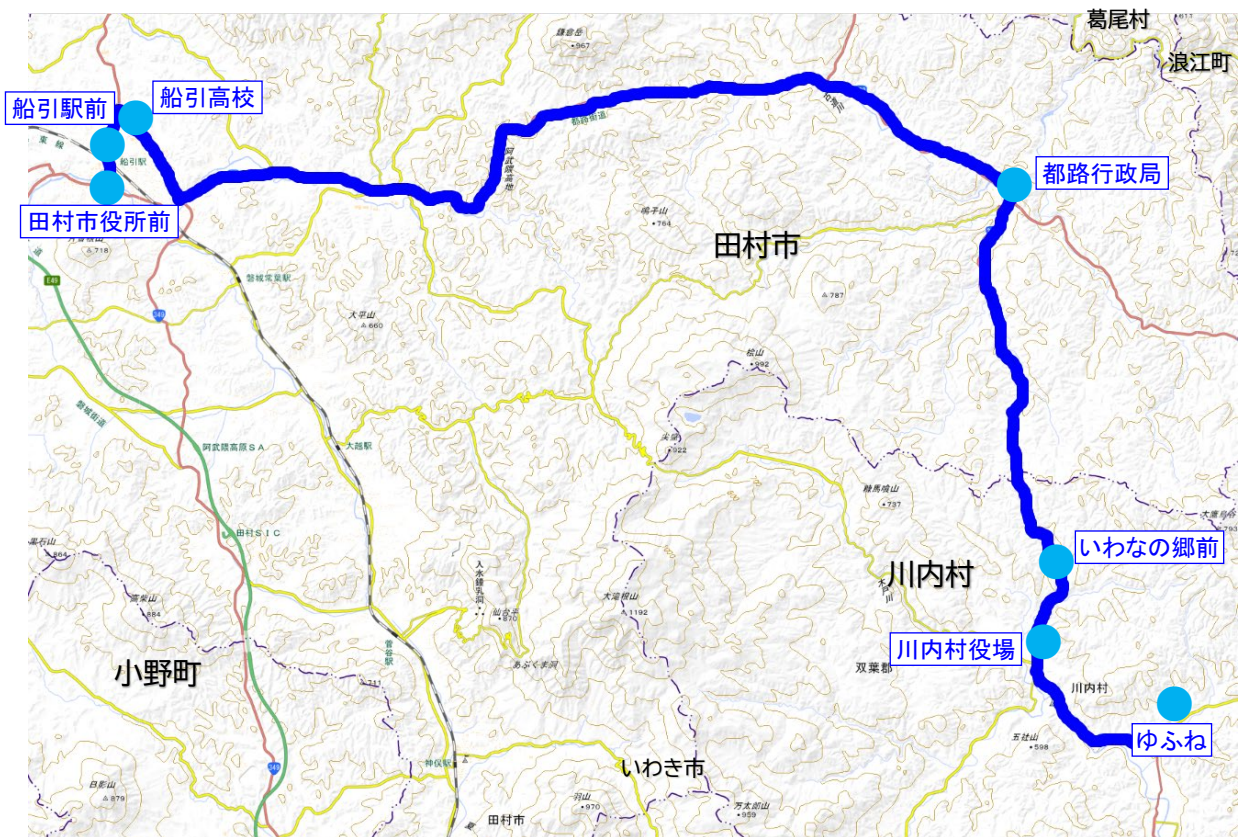
● 関連主体

福島交通株式会社、国、県、川内村、田村市

● 事業内容

項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	中型バス(定員57名)
起点	ゆふね
主な経由点	川内村役場・かわうちの湯、川内農協、いわなの郷、都路郵便局、都路小学校、船引高校、田村市役所
終点	船引駅前
停留所数	63箇所
運行距離	44.5km
所要時間	ゆふね～船引駅前 85分
運行回数	平日4往復
運賃	<対キロ区間制運賃> ゆふね～船引駅前 1,720円

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覧)

駅
 公営住宅
 商業施設
 病院・診療所
 公共等施設
 学校
 産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 船引駅前	田村市	JR船引駅
02 田村市役所前		田村市役所
03 石崎		
04 船引高校		船引高等学校 ヨークベニマルメガステージ田村店
05 源次郎		
06 東部台3丁目		
07 東部台4丁目		
08 館柄前		
09 中の内		
10 板橋入口		
11 真城		
12 西向		
13 上鹿山入口		
14 川久保		
15 西田		
16 常光寺		
17 常葉荒町		
18 常葉中町		
19 常葉局前		
20 常葉上町		
21 常葉車庫		

バス停名称	市町村	主な周辺施設
22 本坊	田村市	
23 石蒔田		
24 堀田入口		
25 四重城入口		
26 沢又入口		 田村市東部産業団地
27 余平田		
28 月の田和		
29 山根		
30 雨乞平		
31 北作入口		
32 西戸		
33 平内地		
34 岩井沢		 都路町商業施設 Domo 岩井沢店
35 平蔵内		
36 言神入口		
37 檜梨		
38 新田		
39 上道の内		
40 中屋敷		
41 下道の内		
42 芹沢		
43 古道車庫		
44 都路行政局		 都路町商業施設 Domo 古道店
45 都路小学校前		
46 都路行政局		 田村市役所都路診療所
47 都路郵便局		
48 大亀神社		
49 白石		
50 合子入口		
51 春日前		
52 いわなの郷前		 いわなの郷
53 林		
54 車庫前		
55 川内農協		
56 役場かわうちの湯前	 川内村役場、  かわうちの湯	
57 川内中前	 川内村室内型村民プール	
58 宮ノ下		
59 宮の坂	 商業施設 YO-TASHI	
60 すわの杜公園		
61 坂シ内		
62 ゆふね	 複合施設ゆふね  川内村国民健康保険診療所	



JR 船引駅
(田村市)
【出典】田村市



田村市役所
(田村市)
【出典】福島県



かわうちの湯
(川内村)
【出典】川内村



複合施設ゆふね
(川内村)
【出典】特定非営利活動法人
あぶくま地域づくり推進機構

● 現状・課題

川内村から田村市の医療機関や商業施設、高等学校にアクセスするための重要な公共交通となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度32.1人、令和2年事業年度29.2人、令和3年事業年度28.2人、令和4年事業年度28.3人、令和5年事業年度27.4人、令和6年事業年度25.8人、令和7年事業年度24.9人で、川内村～船引間の広域的な利用も見られるが、JR東日本鉄道路線(磐越東線)の沿線から離れた田村市常葉町及び都路町の住宅地を経由することから、田村市内間の利用も多い傾向にある。

JR東日本船引駅での鉄道路線(磐越東線)との乗り換えに時間を要する場合があります、鉄道利用者のニーズを取り込むため、鉄道を含めたダイヤの改善を図る余地がある。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【継続】	利用実態を踏まえながら、競合路線である「古道線」との再編・統合を検討していく。
③ 運行ルートの見直し【新規】	たむら市民病院の移転等の需要の変化を捉え、運行ルートの見直しについて検討する。
④ 運行ダイヤの見直し【継続】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	32.1人	—	18.3%	—
令和4年事業年度 <現況値>	28.3人	28.3人	17.5%	17.5%
令和5年事業年度	40.0人以上	27.4人	上昇を目指す	15.7%
令和6年事業年度	50.0人以上	25.8人	上昇を目指す	13.7%
令和7年事業年度	60.0人以上	24.9人	上昇を目指す	10.4%
令和8年事業年度	60.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	60.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】船引⇒川内

停留所名	1	2	3	4
船引駅前	6:45	11:55	16:00	18:20
田村市役所前	6:46	11:56	16:01	18:21
石崎	6:47	11:57	16:02	18:22
船引高校	6:48	11:58	16:03	18:23
源次郎	6:49	11:59	16:04	18:24
東部台三丁目	6:50	12:00	16:05	18:25
東部台四丁目	6:51	12:01	16:06	18:26
館柄前	6:53	12:03	16:08	18:28
中の内[田村市]	6:55	12:05	16:10	18:30
板橋入口	6:57	12:07	16:12	18:32
真城	6:58	12:08	16:13	18:33
西向[田村市]	6:59	12:09	16:14	18:34
上鹿山入口	7:00	12:10	16:15	18:35
川久保	7:02	12:12	16:17	18:37
西田	7:03	12:13	16:18	18:38
常光寺	7:04	12:14	16:19	18:39
常葉荒町	7:05	12:15	16:20	18:40
常葉中町	7:06	12:16	16:21	18:41
常葉局前	7:06	12:16	16:21	18:41
常葉上町	7:07	12:17	16:22	18:42
常葉車庫	7:07	12:17	16:22	18:42
本坊	7:07	12:17	16:22	18:42
石蒔田	7:08	12:18	16:23	18:43
堀田入口	7:09	12:19	16:24	18:44
四重城入口	7:09	12:19	16:24	18:44
沢又入口	7:11	12:21	16:26	18:46
余平田	7:11	12:21	16:26	18:46
月の田和	7:12	12:22	16:27	18:47
山根	7:14	12:24	16:29	18:49
雨乞平	7:16	12:26	16:31	18:51
北作入口	7:19	12:29	16:34	18:54
西戸	7:21	12:31	16:36	18:56
平内地	7:23	12:33	16:38	18:58
岩井沢	7:24	12:34	16:39	18:59
平蔵内	7:24	12:34	16:39	18:59
言神入口	7:25	12:35	16:40	19:00
檜梨	7:27	12:37	16:42	19:02
新田[田村市]	7:28	12:38	16:43	19:03
上道の内	7:29	12:39	16:44	19:04
中屋敷[田村市]	7:29	12:39	16:44	19:04
下道の内	7:30	12:40	16:45	19:05
芹沢[田村市]	7:32	12:42	16:47	19:07
古道車庫	7:36	12:46	16:51	19:11
都路行政局	7:37	12:47	16:52	19:12
都路小学校前	7:38	12:48	16:53	19:13
都路行政局	7:38	12:48	16:53	19:13
都路郵便局	7:38	12:48	16:53	19:13
大亀神社	7:39	12:49	16:54	19:14
白石[田村市]	7:40	12:50	16:55	19:15
合子入口	7:46	12:56	17:01	19:21
春日前	7:47	12:57	17:02	19:22
いわなの郷前	7:56	13:06	17:11	19:31
林[川内村]	7:57	13:07	17:12	19:32
車庫前	7:59	13:09	17:14	19:34
川内農協	8:00	13:10	17:15	19:35
役場・かわうちの湯前[川内村]	8:02	13:12	17:17	19:37
川内中前	8:04	13:14	17:19	19:39
宮ノ下[川内村]	8:05	13:15	17:20	19:40
宮の坂	8:05	13:15	17:20	19:40
すわの杜公園	8:06	13:16	17:21	19:41
坂シ内	8:07	13:17	17:22	19:42
ゆふね	8:10	13:20	17:25	19:45

【平日】川内⇒上三坂

停留所名	1	2	3	4
ゆふね	6:25	8:15	13:55	17:35
坂シ内	6:26	8:16	13:56	17:36
すわの杜公園	6:27	8:17	13:57	17:37
宮の坂	6:28	8:18	13:58	17:38
宮ノ下[川内村]	6:28	8:18	13:58	17:38
川内中前	6:29	8:19	13:59	17:39
役場・かわうちの湯前[川内村]	6:31	8:21	14:01	17:41
川内農協	6:33	8:23	14:03	17:43
車庫前	6:34	8:24	14:04	17:44
林[川内村]	6:36	8:26	14:06	17:46
いわなの郷前	6:37	8:27	14:07	17:47
春日前	6:46	8:36	14:16	17:56
合子入口	6:47	8:37	14:17	17:57
白石[田村市]	6:53	8:43	14:23	18:03
大亀神社	6:54	8:44	14:24	18:04
都路郵便局	6:55	8:45	14:25	18:05
都路行政局	6:55	8:45	14:25	18:05
都路小学校前	6:56	8:46	14:26	18:06
都路行政局	6:56	8:46	14:26	18:06
古道車庫	6:57	8:47	14:27	18:07
芹沢[田村市]	7:01	8:51	14:31	18:11
下道の内	7:03	8:53	14:33	18:13
中屋敷[田村市]	7:04	8:54	14:34	18:14
上道の内	7:05	8:55	14:35	18:15
新田[田村市]	7:05	8:55	14:35	18:15
檜梨	7:06	8:56	14:36	18:16
言神入口	7:08	8:58	14:38	18:18
平蔵内	7:09	8:59	14:39	18:19
岩井沢	7:09	8:59	14:39	18:19
平内地	7:10	9:00	14:40	18:20
西戸	7:12	9:02	14:42	18:22
北作入口	7:14	9:04	14:44	18:24
雨乞平	7:17	9:07	14:47	18:27
山根	7:19	9:09	14:49	18:29
月の田和	7:21	9:11	14:51	18:31
余平田	7:22	9:12	14:52	18:32
沢又入口	7:22	9:12	14:52	18:32
四重城入口	7:24	9:14	14:54	18:34
堀田入口	7:24	9:14	14:54	18:34
石蒔田	7:25	9:15	14:55	18:35
本坊	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉車庫	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉上町	7:26	9:16	14:56	18:36
常葉局前	7:27	9:17	14:57	18:37
常葉中町	7:27	9:17	14:57	18:37
常葉荒町	7:28	9:18	14:58	18:38
常光寺	7:29	9:19	14:59	18:39
西田	7:30	9:20	15:00	18:40
川久保	7:31	9:21	15:01	18:41
上鹿山入口	7:33	9:23	15:03	18:43
西向[田村市]	7:34	9:24	15:04	18:44
真城	7:35	9:25	15:05	18:45
板橋入口	7:36	9:26	15:06	18:46
中の内[田村市]	7:38	9:28	15:08	18:48
館柄前	7:39	9:29	15:09	18:49
東部台四丁目	7:40	9:30	15:10	18:50
東部台三丁目	7:41	9:31	15:11	18:51
源次郎	7:42	9:32	15:12	18:52
船引高校	7:43	9:33	15:13	18:53
石崎	7:44	9:34	15:14	18:54
田村市役所前	7:45	9:35	15:15	18:55
五升車	7:45	9:35	15:15	18:55
船引駅前	7:50	9:40	15:20	19:00

土曜・日祝】川内⇒船引

停留所名	1	2	3
船引駅前	8:35	14:00	18:20
田村市役所前	8:36	14:01	18:21
石崎	8:37	14:02	18:22
船引高校	8:38	14:03	18:23
源次郎	8:39	14:04	18:24
東部台三丁目	8:40	14:05	18:25
東部台四丁目	8:41	14:06	18:26
館柄前	8:43	14:08	18:28
中の内[田村市]	8:45	14:10	18:30
板橋入口	8:47	14:12	18:32
真城	8:48	14:13	18:33
西向[田村市]	8:49	14:14	18:34
上鹿山入口	8:50	14:15	18:35
川久保	8:52	14:17	18:37
西田	8:53	14:18	18:38
常光寺	8:54	14:19	18:39
常葉荒町	8:55	14:20	18:40
常葉中町	8:56	14:21	18:41
常葉局前	8:56	14:21	18:41
常葉上町	8:57	14:22	18:42
常葉車庫	8:57	14:22	18:42
本坊	8:57	14:22	18:42
石蒔田	8:58	14:23	18:43
堀田入口	8:59	14:24	18:44
四重城入口	8:59	14:24	18:44
沢又入口	9:01	14:26	18:46
余平田	9:01	14:26	18:46
月の田和	9:02	14:27	18:47
山根	9:04	14:29	18:49
雨乞平	9:06	14:31	18:51
北作入口	9:09	14:34	18:54
西戸	9:11	14:36	18:56
平内地	9:13	14:38	18:58
岩井沢	9:14	14:39	18:59
平蔵内	9:14	14:39	18:59
言神入口	9:15	14:40	19:00
檜梨	9:17	14:42	19:02
新田[田村市]	9:18	14:43	19:03
上道の内	9:19	14:44	19:04
中屋敷[田村市]	9:19	14:44	19:04
下道の内	9:20	14:45	19:05
芹沢[田村市]	9:22	14:47	19:07
古道車庫	9:26	14:51	19:11
都路行政局	9:27	14:52	19:12
都路小学校前	9:28	14:53	19:13
都路行政局	9:28	14:53	19:13
都路郵便局	9:28	14:53	19:13
大亀神社	9:29	14:54	19:14
白石[田村市]	9:30	14:55	19:15
合子入口	9:36	15:01	19:21
春日前	9:37	15:02	19:22
いわなの郷前	9:46	15:11	19:31
林[川内村]	9:47	15:12	19:32
車庫前	9:49	15:14	19:34
川内農協	9:50	15:15	19:35
役場・かわうちの湯前[川内村]	9:52	15:17	19:37
川内中前	9:54	15:19	19:39
宮ノ下[川内村]	9:55	15:20	19:40
宮の坂	9:55	15:20	19:40
すわの杜公園	9:56	15:21	19:41
坂シ内	9:57	15:22	19:42
ゆふね	10:00	15:25	19:45

【土曜・日祝】川内⇒船引

停留所名	1	2	3
ゆふね	6:55	10:15	15:35
坂シ内	6:56	10:16	15:36
すわの杜公園	6:57	10:17	15:37
宮の坂	6:58	10:18	15:38
宮ノ下[川内村]	6:58	10:18	15:38
川内中前	6:59	10:19	15:39
役場・かわうちの湯前[川内村]	7:01	10:21	15:41
川内農協	7:03	10:23	15:43
車庫前	7:04	10:24	15:44
林[川内村]	7:06	10:26	15:46
いわなの郷前	7:07	10:27	15:47
春日前	7:16	10:36	15:56
合子入口	7:17	10:37	15:57
白石[田村市]	7:23	10:43	16:03
大亀神社	7:24	10:44	16:04
都路郵便局	7:25	10:45	16:05
都路行政局	7:25	10:45	16:05
都路小学校前	7:26	10:46	16:06
都路行政局	7:26	10:46	16:06
古道車庫	7:27	10:47	16:07
芹沢[田村市]	7:31	10:51	16:11
下道の内	7:33	10:53	16:13
中屋敷[田村市]	7:34	10:54	16:14
上道の内	7:35	10:55	16:15
新田[田村市]	7:35	10:55	16:15
檜梨	7:36	10:56	16:16
言神入口	7:38	10:58	16:18
平蔵内	7:39	10:59	16:19
岩井沢	7:39	10:59	16:19
平内地	7:40	11:00	16:20
西戸	7:42	11:02	16:22
北作入口	7:44	11:04	16:24
雨乞平	7:47	11:07	16:27
山根	7:49	11:09	16:29
月の田和	7:51	11:11	16:31
余平田	7:52	11:12	16:32
沢又入口	7:52	11:12	16:32
四重城入口	7:54	11:14	16:34
堀田入口	7:54	11:14	16:34
石蒔田	7:55	11:15	16:35
本坊	7:56	11:16	16:36
常葉車庫	7:56	11:16	16:36
常葉上町	7:56	11:16	16:36
常葉局前	7:57	11:17	16:37
常葉中町	7:57	11:17	16:37
常葉荒町	7:58	11:18	16:38
常光寺	7:59	11:19	16:39
西田	8:00	11:20	16:40
川久保	8:01	11:21	16:41
上鹿山入口	8:03	11:23	16:43
西向[田村市]	8:04	11:24	16:44
真城	8:05	11:25	16:45
板橋入口	8:06	11:26	16:46
中の内[田村市]	8:08	11:28	16:48
館柄前	8:09	11:29	16:49
東部台四丁目	8:10	11:30	16:50
東部台三丁目	8:11	11:31	16:51
源次郎	8:12	11:32	16:52
船引高校	8:13	11:33	16:53
石崎	8:14	11:34	16:54
田村市役所前	8:15	11:35	16:55
五升車	8:15	11:35	16:55
船引駅前	8:20	11:40	17:00

事業1-5 川内～小野系統

● 関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、川内村、小野町、いわき市








● 事業内容

項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	小型バス(定員34名)
起点	ゆふね
主な経由点	すわの杜公園、川内村役場・かわうちの湯、川内農協、おのショッピングプラザ、小野高校、小野新町駅、夏井駅
終点	上三坂
停留所数	31箇所
運行距離	50.2km
所要時間	ゆふね～上三坂 85分
運行回数	平日3往復
運賃	ゆふね～上三坂 1,810円

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覧)

 駅
  公営住宅
  商業施設
  病院・診療所
  公共等施設
  学校
  観光施設

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 ゆふね	川内村	 複合施設ゆふね、  川内村国民健康保険診療所
02 坂シ内		
03 下川内		
04 すわの杜公園		
05 宮の坂		 商業施設 YO-TASHI
06 宮ノ下		
07 川内中前		 川内村室内型村民プール
08 役場・かわうちの湯前		 川内村役場、  かわうちの湯
09 川内農協		
10 早渡		
11 下瀬耳上		
12 瀬耳上		
13 子安川		
14 広内		
15 館屋		
16 坂下		
17 平伏沼口		
18 木ノ葉橋		
19 小白井	いわき市	
20 小野高校	小野町	 小野高等学校
21 おのショッピングプラザ		 おのショッピングプラザ・コムコム
22 小野町地方総合病院前		 公立小野町地方総合病院
23 小野駅前		 JR小野新町駅
24 夏井局前		
25 夏井駅前		 JR夏井駅
26 夏井局前		
27 宮ノ前		
28 和名田	いわき市	
29 戸沢		
30 白石		
31 国道三坂		
32 上三坂		



商業施設 YO-TASHI (再掲)
【出典】川内村



おのショッピングプラザ・コムコム
(小野町)
【出典】ウェルカムふくしま 郡山情報館



かわうちの湯 (再掲)
【出典】川内村



公立小野町地方総合病院
(小野町)
【出典】一般社団法人田村医師会

● 現状・課題

川内村から小野町内の高等学校、商業施設、医療機関等にアクセスするための重要な公共交通であるとともに、いわき市川前地区では唯一のバス路線となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度5.3人、令和2年事業年度6.9人、令和3年事業年度9.8人、令和4年事業年度10.3人、令和5年事業年度7.3人、令和6年事業年度5.3人、令和7年事業年度4.0人と低調な利用となっている。

その要因として、川内村社会福祉協議会による高齢者を対象とした村外への医療機関や商業施設への無料送迎サービスとの競合などが挙げられる。

県道145号バイパス区間開通に併せて、令和7年10月1日からバイパス区間を通るルートに変更された。

併せて、小野町での利便性を上げ、利用促進を図るため、おのショッピングプラザに乗り入れることにした。

令和8年度に小野高校(小野町)が船引高校(田村市)との統合再編により閉校となることから、通学利用者数の減少が予想されており、また、令和9年度には小野町役場が小野IC付近への移転予定である。

JR磐越東線との連携強化や、かわうちの湯のニーズに対応した休日ダイヤの設定等を図ることで利便性を向上させ、利用者を取り込んでいく必要がある。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【新規】	小野高校の統合や小野町役場の移転等の需要の変化を捉え、運行ルートの見直しについて検討する。
③ 運行ダイヤの見直し【継続】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	5.3人	—	2.8%	—
令和4年事業年度 <現況値>	10.3人	10.3人	7.2%	7.2%
令和5年事業年度	12.0人以上	7.3人	上昇を目指す	7.0%
令和6年事業年度	13.5人以上	5.3人	上昇を目指す	5.5%
令和7年事業年度	15.0人以上	4.0人	上昇を目指す	7.8%
令和8年事業年度	15.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	15.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】川内⇒小野⇒上三坂

停留所名	1	2	3
ゆふね	7:10	13:15	14:40
坂シ内	7:10	13:15	14:40
下川内	7:11	13:16	14:41
すわの杜公園	7:11	13:16	14:41
宮の坂	7:12	13:17	14:42
宮ノ下	7:14	13:19	14:44
川内中前	7:15	13:20	14:45
役場・かわうちの湯前	7:16	13:21	14:46
川内農協	7:18	13:23	14:48
早渡	7:20	13:25	14:50
下瀬耳上	7:21	13:26	14:51
瀬耳上	7:22	13:27	14:52
子安川	7:24	13:29	14:54
広内	7:25	13:30	14:55
館屋	7:26	13:31	14:56
坂下	7:27	13:32	14:57
平伏沼口	7:28	13:33	14:58
木ノ葉橋	7:29	13:34	14:59
小白井	7:37	13:42	15:07
小野高校	7:50	13:55	15:20
おのショッピングプラザ	7:56	14:01	15:26
小野町地方総合病院前	8:01	14:06	15:31
小野駅前	8:05	14:10	15:35
夏井局前	8:10	14:15	15:40
夏井駅前	8:12	14:17	15:42
夏井局前	8:13	14:18	15:43
宮ノ前	8:16	14:21	15:46
和名田	8:23	14:28	15:53
戸沢	8:24	14:29	15:54
白井	8:26	14:31	15:56
国道三坂	8:27	14:32	15:57
上三坂	8:35	14:40	16:05

【平日】上三坂⇒小野⇒川内

停留所名	1	2	3
上三坂	8:15	10:05	17:05
国道三坂	8:16	10:06	17:06
白井	8:17	10:07	17:07
戸沢	8:19	10:09	17:09
和名田	8:20	10:10	17:10
宮ノ前	8:27	10:17	17:17
夏井局前	8:30	10:20	17:20
夏井駅前	8:31	10:21	17:21
夏井局前	8:33	10:23	17:23
小野駅前	8:38	10:28	17:28
小野町地方総合病院前	8:42	10:32	17:32
おのショッピングプラザ	8:47	10:37	17:37
小野高校	8:53	10:43	17:43
小白井	9:06	10:56	17:56
木ノ葉橋	9:14	11:04	18:04
平伏沼口	9:15	11:05	18:05
坂下	9:16	11:06	18:06
館屋	9:17	11:07	18:07
広内	9:18	11:08	18:08
子安川	9:19	11:09	18:09
瀬耳上	9:21	11:11	18:11
下瀬耳上	9:22	11:12	18:12
早渡	9:23	11:13	18:13
川内農協	9:25	11:15	18:15
役場・かわうちの湯前	9:27	11:17	18:17
川内中前	9:28	11:18	18:18
宮ノ下	9:29	11:19	18:19
宮の坂	9:31	11:21	18:21
すわの杜公園	9:32	11:22	18:22
下川内	9:32	11:22	18:22
坂シ内	9:33	11:23	18:23
ゆふね	9:40	11:30	18:30

全ダイヤ、平日のみ運行(祝日と8/13~8/16・12/30~1/3は運休)

事業1-6 南相馬～川俣～医大経由福島系統

● 関連主体

福島交通株式会社、国、県、福島市、川俣町、南相馬市、飯館村








● 事業内容

項目	内容
運行事業者	福島交通株式会社
運行事業者	通年運行
使用車両	大型バス(高速バスタイプ、定員45名)
起点	原町駅前
主な経由点	南相馬市役所、いたて村までい館、川俣営業所、飯野町 医大病院、大原総合病院
終点	福島駅東口
停留所数	51箇所
運行距離	65.3km
所要時間	原町駅前～福島駅東口 1時間45分
運行回数	平日6往復、休日6往復

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覽)

 駅
  公営住宅
  商業施設
  病院・診療所
  公共等施設
  学校
  産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 福島駅東口	福島市	 JR福島駅
02 大町		 福島県立医科大学(駅前キャンパス)
03 大原綜合病院		 福島県庁、  大原綜合病院
04 医大病院		  福島県立医科大学附属病院
05 飯野町		 福島市役所飯野支所
06 鶴沢宮前	川俣町	 川俣西部工業団地
07 絹の里シルクピア前		 こころ・シルクピア、  おりもの展示館
08 川俣町済生会病院入口		 からりこ館
09 川俣南小学校		 済生会川俣病院
10 川俣営業所		 川俣町新中町団地
11 川俣高校前		
12 飯坂学校前		 川俣高等学校
13 菽平		
14 水境		
15 信田		
16 二枚橋局前		
17 飯館境木		
18 白石		
19 縦の木		
20 いこいの家		
21 市の沢		
22 深谷		
23 いいたて村までい館	飯館村	 いいたて村の道の駅までい館
24 飯館農協前		
25 飯館村役場		 飯館村役場  いいたてスポーツ公園  メモリアルホールいいたて
26 飯館ふれ愛館前		 大谷地団地
27 目玉打		
28 草野本町		
29 赤坂		
30 芦原		
31 糠塚		
32 坂下		
33 大芦	南相馬市	
34 パラ坂		
35 社地神		
36 下社地神		
37 杉内		
38 大原		
39 大原公会堂		
40 西下田		

バス停名称	市町村	主な周辺施設
41 かやの木	南相馬市	
42 信田沢		
43 新田原		
44 北長野		
45 長野		
46 南原		
47 南相馬市役所		🏛️ 南相馬市役所 🏛️ 南相馬市民文化会館(ゆめはっと) 🏛️ 野馬追通り銘醸館
48 四ツ葉通り		🏠 南町団地
49 栄町		🏠 栄町団地
50 栄町二丁目		
51 旭公園前		🚗 おおまちマルシェ
52 旭町一丁目		
53 原町駅前		🚉 JR原ノ町駅、 🏛️ 南相馬市立中央図書館 🏠 大町西団地、 🏠 大町東団地 🏠 大町南団地



福島県立医科大学附属病院
(福島市)

【出典】公立大学法人福島県立医科大学附属病院



南相馬市役所
(南相馬市)

【出典】福島県



川俣高等学校
(川俣町)

【出典】川俣高等学校



いいたて村の道の駅までい館
(飯舘村)

【出典】いいたて村の道の駅までい館

● 現状・課題

東日本大震災・原発事故以前は、福島交通が「原町～川俣」系統として運行していたバス路線について、平成29年10月から福島県立医科大学を經由し、福島駅東口までの延伸を行い、新たに「南相馬～川俣～医大経由」系統として運行を開始したバス路線である。

東日本大震災・原発事故の甚大な被害を受け、復興の途上にある相双地域と、本県の政治・行政等の都市機能が集積した県北地域を結ぶ主要な公共交通であるとともに、JR東日本鉄道路線（東北新幹線、常磐線）から飯館村を結ぶ唯一の二次交通※となっている。

さらには、相双地域から特殊医療や先進医療を提供する福島県立医科大学にアクセスするための重要な公共交通となっている。

※ 飯館村内を經由する公共交通としては、福島交通株式会社のバス路線のほか、東北アクセス株式会社のバス路線が設定されていたが、令和7年12月現在運休しており、運行再開は未定となっている。

1日当たりの利用者数は、令和元年事業年度65.6人、令和2年事業年度41.3人、令和3年事業年度35.5人、令和4年事業年度41.8人、令和5年事業年度46.3人、令和6年事業年度59.9人、令和7年事業年度62.1人で推移しており、令和2年度はコロナ禍の影響で利用が約4割減となったが、徐々に回復してきている。

主として、福島市～南相馬市間の移動手段として利用されており、通勤・通学での利用実績も見られる。また、相双地域から福島県立医科大学への移動手段としても利用実績が見られるなど、一定の利用ニーズはある。

当該路線が県北地域と相双地域を結ぶ主要な公共交通であることに鑑み、利用者及び潜在的なニーズを踏まえた運行ダイヤや運行ルートの見直しを不断に継続していく必要がある。

なお、川俣町内の川俣高校前バス停から西の区間では、乗降に制約があり、利用者から改善を求める声が上がっていたことから、令和4年10月に当該ルールを撤廃した。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① 利活用の推進【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
② 運行ルートの見直し【継続】	福島県立医科大学の診療時間外となる朝夕の時間帯において、県北地域～相双地域間の速達性向上のため、新たに医科大学を経由しないルートを検討する。 また、ニーズを把握した上で、飯舘村内の利便性向上のためのルート変更(飯樋方面への延伸など)を検討する。
③ 運行ダイヤの見直し【継続】	JR東日本鉄道路線(磐越東線)との乗り継ぎがスムーズに行えるよう、ダイヤの見直しを行う。
④ 長距離、長時間移動の快適性の確保【継続】	大型バス(高速バスタイプ)を運用し、乗客の身体的負担の軽減を図る。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和元年事業年度 <基準値>	64.9人	—	23.3%	—
令和4年事業年度 <現況値>	41.8人	41.8人	17.6%	17.6%
令和5年事業年度	60.0人以上	46.3人	上昇を目指す	16.5%
令和6年事業年度	90.0人以上	59.9人	上昇を目指す	18.2%
令和7年事業年度	120.0人以上	62.1人	上昇を目指す	15.7%
令和8年事業年度	120.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	120.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。

※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】福島駅東口⇒原ノ町駅前

停留所名	1	2	3	4	5	6
福島駅東口	6:10	9:50	12:30	15:00	16:00	18:25
大町	6:13	9:53	12:33	15:03	16:03	18:28
医大病院	6:32	10:12	12:52	15:22	16:22	18:47
飯野町	6:45	10:25	13:05	15:35	16:35	19:00
鶴沢宮前	6:50	10:30	13:10	15:40	16:40	19:05
絹の里シルクピア前	6:51	10:31	13:11	15:41	16:41	19:06
川俣町済生会病院入口	6:52	10:32	13:12	15:42	16:42	19:07
かわまた認定こども園	6:53	10:33	13:13	15:43	16:43	19:08
川俣営業所	6:59	10:39	13:19	15:49	16:49	19:14
川俣高校前	7:00	10:40	13:20	15:50	16:50	19:15
飯坂学校前	7:01	10:41	13:21	15:51	16:51	19:16
萩平	7:02	10:42	13:22	15:52	16:52	19:17
水境	7:07	10:47	13:27	15:57	16:57	19:22
信田	7:09	10:49	13:29	15:59	16:59	19:24
二枚橋局前	7:10	10:50	13:30	16:00	17:00	19:25
飯館境木	7:11	10:51	13:31	16:01	17:01	19:26
白石	7:13	10:53	13:33	16:03	17:03	19:28
樅の木	7:14	10:54	13:34	16:04	17:04	19:29
いこいの家	7:15	10:55	13:35	16:05	17:05	19:30
市の沢	7:16	10:56	13:36	16:06	17:06	19:31
深谷	7:17	10:57	13:37	16:07	17:07	19:32
いいいたて村までい館	7:18	10:58	13:38	16:08	17:08	19:33
飯館農協前	7:19	10:59	13:39	16:09	17:09	19:34
飯館村役場	7:23	11:03	13:43	16:13	17:13	19:38
飯館ふれ愛館前	7:27	11:07	13:47	16:17	17:17	19:42
目玉打	7:28	11:08	13:48	16:18	17:18	19:43
草野本町	7:29	11:09	13:49	16:19	17:19	19:44
赤坂	7:30	11:10	13:50	16:20	17:20	19:45
芦原	7:32	11:12	13:52	16:22	17:22	19:47
糠塚	7:34	11:14	13:54	16:24	17:24	19:49
坂下	7:42	11:22	14:02	16:32	17:32	19:57
大芦	7:43	11:23	14:03	16:33	17:33	19:58
バラ坂	7:44	11:24	14:04	16:34	17:34	19:59
社地神	7:45	11:25	14:05	16:35	17:35	20:00
下社地神	7:46	11:26	14:06	16:36	17:36	20:01
杉内	7:48	11:28	14:08	16:38	17:38	20:03
大原	7:49	11:29	14:09	16:39	17:39	20:04
大原公会堂	7:49	11:29	14:09	16:39	17:39	20:04
西下田	7:50	11:30	14:10	16:40	17:40	20:05
かやの木	7:51	11:31	14:11	16:41	17:41	20:06
信田沢	7:52	11:32	14:12	16:42	17:42	20:07
新田原	7:53	11:33	14:13	16:43	17:43	20:08
北長野	7:54	11:34	14:14	16:44	17:44	20:09
長野	7:55	11:35	14:15	16:45	17:45	20:10
南原	7:56	11:36	14:16	16:46	17:46	20:11
南相馬市役所	7:59	11:39	14:19	16:49	17:49	20:14
四ツ葉通り	8:00	11:40	14:20	16:50	17:50	20:15
柴町	8:01	11:41	14:21	16:51	17:51	20:16
柴町二丁目	8:02	11:42	14:22	16:52	17:52	20:17
旭公園前	8:03	11:43	14:23	16:53	17:53	20:18
旭町一丁目	8:03	11:43	14:23	16:53	17:53	20:18
原町駅前	8:11	11:51	14:31	17:01	18:01	20:26

【平日】原ノ町駅前⇒福島駅東口

停留所名	1	2	3	4	5	6
原町駅前	7:00	10:15	12:30	14:00	16:00	17:55
旭町一丁目	7:01	10:16	12:31	14:01	16:01	17:56
旭公園前	7:01	10:16	12:31	14:01	16:01	17:56
柴町二丁目	7:02	10:17	12:32	14:02	16:02	17:57
四ツ葉通り	7:04	10:19	12:34	14:04	16:04	17:59
南相馬市役所	7:06	10:21	12:36	14:06	16:06	18:01
南原	7:08	10:23	12:38	14:08	16:08	18:03
長野	7:09	10:24	12:39	14:09	16:09	18:04
北長野	7:10	10:25	12:40	14:10	16:10	18:05
新田原	7:11	10:26	12:41	14:11	16:11	18:06
信田沢	7:12	10:27	12:42	14:12	16:12	18:07
かやの木	7:13	10:28	12:43	14:13	16:13	18:08
西下田	7:14	10:29	12:44	14:14	16:14	18:09
大原公会堂	7:15	10:30	12:45	14:15	16:15	18:10
大原	7:15	10:30	12:45	14:15	16:15	18:10
杉内	7:16	10:31	12:46	14:16	16:16	18:11
下社地神	7:17	10:32	12:47	14:17	16:17	18:12
社地神	7:18	10:33	12:48	14:18	16:18	18:13
バラ坂	7:19	10:34	12:49	14:19	16:19	18:14
大芦	7:20	10:35	12:50	14:20	16:20	18:15
坂下	7:21	10:36	12:51	14:21	16:21	18:16
糠塚	7:29	10:44	12:59	14:29	16:29	18:24
芦原	7:31	10:46	13:01	14:31	16:31	18:26
赤坂	7:32	10:47	13:02	14:32	16:32	18:27
草野本町	7:34	10:49	13:04	14:34	16:34	18:29
目玉打	7:35	10:50	13:05	14:35	16:35	18:30
飯館ふれ愛館前	7:36	10:51	13:06	14:36	16:36	18:31
飯館村役場	7:40	10:55	13:10	14:40	16:40	18:35
飯館農協前	7:44	10:59	13:14	14:44	16:44	18:39
いいいたて村までい館	7:47	11:02	13:17	14:47	16:47	18:42
深谷	7:48	11:03	13:18	14:48	16:48	18:43
市の沢	7:49	11:04	13:19	14:49	16:49	18:44
いこいの家	7:50	11:05	13:20	14:50	16:50	18:45
樅の木	7:51	11:06	13:21	14:51	16:51	18:46
白石	7:52	11:07	13:22	14:52	16:52	18:47
飯館境木	7:54	11:09	13:24	14:54	16:54	18:49
二枚橋局前	7:55	11:10	13:25	14:55	16:55	18:50
信田	7:56	11:11	13:26	14:56	16:56	18:51
水境	7:58	11:13	13:28	14:58	16:58	18:53
萩平	8:01	11:16	13:31	15:01	17:01	18:56
飯坂学校前	8:02	11:17	13:32	15:02	17:02	18:57
川俣高校前	8:03	11:18	13:33	15:03	17:03	18:58
川俣営業所	8:05	11:20	13:35	15:05	17:05	19:00
かわまた認定こども園	8:07	11:22	13:37	15:07	17:07	19:02
川俣町済生会病院入口	8:08	11:23	13:38	15:08	17:08	19:03
絹の里シルクピア前	8:10	11:25	13:40	15:10	17:10	19:05
鶴沢宮前	8:11	11:26	13:41	15:11	17:11	19:06
飯野町	8:18	11:33	13:48	15:18	17:18	19:13
医大病院	8:34	11:49	14:04	15:34	17:34	19:29
大原綜合病院	8:56	12:11	14:26	15:56	17:56	19:51
福島駅東口	9:01	12:16	14:31	16:01	18:01	19:56

【土曜・日祝】福島駅東口⇒原ノ町駅前

停留所名	1	2	3	4	5	6
福島駅東口	6:10	9:50	12:30	15:00	16:00	18:25
大町	6:13	9:53	12:33	15:03	16:03	18:28
医大病院	6:32	10:12	12:52	15:22	16:22	18:47
飯野町	6:45	10:25	13:05	15:35	16:35	19:00
鶴沢宮前	6:50	10:30	13:10	15:40	16:40	19:05
絹の里シルクピア前	6:51	10:31	13:11	15:41	16:41	19:06
川俣町済生会病院入口	6:52	10:32	13:12	15:42	16:42	19:07
かわまた認定こども園	6:53	10:33	13:13	15:43	16:43	19:08
川俣営業所	6:59	10:39	13:19	15:49	16:49	19:14
川俣高校前	7:00	10:40	13:20	15:50	16:50	19:15
飯坂学校前	7:01	10:41	13:21	15:51	16:51	19:16
萩平	7:02	10:42	13:22	15:52	16:52	19:17
水境	7:07	10:47	13:27	15:57	16:57	19:22
信田	7:09	10:49	13:29	15:59	16:59	19:24
二枚橋局前	7:10	10:50	13:30	16:00	17:00	19:25
飯館境木	7:11	10:51	13:31	16:01	17:01	19:26
白石	7:13	10:53	13:33	16:03	17:03	19:28
桜の木	7:14	10:54	13:34	16:04	17:04	19:29
いこいの家	7:15	10:55	13:35	16:05	17:05	19:30
市の沢	7:16	10:56	13:36	16:06	17:06	19:31
深谷	7:17	10:57	13:37	16:07	17:07	19:32
いいたて村までい館	7:18	10:58	13:38	16:08	17:08	19:33
飯館農協前	7:19	10:59	13:39	16:09	17:09	19:34
飯館村役場	7:23	11:03	13:43	16:13	17:13	19:38
飯館ふれ愛館前	7:27	11:07	13:47	16:17	17:17	19:42
目玉打	7:28	11:08	13:48	16:18	17:18	19:43
草野本町	7:29	11:09	13:49	16:19	17:19	19:44
赤坂	7:30	11:10	13:50	16:20	17:20	19:45
芦原	7:32	11:12	13:52	16:22	17:22	19:47
糠塚	7:34	11:14	13:54	16:24	17:24	19:49
坂下	7:42	11:22	14:02	16:32	17:32	19:57
大芦	7:43	11:23	14:03	16:33	17:33	19:58
バラ坂	7:44	11:24	14:04	16:34	17:34	19:59
社地神	7:45	11:25	14:05	16:35	17:35	20:00
下社地神	7:46	11:26	14:06	16:36	17:36	20:01
杉内	7:48	11:28	14:08	16:38	17:38	20:03
大原	7:49	11:29	14:09	16:39	17:39	20:04
大原公会堂	7:49	11:29	14:09	16:39	17:39	20:04
西下田	7:50	11:30	14:10	16:40	17:40	20:05
かやの木	7:51	11:31	14:11	16:41	17:41	20:06
信田沢	7:52	11:32	14:12	16:42	17:42	20:07
新田原	7:53	11:33	14:13	16:43	17:43	20:08
北長野	7:54	11:34	14:14	16:44	17:44	20:09
長野	7:55	11:35	14:15	16:45	17:45	20:10
南原	7:56	11:36	14:16	16:46	17:46	20:11
南相馬市役所	7:59	11:39	14:19	16:49	17:49	20:14
四ツ葉通り	8:00	11:40	14:20	16:50	17:50	20:15
栄町	8:01	11:41	14:21	16:51	17:51	20:16
栄町二丁目	8:02	11:42	14:22	16:52	17:52	20:17
旭公園前	8:03	11:43	14:23	16:53	17:53	20:18
旭町一丁目	8:03	11:43	14:23	16:53	17:53	20:18
原町駅前	8:11	11:51	14:31	17:01	18:01	20:26

【土曜・日祝】原ノ町駅前⇒福島駅東口

停留所名	1	2	3	4	5	6
原町駅前	7:00	10:15	12:30	14:00	16:00	17:55
旭町一丁目	7:01	10:16	12:31	14:01	16:01	17:56
旭公園前	7:01	10:16	12:31	14:01	16:01	17:56
栄町二丁目	7:02	10:17	12:32	14:02	16:02	17:57
四ツ葉通り	7:04	10:19	12:34	14:04	16:04	17:59
南相馬市役所	7:06	10:21	12:36	14:06	16:06	18:01
南原	7:08	10:23	12:38	14:08	16:08	18:03
長野	7:09	10:24	12:39	14:09	16:09	18:04
北長野	7:10	10:25	12:40	14:10	16:10	18:05
新田原	7:11	10:26	12:41	14:11	16:11	18:06
信田沢	7:12	10:27	12:42	14:12	16:12	18:07
かやの木	7:13	10:28	12:43	14:13	16:13	18:08
西下田	7:14	10:29	12:44	14:14	16:14	18:09
大原公会堂	7:15	10:30	12:45	14:15	16:15	18:10
大原	7:15	10:30	12:45	14:15	16:15	18:10
杉内	7:16	10:31	12:46	14:16	16:16	18:11
下社地神	7:17	10:32	12:47	14:17	16:17	18:12
社地神	7:18	10:33	12:48	14:18	16:18	18:13
バラ坂	7:19	10:34	12:49	14:19	16:19	18:14
大芦	7:20	10:35	12:50	14:20	16:20	18:15
坂下	7:21	10:36	12:51	14:21	16:21	18:16
糠塚	7:29	10:44	12:59	14:29	16:29	18:24
芦原	7:31	10:46	13:01	14:31	16:31	18:26
赤坂	7:32	10:47	13:02	14:32	16:32	18:27
草野本町	7:34	10:49	13:04	14:34	16:34	18:29
目玉打	7:35	10:50	13:05	14:35	16:35	18:30
飯館ふれ愛館前	7:36	10:51	13:06	14:36	16:36	18:31
飯館村役場	7:40	10:55	13:10	14:40	16:40	18:35
飯館農協前	7:44	10:59	13:14	14:44	16:44	18:39
いいたて村までい館	7:47	11:02	13:17	14:47	16:47	18:42
深谷	7:48	11:03	13:18	14:48	16:48	18:43
市の沢	7:49	11:04	13:19	14:49	16:49	18:44
いこいの家	7:50	11:05	13:20	14:50	16:50	18:45
桜の木	7:51	11:06	13:21	14:51	16:51	18:46
白石	7:52	11:07	13:22	14:52	16:52	18:47
飯館境木	7:54	11:09	13:24	14:54	16:54	18:49
二枚橋局前	7:55	11:10	13:25	14:55	16:55	18:50
信田	7:56	11:11	13:26	14:56	16:56	18:51
水境	7:58	11:13	13:28	14:58	16:58	18:53
萩平	8:01	11:16	13:31	15:01	17:01	18:56
飯坂学校前	8:02	11:17	13:32	15:02	17:02	18:57
川俣高校前	8:03	11:18	13:33	15:03	17:03	18:58
川俣営業所	8:05	11:20	13:35	15:05	17:05	19:00
かわまた認定こども園	8:07	11:22	13:37	15:07	17:07	19:02
川俣町済生会病院入口	8:08	11:23	13:38	15:08	17:08	19:03
絹の里シルクピア前	8:10	11:25	13:40	15:10	17:10	19:05
鶴沢宮前	8:11	11:26	13:41	15:11	17:11	19:06
飯野町	8:18	11:33	13:48	15:18	17:18	19:13
医大病院	8:34	11:49	14:04	15:34	17:34	19:29
大原綜合病院	8:56	12:11	14:26	15:56	17:56	19:51
福島駅東口	9:01	12:16	14:31	16:01	18:01	19:56

事業1-7 富岡～浪江FH2R系統

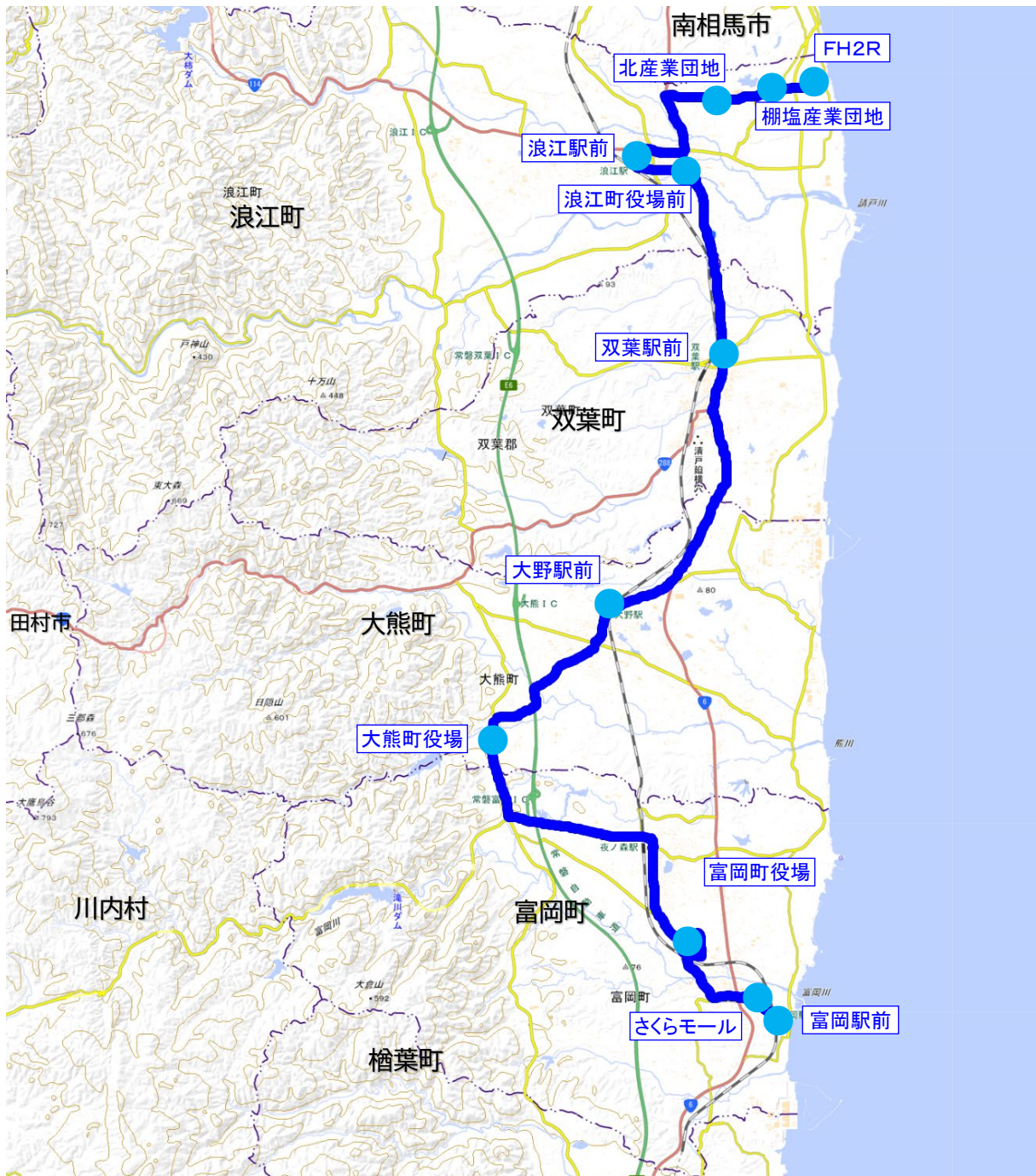
● 関連主体

新常磐交通株式会社、国、県、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町







● 事業内容




































項目	内容
運行事業者	新常磐交通株式会社
運行事業者	平日運行
使用車両	大型バス(定員67名)
起点	富岡駅前
主な経由点	とみおかアーカイブ・ミュージアム、富岡町役場、大熊町役場 双葉駅前、浪江町役場前、北産業団地入口、棚塩産業団地入口
終点	FH2R
停留所数	20箇所
運行距離	往路(北行き)34.5km、復路(南行き)35.4km
所要時間	富岡駅前～FH2R 1時間4分
運行回数	平日4往復
運賃	<p><対キロ区間制運賃></p> <p>富岡駅前～富岡町役場 200円</p> <p>富岡駅前～大熊町役場 610円</p> <p>双葉駅前～北産業団地入口 610円</p> <p>双葉駅前～棚塩産業団地入口 650円</p> <p>浪江駅前～北産業団地入口 350円</p> <p>浪江駅前～棚塩産業団地入口 410円</p>

● 運行ルート図



● 運行系統図(バス停一覽)

 駅
  公営住宅
  商業施設
  病院・診療所
  公共等施設
  産業団地

バス停名称	市町村	主な周辺施設
01 富岡駅前	富岡町	 JR富岡駅、  栄町団地
02 曲田住宅		 曲田住宅
03 さくらモール・診療所前		 さくらモールとみおか  富岡町立とみおか診療所
04 警察署前		 廃炉資料館  双葉警察署
05 今村病院		
06 とみおかアーカイブ・ミュージアム		 とみおかアーカイブ・ミュージアム
07 富岡町文化交流センター		 富岡町文化交流センター(学びの森)  富岡町総合スポーツセンター
08 富岡町役場		 富岡町役場  ふたば医療センター附属病院  廃炉環境国際共同研究センター
09 二中前		
10 大熊町役場	大熊町	 大熊町役場、  大川原災害公営住宅  大川原再生賃貸住宅、  大熊西工業団地
11 大野駅前		 JR大野駅、  大熊町産業交流施設
12 双葉駅前	双葉町	 JR双葉駅、  双葉町役場、  駅西住宅
13 浪江町役場前	浪江町	 浪江町役場、  イオン浪江店  浪江診療所、  幾世橋住宅団地  幾世橋集合住宅  JR浪江駅、  福島国際研究教育機構
14 浪江駅前		 御殿南団地
15 権現堂元町		 道の駅なみえ
16 道の駅なみえ		 浪江町北産業団地
17 北産業団地入口		 浪江町棚塩産業団地
18 棚塩産業団地入口		 福島ロボットテストフィールド(浪江滑走路・滑走路附属格納庫)
19 浪江滑走路		 福島水素エネルギー研究フィールド
20 FH2R		



とみおかアーカイブ・ミュージアム
(富岡町)

【出典】震災伝承ネットワーク協議会事務局



富岡町役場
(富岡町)

【出典】東京電力ホールディングス株式会社



富岡町文化交流センター
(富岡町)

【出典】富岡町文化交流センター 学びの森



JR 大野駅
(大熊町)



JR 双葉駅
(双葉町)



双葉町役場
(双葉町)



大熊町役場本庁舎
【出典】大熊町



道の駅なみえ
【出典】福島県



福島ロボットテストフィールド
(南相馬市、浪江町)
【出典】福島県



福島水素エネルギー研究フィールド
(浪江町)
【出典】福島県

● 現状・課題

令和3年4月から新常磐株式会社が自主運行を開始した路線であり、令和3年10月開催の福島県避難地域広域公共交通計画協議会(県北・相双北部方部会及び双葉南部協議会)において、旧網形成計画の追加事業として承認。それに伴い、令和5年度事業(令和4年10月～令和5年9月)から被災地域を運行する地域間幹線系統(被災地特例)として支援対象としている。

運行は平日のみの設定であり、運行本数は富岡駅前～FH2R間が4往復、浪江町役場前～FH2R間が4往復となっている。富岡駅前～FH2R間は運行時間帯に偏りが見られる。

1日当たりの利用者数は、令和3年事業年度は平均1.3人、令和4年事業年度は2.5人、令和5年事業年度5.6人、令和6年事業年度は7.7人、令和7年事業年度は7.3人とどまっており、沿線には、福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)や浪江町の産業団地などの復興拠点が立地しているが、利用客は富岡町や大熊町の利用が多く、一方で浪江町内の「権現堂元町」～「FH2R」間の利用はほとんど見られず、浪江町内の需要を掘り起こしていく必要がある。

沿線各自治体では、それぞれが運行する無料の公共交通機関があり、また、当該バス路線のルートに沿って鉄道(JR常磐線)も運行している。現状、当該バス路線は、これらの公共交通機関に比べて、利便性、速達性の面で不利である。

復興途上にある双葉郡の大部分のエリアでは、新たな定住人口の流入や、そのためのまちづくりは長期的な課題であることから、避難指示解除後の移動ニーズの高まりを想定した先行投資として、当該バス路線の役割を積極的にアピールしていく必要がある。

● 取組の方向性(改善点)

項目	内容
① JR常磐線の役割分担【継続】	JR常磐線は日中運行していない時間帯があり、交通空白の時間帯を埋めるための移動手段として、バスのダイヤの見直しを行う。
② JR常磐線との接続の見直し【継続】	富岡駅、大野駅、双葉駅、浪江駅において、鉄道から円滑な乗り継ぎができるようダイヤの改善を行う。
③ ルート区間の分岐【継続】	大熊町の復興進展を見据えながら、移動ニーズにきめ細かに対応できるよう、大野駅バス停等を折り返しとしたルート区間の分岐を検討する。
④ 利活用の推進【継続】	県、市町村、バス事業者のホームページ、SNS等で積極的なPRを行い、通勤、通学、通院、ビジネスでの移動等、県内外に広く利用を呼び掛ける。
⑤ 利活用の推進【新規】	水素フィールド(FH2R)利用者等に対する利用促進策を検討する。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年事業年度 (令和4年10月～令和5年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和6年事業年度 (令和5年10月～令和6年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和7年事業年度 (令和6年10月～令和7年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和8年事業年度 (令和7年10月～令和8年9月)	地域間幹線系統(被災地特例)として広域路線バスを運行
令和9年事業年度 (令和8年10月～令和9年9月)	広域路線の利用状況、沿線の人口動態、令和9年度以降の国支援措置等を踏まえ、運行継続の可否を検討

● 目標値及び実績値

年度	1日当たりの利用者数		事業収支	
	目標値	実績値	目標値	実績値
令和4年事業年度 <現況値>	2.5人	2.5人	3.7%	3.7%
令和5年事業年度	5.0人以上	5.6人	上昇を目指す	5.1%
令和6年事業年度	7.5人以上	7.7人	上昇を目指す	5.1%
令和7年事業年度	10.0人以上	7.3人	上昇を目指す	7.9%
令和8年事業年度	10.0人以上		上昇を目指す	
令和9年事業年度	10.0人以上		上昇を目指す	

● 事業経費の負担(令和5～9年事業年度)

国	収支差等の1/2 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(被災地特例)
福島県	収支差等の1/2 被災地域地域間幹線系統確保維持費補助金

- ※ 事業者からの申請に基づき、予算の範囲内で負担するものとする。
- ※ 令和5～9年事業年度において、運行実績の低下により国及び福島県負担を上回る事業経費が発生した場合は、原則としてバス事業者にて負担するものとする。ただし、社会通念上相当な額を超える負担が発生した場合は、県主体での関係者間の協議を行い、方針を決定するものとする。なお、関係者間で別の定めがある場合は、この限りでない。

● バス運行時刻表(令和7年10月1日現在)

【平日】富岡駅⇒大野駅⇒双葉駅⇒浪江(FH2R)・浪江町役場⇒浪江駅⇒FH2R

停留所名	1	2	3	4	5	6	7	8
富岡駅前	6:55	7:55	—	—	14:00	14:50	—	—
さくらモール・診療所前	6:56	7:56	—	—	14:01	14:51	—	—
警察署前	6:57	7:57	—	—	14:02	14:52	—	—
今村病院	6:58	7:58	—	—	14:03	14:53	—	—
とみおかアーカイブ・ミュージアム	6:59	7:59	—	—	14:04	14:54	—	—
富岡町文化交流センター	6:59	7:59	—	—	14:04	14:54	—	—
富岡町役場	7:00	8:00	—	—	14:05	14:55	—	—
二中前	7:04	8:04	—	—	14:09	14:59	—	—
前大熊町役場	7:14	8:14	—	—	14:19	15:09	—	—
大野駅前	7:25	8:25	—	—	14:30	15:20	—	—
双葉駅前	7:34	8:34	—	—	14:39	15:29	—	—
浪江町役場前	7:42	8:42	10:30	11:25	14:47	15:37	17:00	18:00
浪江駅前	7:44	8:44	10:32	11:27	14:49	15:39	17:02	18:02
権現堂元町	7:45	8:45	10:33	11:28	14:50	15:40	17:03	18:03
道の駅なみえ	7:47	8:47	10:35	11:30	14:52	15:42	17:05	18:05
北産業団地入口	7:51	8:51	10:39	11:34	14:56	15:46	17:09	18:09
棚塩産業団地入口	7:54	8:54	10:42	11:37	14:59	15:49	17:12	18:12
浪江滑走路	7:54	8:54	10:42	11:37	14:59	15:49	17:12	18:12
FH2R	7:59	8:59	10:47	11:42	15:04	15:54	17:17	18:17

【平日】浪江(FH2R)⇒双葉駅⇒大野駅⇒富岡駅・FH2R⇒浪江駅⇒浪江町役場

停留所名	1	2	3	4	5	6	7	8
FH2R	8:02	9:02	10:50	11:45	15:07	15:57	17:20	18:20
浪江滑走路	8:04	9:04	10:52	11:47	15:09	15:59	17:22	18:22
棚塩産業団地入口	8:04	9:04	10:52	11:47	15:09	15:59	17:22	18:22
北産業団地入口	8:06	9:06	10:54	11:49	15:11	16:01	17:24	18:24
道の駅なみえ	8:13	9:13	11:01	11:56	15:18	16:08	17:31	18:31
権現堂元町	8:15	9:15	11:03	11:58	15:20	16:10	17:33	18:33
浪江駅前	8:18	9:18	11:06	12:01	15:23	16:13	17:36	18:36
浪江町役場前	8:20	9:20	11:08	12:03	15:25	16:15	17:38	18:38
双葉駅前	—	—	11:16	12:11	—	—	17:46	18:46
大野駅前	—	—	11:25	12:20	—	—	17:55	18:55
前大熊町役場	—	—	11:36	12:31	—	—	18:06	19:06
二中前	—	—	11:46	12:41	—	—	18:16	19:16
富岡町役場	—	—	11:50	12:45	—	—	18:20	19:20
富岡町文化交流センター	—	—	11:50	12:45	—	—	18:20	19:20
とみおかアーカイブ・ミュージアム	—	—	11:51	12:46	—	—	18:21	19:21
今村病院	—	—	11:52	12:47	—	—	18:22	19:22
警察署前	—	—	11:53	12:48	—	—	18:23	19:23
さくらモール・診療所前	—	—	11:54	12:49	—	—	18:24	19:24
富岡駅前	—	—	11:57	12:52	—	—	18:27	19:27

【土曜・日祝】はダイヤなし

● <参考> 本計画に基づく広域バス路線ネットワーク図



施策2 浜通り地方を運行する地域公共交通のDX推進

● 実施主体

福島交通株式会社、新常磐交通株式会社、東北アクセス株式会社、国、県、いわき市

● 現状・課題

政府では、令和元年6月「成長戦略フォローアップ」を閣議決定し、令和7年6月末までにキャッシュレス決済比率を倍増、4割程度を目指すこととしている。

公共交通機関でのキャッシュレス決済は、アフターコロナを見据えたライフスタイルへの適合、利便性の向上に伴う利用者層の拡大、決済のスピード向上による定時運行の確保などのメリットがある。

また、利用データを分析・活用し、地域公共交通体系の持続的な改善につなげる、いわゆる地域公共交通のDXに貢献するものである。

避難地域12市町村を含む浜通り地方の公共交通では、JR常磐線については、一部の駅を除いてSuica利用可能エリアとなっており、相互利用できないエリアを跨いだ区間を利用可能なQRコードを活用したキャッシュレスチケットが登場している。

また、福島交通のバス路線では、すでにICカード(NORUCA)でのキャッシュレス決済が可能となっている。福島交通は飯坂線を除いて交通系ICカード(全国相互利用サービス)に対応していないが、令和7年12月現在、クレジットカードのタッチ決済、QRコード決済、電子マネー決済と、幅広い手段が提供されている

新常磐交通のバス路線では、プリペイド式の磁気カードが廃止され、交通系ICカード(全国相互利用サービス)と互換性のある、地域連携ICカードが導入された。

東日本大震災・原発事故の甚大な被害を受け、いまだ復興途上にある浜通り地方において、産業の集積、移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大のための社会基盤として、持続可能な公共交通ネットワークの構築は重要であり、キャッシュレス決済システムの導入は、そのメリットを踏まえ、中核的な事業に位置付けられるものである。

導入に当たっては、ライトユーザーから日常的な利用者、住民から来訪者まで幅広く取り込むため、累計で2億枚以上発されている交通系ICカード(全国相互利用サービス)や、それぞれ数千万人規模の登録者数となっているスマートフォンアプリ(PayPay、楽天ペイ、d払い等)、クレジットカードのタッチ決済など、全国的に広く普及した決済サービスを活用することが望ましい。

● 事業内容

(1)バス路線へのキャッシュレス決済システムの導入

福島交通株式会社、新常磐交通株式会社が浜通り地方で運行するバス路線(高速バスを除く)において、現行のキャッシュレス決済システムの改善を図る。

福島交通株式会社のバス路線では、現行の決済のシステム更新を行い、交通系ICカード(全国相互利用サービス)決済等への対応について検討する。

新常磐交通株式会社のバス路線では、地域連携ICカードの利用を促進し、バス利用者の利便性向上を図るとともに、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向け、キャッシュレス決済システムから得られる様々なデータの活用を図る。

東北アクセス株式会社のバス路線では、Suica や nanaco 等の電子マネー、QR コード決済及び非接触クレジットカード決済に対応できるようにする。

(2)キャッシュレス決済システムの利用実績に基づく公共交通体系の改善

県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会は、(1)に基づく利用データについて、分析を行い、本計画に基づいて運行する広域路線バスの改善案を策定する。

バス事業者は、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行うものとする。

(3)バスロケーションシステムの導入

新常磐交通株式会社のバス路線では、バスの現在地や遅延情報といった運行情報をリアルタイムで提供するバスロケーションシステム「JOKO バスくる」について、幅広い層の利用を促進し、バス利用者の快適性の向上を図る。

● 事業スケジュール

年度	内容
令和5年度	福島交通株式会社、新常磐交通株式会社において、キャッシュレス決済システムの導入又は更新を行う。また、新常磐交通株式会社では、バスロケーションシステムの導入を行う。
令和6年度	福島交通株式会社において、新NORUCAシステムの運用を開始する。 新常磐交通株式会社において、地域連携ICカード及びバスロケーションシステムの運用を開始する。
令和7年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定する。 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。
令和8年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定する。 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。
令和9年度	県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会においてデータ分析、広域路線バスの改善案を策定する。 バス事業者では、改善案に基づきダイヤ等の見直しを行う。

● 目標値

年度	キャッシュレス決済可能な路線バス(浜通り地方)におけるキャッシュレス決済利用率
令和5年度	—
令和6年度	70.0%以上
令和7年度	80.0%以上
令和8年度	85.0%以上
令和9年度	90.0%以上

※ 「Suica」は、JR東日本の登録商標である。

「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標である。

「PayPay」は、Zホールディングス株式会社の登録商標である。

「楽天ペイ」は、楽天株式会社の登録商標である。

「d払い」は、株式会社NTTドコモの登録商標である。

キャッシュレス決済システム

「キャッシュレス決済システム」とは

交通系ICカード、クレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコード等による現金以外の電子的な運賃の決済サービスであって、繰り返し利用できるものをいう。現金によらないタッチにより決済することが可能であり、その便利さから全国的に広がっている状況にある。

キャッシュレス決済導入のメリット

【利用者へのメリット】

- 地域の利用者の利便性向上
 - 切符購入が不要となり公共交通利用のバリア軽減
 - 乗継・高齢者割引等の多様なサービスを1枚で利用可
 - 乗降時間の短縮による定時性の確保
 - 非接触式カードによるポストコロナへの対応
- 地域外利用者の利便性向上
 - 訪日外国人を始めとする旅行者や国内観光者の移動の円滑化

【事業者へのメリット】

- 交通事業者の経営革新
 - 正確な旅客データの入手及び分析に基づく、効果的・効率的な輸送の実現

【地域へのメリット】

- 地域のサービス向上・活性化
 - 自治体・関係施設との連携によるサービス向上と地域経済の活性化

● バス IC カードの普及率が 90%では、導入前に比べ停車時間が 30%短縮する

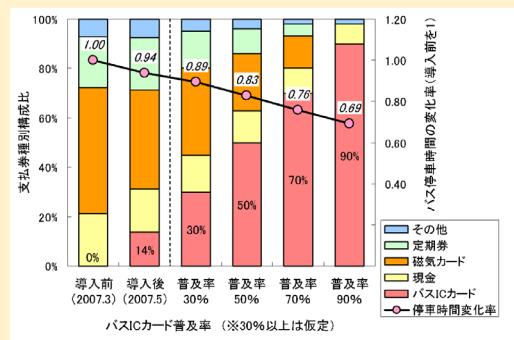


図 バスICカードの普及率とバス停車時間の関係

出典：矢部努、中村文彦：バスICカードの導入による効果計測に関する研究、土木計画学研究・講演集、vol. 38、2008

カード決済(タッチ決済)・QRコード決済のご利用方法

降車時に「キャッシュレス決済でお支払い」と乗務員へお伝えください。
バス乗降口のタブレットで、お客様ご自身の操作により決済完了いただけます。





- 1 スタート画面**
バスご乗車時、降車機より整理券をお取りください。
バスご降車時の精算になります。整理券番号をタブレット端末の画面でタップしてください。
- 2 人数選択・支払合計額確認画面**
利用人数を、画面の「+」ボタンで選択してください。
ご利用人数・支払い合計額を確認し、画面右下の「支払い」ボタンをタップしてください。
- 3 決済方法選択画面**
ご希望の決済方法をタップしてください。
- 4 決済方法読取画面**
 - QRコード決済: スマホにもブランドアプリのQRコードを表示してください。QRコードを表示したスマートフォン画面をタブレット端末のカメラにかざしてください。
 - クレジットカード決済(タッチ決済): タッチ対応のカードを画面下のマークにタッチしてください。
- 5 決済完了画面**
決済完了メッセージと、ご利用の決済ブランドのロゴマークが、画面に表示されます。

【出典】福島交通株式会社

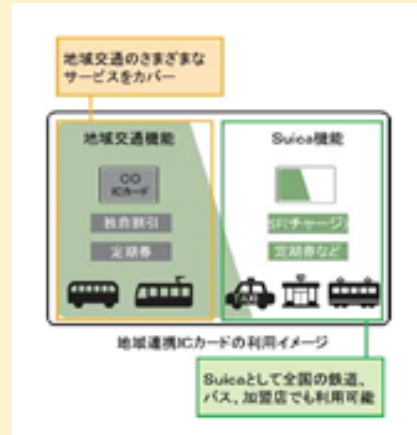
地域連携 IC カード

地域連携 IC カードとは

地域のバス事業者が運行するバスの定期券や各種割引などの地域独自サービスの機能に加えて、Suica エリア及び Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica サービスが1枚で利用可能な 2in1 カードである

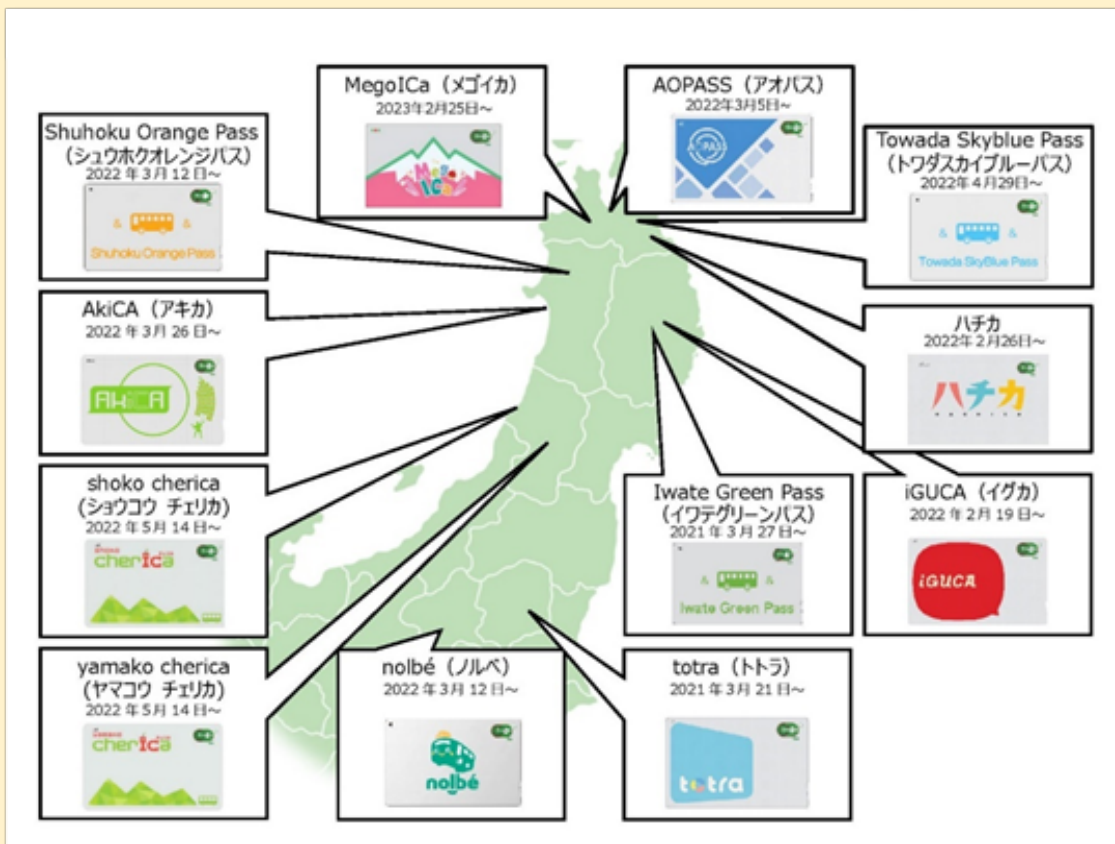
- ・ 「新幹線 eチケット」「タッチで Go!新幹線」のご利用や、「JRE POINT」の登録など、Suica の各種機能がご利用いただけます。
- ・ 、 マークのあるお店で電子マネーとしてご利用いただけるほか、、 マークのあるコンビニエンスストア、セブン銀行 ATM などでもチャージができます。

※地域連携 IC カードを導入したバスでは、Suica や Suica と相互利用可能な交通系 IC カードでもご乗車いただけます。



地域連携 IC カードのサービス開始エリア

2022年までに開始した地域連携ICカード



※「Suica」は、JR東日本(株)の登録商標である。

【出典】東日本旅客鉄道株式会社

施策3 地域公共交通の維持・確保

● 実施主体

福島県避難地域広域公共交通検討協議会

● 事業内容

福島県避難地域広域公共交通検討協議会の構成員は、互いの立場を尊重しながら、避難地域12市町村における地域公共交通の将来への維持・確保に向けて連携して以下に取り組む。

(1) 域内公共交通の維持・確保

地域の実情に即した生活交通の確保に取り組む。また、MaaSやAI等の新技術を活用した新たな移動手段の実証運行に取り組むとともに、成功事例の水平展開を図る。

(2) 広域公共交通と域内公共交通の乗り継ぎ環境の改善

ダイヤの見直し等による、鉄道、広域路線バスなどの広域公共交通と、市町村内を運行する域内公共交通の乗り継ぎ環境の向上に継続的に取り組む。

(3) 地域住民に公共交通の利用促進を働き掛けるためのイベントの企画、インセンティブの検討・充実

自動車での移動から環境に優しい移動手段である公共交通への転換を図るため、イベントの企画、インセンティブの検討及び展開により、地域住民に公共交通の利用を促す。

(4) 避難地域12市町村を運行する公共交通ネットワークの周知

本計画に基づく広域路線バスを始め、鉄道や域内公共交通の乗降場所、運賃、運行ダイヤ等を分かりやすく周知するため、ホームページ、スマートフォンサイト等を活用した情報提供の仕組みを検討する。

(5) 路線バスやタクシーの人材確保

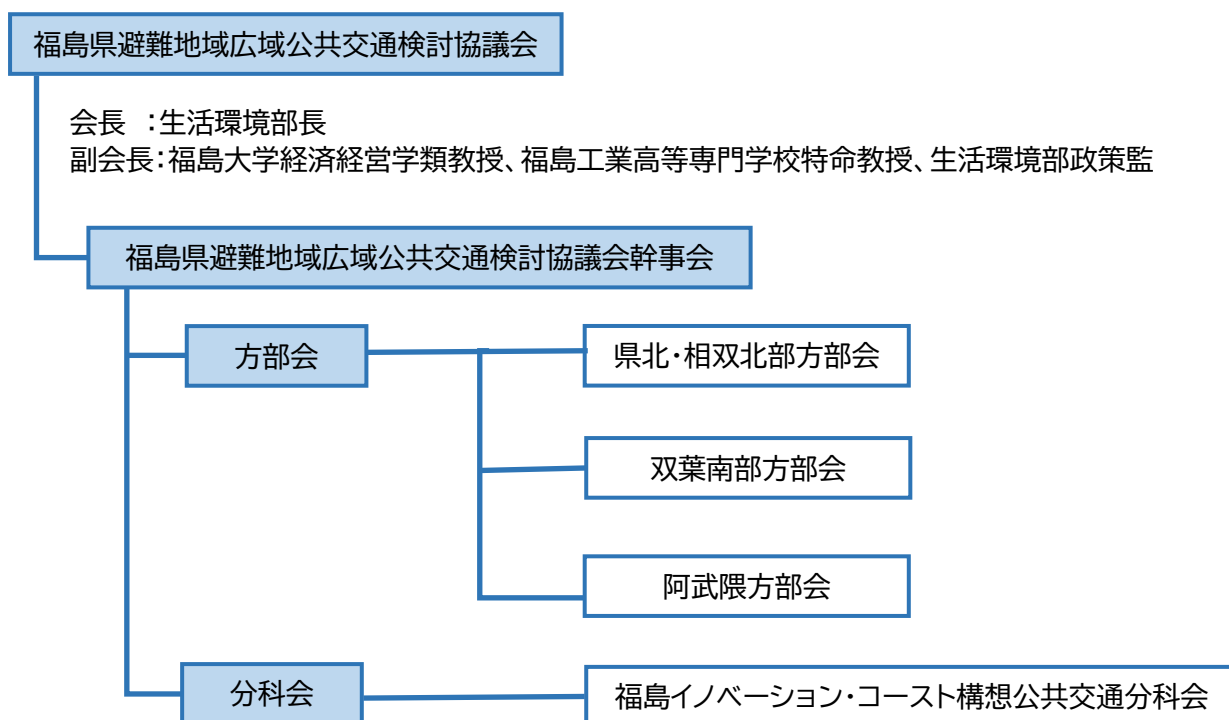
路線バスやタクシーなどの地域公共交通を支える人材の確保・育成に取り組む。

第6章 計画の推進体制

6-1 推進体制

本計画の推進及び進捗管理は、福島県避難地域広域公共交通検討協議会が行う。

● 実施体制のイメージ図



福島県避難地域広域公共交通検討協議会
(令和4年度第2回協議会 (12月27日開催)より)

6-2 関係する主体と役割

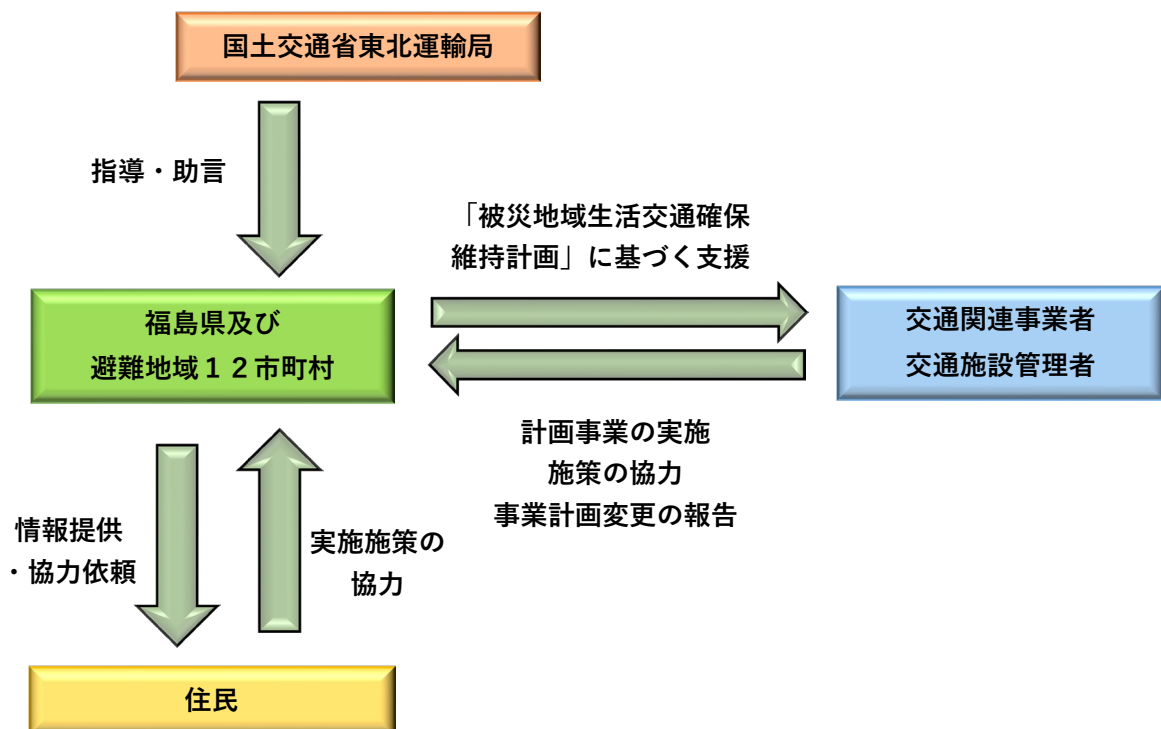
計画の推進に当たっては、交通政策基本法(平成25年法律第92号)第6条(連携等による施策の推進)の規定に基づき、各主体が連携し、一体となって、計画目標の達成に向けて取り組む必要がある。

交通政策基本法

(連携等による施策の推進)

第6条 交通に関する施策の推進は、まちづくり、観光立国の実現その他の観点を踏まえ、当該施策相互間の連携及びこれと関連する施策との連携を図りながら、国、地方公共団体、運輸事業その他交通に関する事業を行う者(以下「交通関連事業者」という。)、交通施設の管理を行う者(以下「交通施設管理者」という。)、住民その他の関係者が連携し、及び協働しつつ、行われなければならない。

● 計画の推進のための主体と役割



● 国土交通省東北運輸局

計画の推進について、指導・助言を行う。

（国の責務）

第8条 国は、第2条から第6条までに定める交通に関する施策についての基本理念（以下単に「基本理念」という。）にのっとり、交通に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

2 国は、情報の提供その他の活動を通じて、基本理念に関する国民等の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努めなければならない。

● 福島県及び避難地域12市町村

計画の推進に当たり、情報の提供その他の活動を通じて、住民その他の者の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努める。

なお、県は、交通事業者が本計画に定めるとおり事業を行う場合は、交通事業者に対し、毎年度、県（福島県生活交通対策協議会）が国土交通省に提出する「被災地域生活交通確保維持計画」に基づく支援を行うものとする。

（地方公共団体の責務）

第9条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、交通に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 地方公共団体は、情報の提供その他の活動を通じて、基本理念に関する住民その他の者の理解を深め、かつ、その協力を得るよう努めなければならない。

● 交通関連事業者及び交通施設管理者

計画に定める事業を適切に行うよう努めるとともに、地方自治体を実施する本計画に基づく施策に協力するよう努める。

なお、交通関連事業者は、本計画に定める事業実施に当たり、運行本数、運行時間帯等の変更を行う場合は、事前に県及び福島県避難地域広域公共交通検討協議会に対し報告を行うものとする。

(交通関連事業者及び交通施設管理者の責務)

第10条 交通関連事業者及び交通施設管理者は、基本理念の実現に重要な役割を有していることに鑑み、その業務を適切に行うよう努めるとともに、国又は地方公共団体が実施する交通に関する施策に協力するよう努めるものとする。

2 前項に定めるもののほか、交通関連事業者及び交通施設管理者は、基本理念にのっとり、その業務を行うに当たっては、当該業務に係る正確かつ適切な情報の提供に努めるものとする。

● 住民

計画の基本理念についての理解を深め、地方自治体を実施する施策に協力するよう努める。

(国民等の役割)

第11条 国民等は、基本理念についての理解を深め、その実現に向けて自ら取り組むことができる活動に主体的に取り組むよう努めるとともに、国又は地方公共団体が実施する交通に関する施策に協力するよう努めることによって、基本理念の実現に積極的な役割を果たすものとする。

6-3 計画の評価方法

本計画は、第4章で設定した目標及びその達成状況を見ながら、進捗状況を管理するものとする。

福島県避難地域広域公共交通検討協議会において、毎年度の達成状況を評価し、評価結果は公表する。

目標値未達成の場合は、その原因を分析し、適宜事業内容の見直しを行う。

計画2年目時点で「被災地特例」終了後の制度要件を見据え、中間評価及び目標の見直し、必要に応じ計画の一部改定を行う。

計画4年目時点には最終評価を行い、次期計画策定に向けた検討を行う。

<計画推進のPDCA>

	令和5年度 R5.4 R5.10	令和6年度 R6.4 R6.10	令和7年度 R7.4 R7.10	令和8年度 R8.4 R8.10	令和9年度 R9.4 R9.10
事業の実施	→	→	→	→	→
中間評価		→			
最終評価				→	

<本計画に基づく広域路線バスの運行>

	令和5年度 R5.4 R5.10	令和6年度 R6.4 R6.10	令和7年度 R7.4 R7.10	令和8年度 R8.4 R8.10	令和9年度 R9.4 R9.10
5年事業年度	→				
6年事業年度		→			
7年事業年度			→		
8年事業年度				→	
9年事業年度					- - - →

※ 令和9年事業年度以降(令和9年10月～)の広域路線バスの運行は、被災地特例制度が現時点で令和9年事業年度(令和8年10月1日～令和9年9月30日)以降の措置について不透明であることから、被災地特例制度の状況に変化があった場合は、改めて関係者で協議する。

福島県避難地域広域公共交通検討協議会規約

(目的)

第1条 福島県避難地域広域公共交通検討協議会(以下「協議会」という。)は、避難地域12市町村において住民が日常生活を送るために必要な地域公共交通ネットワークを構築するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法第59号。以下「法」という。)第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画(令和2年11月の改正法施行前に策定された地域公共交通網形成計画を含む。以下「計画」という。)を策定する。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を次のところに置く。
福島県生活環境部生活交通課内

(事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 計画に位置付けられた事業の実施に関すること。
- (3) 地域の実情を踏まえた先行的・部分的な運行に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 協議会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

(会長及び副会長)

第5条 会長は福島県生活環境部長とし、副会長は会長の任命による。

- 2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。この場合、副会長が複数いるときは、会長があらかじめ指名した順序で、その職務を代理する。

(協議会の委員)

第6条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

(会議)

第7条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議の議決方法は原則として全会一致とするが、成立しない場合は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 3 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じる協議については、非公開で行うものとする。
- 4 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。
- 5 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の尊重義務)

第8条 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(幹事会)

第9条 協議会に提案する事項について、具体的な協議又は調整をするため、協議会に幹事会を設置する。幹事会には座長、副座長を設置する。

(方部会)

第10条 協議会に提案する事項について、部分的に協議又は調整をするため、必要に応じて幹事会の下に方部会を設置する。

(分科会)

第11条 第3条各号に掲げる業務について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じて幹事会の下に分科会を設置することができる。

(事務局)

第12条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局は、福島県生活環境部生活交通課に置く。

3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。

4 事務局は、協議会の庶務を行う。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な細則は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成28年5月24日から施行する。

附 則

この規約は、平成28年9月5日から施行する。

附 則

この規約は、令和4年7月21日から施行する。

別表

- ・福島県 生活環境部長
- ・福島県 生活環境部政策監
- ・計画を作成しようとする地方公共団体の副市町村長(田村市、南相馬市、川俣町、広野町、榎葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)
- ・東日本旅客鉄道株式会社 東北本部福島支店長
- ・東日本旅客鉄道株式会社 水戸支社総務部企画室長
- ・新常磐交通株式会社 代表取締役社長
- ・福島交通株式会社 代表取締役社長
- ・東北アクセス株式会社 代表取締役社長
- ・ジェイアールバス東北株式会社 福島支店長
- ・公益社団法人福島県バス協会長
- ・一般社団法人福島県タクシー協会長
- ・国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所長
- ・福島県 土木部道路計画課長
- ・福島県警察 交通企画課長
- ・国立大学法人福島大学 経済経営学類教授(地域経済論)
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校 特命教授(都市経済学)
- ・福島県PTA連合会会長
- ・福島県社会福祉協議会会長
- ・福島県老人クラブ連合会会長
- ・日本労働組合総連合会福島県連合会会長
- ・国土交通省東北運輸局 福島運輸支局長
- ・復興庁福島復興局次長
- ・東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所長
- ・福島市 都市政策部交通政策課長
- ・郡山市 建設交通部総合交通政策課長
- ・いわき市 都市建設部公共交通課長
- ・相馬市 企画政策課長
- ・双葉地方町村会事務局長
- ・公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島オフィス交流促進部長
- ・福島県 企画調整部企画調整課長
- ・福島県 企画調整部福島イノベーション・コースト構想推進課長
- ・福島県 避難地域復興局避難地域復興課長
- ・福島県 商工労働部商工総務課長
- ・福島県 保健福祉部保健福祉総務課長
- ・福島県 観光交流局観光交流課長
- ・福島県 土木部土木企画課長
- ・福島県 教育庁教育総務課長
- ・福島県 病院局病院経営課長
- ・福島県 相双地方復興局長
- ・その他会長が必要と認める者